

2023 年度入学生用
(令和 5 年度)

医学部医学科要覧

教育目的・履修要項・シラバスなど



大阪公立大学医学部医学科

目次

I. カリキュラムマップ

1. カリキュラムマップ、マイルストーン、ロードマップ	1
2. 専門科目ナンバリングコード	9

II. 履修要項

1. 学科等の名称、卒業時の学位、入学定員	10
2. 学年・学期・授業期間等	10
3. 授業科目の種類	10
4. 授業科目の単位、単位制	11
5. 履修課程と履修上の注意	12
6. 科目ナンバリングのルール	15
7. 履修登録	15
8. 成績評価・試験	16
9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制	16
10. 既修得単位等の認定	18
11. 定期試験受験心得	18
12. 成績評価についての異議申立	19
13. 休講・欠席について	20
14. 副専攻	23
15. 他大学との単位互換制度・単位互換科目	23
16. 学籍について	23
17. 修学上の配慮・支援について	24
18. 教育学習支援基盤「ていら・みす」での学修記録の記入	24

III. 履修規程

1. 学科目	25
2. 履修・評価	25
3. 再試験	27
4. 進級・留年	28
5. 在学年限	29
6. 卒業の認定	29

III. 授業時間割表 37

IV. 専門科目シラバス

第1学年科目

1. 医学のための統計学	51
2. 医療倫理学	53
3. 医学序論	55
4. 遺伝と遺伝子	57

5. 細胞生物学	59
6. 細胞と組織の基本構造と機能	61
7. 発生学	63
8. メディカル・データ・サイエンス 1	64
9. 医学研究推進コース 1	65
10. 物理学の臨床医学への応用	67
11. 早期臨床実習 1	68
12. 早期臨床医学入門（早期診療所実習）	70

第 1・4 学年科目

1. 心肺蘇生法実習	72
------------	----

第 2 学年科目

1. 生体物質代謝・生化学	73
2. 遺伝医学	75
3. 医学英語論文の読み方	77
4. 運動器系	78
5. 血液・造血器系	80
6. 循環器系	82
7. 神経解剖	84
8. 脳機能系	86
9. 呼吸器系	88
10. 免疫系	90
11. 消化器系	93
12. 感覚器・皮膚	96
13. 内分泌・代謝	98
14. 腎・泌尿器・生殖器	101
15. 医学研究推進コース2(基礎コース、蛋白質・酵素コース、遺伝子コース)	104
16. 機能系実習	107
17. 肉眼解剖学(マクロ)実習	110
18. 早期臨床実習2(Second Exposure)	113
19. コミュニケーション	114

医学部医学科 カリキュラムマップ

医学部は 1944 年 4 月に設立された大阪市立医学専門学校から始まり、大阪市立医科大学を経て、大阪市立大学医学部となり、現在大阪市にある唯一の大学医学部です。最近の医学医療のめざましい進歩に対応するために、阿倍野キャンパスの整備・充実が行われ、1998 年の新学舎の完成とともに、医学部の専門教育に対する施設、設備が一新されました。基礎医学部門に関連した実習設備、臨床実習前に模擬的に医療体験、実習を行うスキルスシミュレーションセンター(SSC)などは、全国でトップレベルに達しています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ディプロマ・ポリシー（学位の授与基準）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

医学部学舎玄関前には三女神像が並んでいます。この女神像は「智・仁・勇」の三つの基本理念を示しています。すなわち、本を抱く「智」の女神のように医学に対する旺盛な向学心を持ち、薬壺を持つ「仁」の女神のように人への尊厳を有し、月桂樹を手にする「勇」の女神のように医療を実践するための決断の勇気を持つ医療人を育成することが、本学の使命です。この「智・仁・勇」を有する医療人を育成するという使命を果たすために、大阪市立大学医学部卒業時に獲得すべき実践的能力を、以下の通りコンピテンスとして決めました。このコンピテンスを修得するものに、学士の学位が授与されます。



◆大阪市立大学医学部医学科コンピテンス◆

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1 プロフェッショナリズム | (智・仁・勇) |
| 2 医学知識と問題対応能力 | (智・仁・勇) |
| 3 診療技能と患者ケア | (智・仁・勇) |
| 4 コミュニケーション能力 | (智・仁・勇) |
| 5 チーム医療の実践 | (仁) |
| 6 医療の質と安全管理 | (仁) |
| 7 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 | (智・仁・勇) |
| 8 科学的探究 | (智) |
| 9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 | (智・仁・勇) |

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ディプロマ・ポリシーで定めたコンピテンスを獲得するために、医学部医学科では全学共通教育・基礎医学教育（主に 1～3 年生）、社会医学教育ならびに臨床医学教育（主に 4～6 年生）を行っています。将来、「智・仁・勇」を備えた医師になることを自覚させるために、入学後早期から、医療現場に触れさせる機会を創出しています（早期臨床実習）。

4～6 年生には Clinical Clerkship (CC) を実施し、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付け、科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を備えた医師を育成する事を目的としています。

（全学共通教育）

全学共通教育は将来、社会人として役立つ素養を身につける（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）とともに、専門教育に対応できる下地を学ぶものと位置付けています。

（基礎医学教育）

基礎医学では、まず人体の構造と機能のしくみを分子レベルから個体レベルまで総合的に学びます。次に病気の原因、本態やその機序を系統的に学習します（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。また、細菌、ウイルス、医動物などの病原性、その感染機序、ならびに生体の免疫機構を学び、さらに薬物療法の基礎を学びます（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。

（社会医学教育）

社会医学では、健康事象の地域的・経年的分布、生活環境要因の健康への影響、地域・国・世界の保健システムとその役割（生涯にわたって共に学ぶ姿勢【智・仁・勇】）、および法的問題と関わる心身の変化、反応、病的現象や障害などを学習します（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。さらに将来、医師として必要な幅広い知識と教養を身につけます（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）。

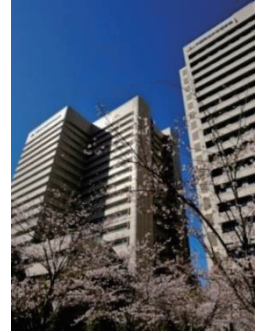
医学研究推進コース 3 は 3 年生の終わりの約 3 ヶ月、基礎・社会医学系教室や研究室に学生を配属して実施され、教員の指導のもとに、特定のテーマについて学生が自ら研究します（科学的探究【智】）。

(临床医学教育)

臨床系の臓器別講義は 4 年生から始まります（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。その後、臨床実習に必要とされる技能を学習し（診療技能と患者ケア【智・仁・勇】）、共用試験 CBT(知識を問う試験)、及び OSCE(態度、技能を問う試験)を受験します。

試験合格後、外来臨床実習（外来型 CC）に進みます（コミュニケーション能力【智・仁・勇】）。5 年生では、全ての診療科を 5 つのユニットに分け、ローテートする参加型臨床実習（ユニット型 CC）を行います（診療技能と患者ケア【智・仁・勇】）。ユニット型 CC では、臨床研修医になった時に、少しでも臨床を円滑に実践できるように講義時間を最小限に留めて、実習時間を増やしています（コミュニケーション能力【智・仁・勇】）。

6 年生になると、さらに幅広い臨床技能を修得し、医療現場での経験を充実させるために、医学部附属病院、ならびに教育関連病院での選択型 CC があります（社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力【智・仁・勇】）。選択型 CC は前期 6 週間、後期 6 週間の 2 回実施しています。選択型 CC を海外の病院で受ける事もできます（生涯にわたって共に学が姿勢【智・仁・勇】）。選択型 CC における教育関連病院および診療科の選択と調整に関しては、学生の自主性を尊重しています（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）。



★★★★★★★★★★★★★★★★

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

★★★★★★★★★★★★★★★★

本学では、「智・仁・勇」を有する医療人となりえる素地を持った人材を求めています。
 自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望します。

＜入学者選抜の基本方針＞

医学科では、一般入試のほかに学校推薦型選抜、総合型選抜の3つを行っています。いずれの入試においても、大学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

【一般入試（前期日程のみ）】

個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識に基づいた思考力、判断力、表現力を確認します。さらに、個別面接を行い、「智・仁・勇」を有する医師・医学研究者になりうる資質についても確認します。

【学校推薦型選抜】

地域医療枠への入学を希望する人を対象に行います。大阪府出身者*で高等学校長の推薦を受けた人に対し、提出書類、面接・小論文等で、将来、大阪の医療・医学に貢献しようとする志を確認します。 *大阪府出身者の定義については、募集要項で確認してください。

【総合型選抜】

医学、生命科学に深い関心を持つ人を対象に実施します。提出書類、面接・口述試験等で、勇気をもって真理の探究を行い、かつ共感できる高いコミュニケーション能力を発揮し、将来の医学をリードしたいという気概を確認します。

★ ★

医学部医学科アクティブ・ラーニングのレベル分け

(2022/10/1 改訂版)

レベル	学習形態	学習分類	主導形態	活動	内容
0	受動的	収束的	教員	なし	講義（聴講）、動画視聴、読書
1	能動的				描写・模写（スケッチ・演習等）、アンケート、小テスト、レポート、宿題(e-Learning)
2	能動的	拡散的	教員	話し合い	グループワーク
3			学生	プレゼン	実演、発表、質疑応答、ティーチング、ディベート、PBL/TBL(問題解決型学習)



医学部医学科カリキュラムマップ

「智・仁・勇」を有する医師・医学研究者を養成する

医師国家試験受験資格

	DP1(→CP0③④) プロフェッショナル リズム (智・仁・勇)	DP9(→CP3) 生涯にわたって 共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇)	DP8(→CP3) 科学的探求 (智)	DP2(→CP2③④) 医学知識と 問題対応能力 (智・仁・勇)	DP4(→CP4) コミュニケーション 能力 (智・仁・勇)	DP5(→CP4) チーム医療の実践 (仁)	DP3(→CP4) 診療技能と 患者ケア (智・仁・勇)	DP6(→CP4) 医療の質と 安全管理 (仁)	DP7(→CP4) 社会における医療の 実践と大市民の 幸福に貢献する力 (智・仁・勇)	【想定される進路】 医師として大学・医療機関・ 研究機関・行政機関へ
6年										
5年										
4年										
3年										
2年										
1年										

カリキュラムポリシー	CP0(→DP1①) 将来、社会人として役立つ教養 を身に付けるとともに、専門教 育に対応できる下地を学ぶ。 【智・仁・勇】	CP3(→DP1②⑧⑨) 健康事象の地域的・経年的分布、生活環境要因の健 康への影響、地域・国・世界の保健システムとその役 割、および法的問題と関わる心身の変化、反応、病 的現象や障害などを学習する。さらに将来、医師と して必要な幅広い知識と教養を身に付ける。また、 特定のテーマについて学生に自ら研究させる。 【智・仁・勇】	CP2(→DP2) 人体の構造と機能の仕組みを分子レベルから個体レ ベルまで総合的に学ぶ。次に病気の概念、本態やそ の機序を系統的に学習する。また、細菌、ウイルス、 動物性などの病原性、感染機序、生体の免疫機構を 学び、薬物療法の基礎を学ぶ。 【智・仁・勇】	CP4(→DP1②③④⑤⑥⑦) 基本的な知識や技術、臨床実習に必要とされる技 能を学習する。修得した知識・技術を臨床現場で 実践し、実践的な医学知識、臨床推論法、技能、態 度を身に付けさせる。さらに、幅広い臨床技能を習 得し、学生の自主性を尊重しつつ医療現場での経 験を充実させる。 【智・仁・勇】	AP3 勇は医療を実践する決断の勇気を意味し、積極的 な行動を起こせる人(→CP4)
ポリシー	AP2 仁は人への博愛の心を意味し、 人を包み込む広い心を有する 人(→CP0①)	AP1 智は医学を推進する旺盛な向学心と知識を意味し、これらを有している人(→CP2③)			

2023年 医学部医学科 専門科目ナンバリングコード

4～6桁目(分野):BAM…Basic Medicine、SOM…Social Medicine、CLM…Clinical Medicine

1桁目	2～3桁目	4～6桁目	7桁目	8桁目	9～10桁目	11桁目	12桁目	授業科目
部局コード 学士課程:A	部局コード 医学部:MX 医学部医学科:MA	学問分野	レベルコード (1～4)	科目区分	連番	使用言語 日本語:J	授業形態 講義:1 実習:4	
A	MA	BAM	1	1	01	J	1	医療倫理学
			1	1	02		1	医学のための統計学
			1	1	03		1	遺伝と遺伝子
			1	1	04		1	細胞生物学
			1	1	05		4	細胞と組織の基本構造と機能
			1	1	06		1	発生学
			1	1	07		1	医学研究推進コース1
			2	1	08		1	生体物質代謝・生化学
			2	1	09		4	医学英語論文の読み方
			2	1	10		1	遺伝医学
			2	1	11		4	運動器系
			2	1	12		1	血液・造血器系
			2	1	13		1	循環器系
			2	1	14		1	神経解剖
			2	1	15		1	脳機能系
			2	1	16		4	医学研究推進コース2
			2	1	17		1	呼吸器系
			2	1	18		1	免疫系
			2	1	19		1	消化器系
			2	1	20		4	感覚器・皮膚
			2	1	21		1	内分泌・代謝
			2	1	22		1	腎・泌尿器系
			2	1	23		4	生殖器系
			2	1	24		4	肉眼解剖学(マクロ)実習
			2	1	25		4	機能系実習
			3	1	26		1	生体と薬物
			3	1	27		1	原因と病態1
			3	1	28		1	原因と病態2
			3	1	29		1	細菌・真菌感染症
			3	1	30		1	ウイルス感染症
			3	1	31		1	原虫・寄生虫感染症
			3	1	32		4	医学研究推進コース3
		SOM	1	1	33		4	メディカル・データ・サイエンス1
			3	1	34		1	メディカル・データ・サイエンス2
			3	1	35		1	産業医学1
			3	1	36		1	産業医学2
			3	1	37		1	公衆衛生学1
			3	1	38		1	公衆衛生学2
			3	1	39		1	法医学
	MX	CLM	1	1	01		1	医学序論
	MA		1	1	40		1	物理学の臨床医学への応用
	MX		1	1	02		4	心肺蘇生法実習
	MA		1	1	41		1	早期臨床医学入門
			1	1	42		4	早期臨床実習1
			2	1	43		4	早期臨床実習2
			3	1	44		4	早期臨床実習3
			2	1	45		4	コミュニケーション
			3	1	46		1	医学英語
			3	1	47		1	ユニット型臨床臓器別講義
			4	1	48		4	臨床スターター実習
			4	1	49		1	プライマリケア医学
			4	1	50		4	外来型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	51		4	ユニット型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	52		4	選択型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	53		4	保健所・保健福祉センター実習

Ⅱ．履修要項

1．学科等の名称、卒業時の学位、入学定員

学科	学位	定員
医学部医学科	学士（医学） (Bachelor of Medicine)	90 名※

※2022 年度は大阪府指定医療卒 5 名を加えた 95 名

2．学年・学期・授業期間等

学 年：1 年次	4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
2 年次	4 月 1 日～12 月 31 日
学 期：1 年次	前期：4 月 1 日～9 月 24 日、後期：9 月 25 日～翌年 3 月 31 日
2 年次	前期：4 月 1 日～9 月 24 日、後期：9 月 25 日～12 月 31 日

休業日：

- ① 日曜日および土曜日（授業調整日除く）
- ② 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日（祝日授業日を除く）
- ③ 「授業時間割表」に記載の休業日
- ④ その他学長が必要と認めた日

詳しい授業期間および試験期間等は、各年度当初に定められる「学事日程」によります。「学事日程」は、毎年度、本学 Web サイトなどで確認してください。

ただし、担当教員が必要と認めたときは、その他の期間に授業や試験が行われることがあります。

3．授業科目の種類

授業科目は、基幹教育科目、専門科目、資格科目および副専攻科目に区分されています。基幹教育科目は主に 1 年次・2 年次において学び、多くの専門科目は 2 年次以降に学びます。

全学部・学域に共通した基幹教育科目は総合教養科目、初年次教育科目、情報リテラシー科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、基礎教育科目に分かれます。

○科目区分および開設部局（特例科目を除く）

科目区分		開設部局	
基幹教育科目	総合教養科目		国際基幹教育機構
	初年次教育科目		
	情報リテラシー科目		
	外国語科目	英語	
		初修外国語	
	健康・スポーツ科学科目		
基礎教育科目			
専門科目			各学部・学域
資格科目		教職科目	国際基幹教育機構
副専攻科目			各学部・学域 国際基幹教育機構

（１）専門科目の科目名、単位数、配当年次および必修・選択の区分は、各学科の標準履修課程表を参照してください。

（２）基幹教育科目、資格科目、副専攻科目の履修については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」等を参照してください。

4. 授業科目の単位、単位制

大学における授業科目の単位においては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。単位の計算方法は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して決定します。

本学部（学域）において開講する科目は次に掲げる基準により単位数を計算します。

授業の方法	授業時間	単位数
講義・演習	毎週2時間 15週	2単位
実験・実習・実技	毎週2時間 15週	1単位
卒業研究	－	－

※大学において1単位の修得には「45時間」の学修が必要であり、その際の「1時間」は実際の45分に相当します。すなわち、「2時間」は90分授業（1時限）に相当します。

上記の表を見ると、1週2時間の講義・演習を15週受けると2単位修得できるように見えます。しかしながら、2単位を修得するためには90時間学修することが基本となっており、授業を受けるだけでは不十分です。すなわち、2単位の修得には、毎週2時間の講義の前後に2時間の予習と2時間の復習をすることが前提となっています。この前提に基づいて、授業では多くの課題（宿題）が課せられることがあります。大学では、常に予習、復習を行いながら授業を受けることが履修の基本であることを忘れないでください。

5. 履修課程と履修上の注意

(1) 基幹教育科目

基幹教育科目は、総合教養科目、初年次教育科目、情報リテラシー科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、基礎教育科目に分かれています。科目名や単位数、必修・選択の区分、配当年次等については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」および本冊子に記載されています。

① 総合教養科目

総合教養科目は、思考力、表現力、判断力の基盤の上に、幅広い知識を総合的に活用できる能力を身に付けることを目的としています。

② 初年次教育科目

初年次ゼミナールは、高等教育での主体的な学びを大学入学直後に身に付けることを目的としています。グループディスカッションを通じた課題発表等の自発的学修、プレゼンテーションやレポートによる自己表現の経験、異なる視点との出会いによる自己の振り返り、他の専門分野の複数の学生と教員とによる多様な視点の交換を行うことで、能動的な学びの姿勢を身に付けることを目的としています。

③ 情報リテラシー科目

情報リテラシー科目は、情報機器を利活用する際に必要となる情報処理の基礎的な知識と技能に加え、インターネットによるコミュニケーション手法や情報化社会に参画するための情報倫理、情報機器によるプレゼンテーション等のスキルを身に付けることを目的としています。

④ 外国語科目

外国語科目には、「英語科目」と、「初修外国語科目」（朝鮮語・中国語・ロシア語・ドイツ語・フランス語）があります。初修外国語について詳しくは、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」および「初修外国語履修ガイド」を参照してください。

自分の第1言語（母語）を初修外国語科目として履修することはできません。日本語を第1言語（母語）としない学生は、特例科目（外国人留学生および日本語を母語としない学生を対象にした日本語科目）を履修し単位を修得した場合、初修外国語の単位として認定されます。

⑤ 健康・スポーツ科学科目

生涯にわたり心身の健康を維持し、より健康的な状態を得るために必要な知識や方法について、主としてスポーツを中心とした行動を通じて具体的、学術的に修得するとともに、健康科学やスポーツ文化が果たすべき役割について、理論と実践を通し理解を深めることを目的としています。

⑥ 基礎教育科目

それぞれの学問領域の基礎教育の中で、基幹教育として提供することが相応しい自然科学系科目を基礎教育科目として提供しています。学士課程教育において、科学の基本的能力として必要とされる学力と能力を養成するために、1・2年次に「数学」・

「物理学」・「化学」・「生物学」・「地学」の基礎教育（講義・演習・実験）を実施します。それぞれの科目では、学士課程において必要な科学的基盤を身に付けるのみでなく、専門教育へもスムーズに接続できる知識・技能の修得を目的としています。

また、「情報」の基礎教育科目として、コンピュータやネットワークの動作原理、大量のデータを効率的に蓄積・検索するためのデータベースと、情報検索のしくみ等の修得を目的としています。

（２）専門科目

専門科目においては、各学部・学科、学域・学類の専門科目に加えて、学部・学域によっては共通科目を置き、それぞれの学問分野で共通に求められる知識や思考法等の知的な技法の修得等を目指します。専門科目の科目名、単位数、配当年次および必修・選択の区分は、所属学科等の標準履修課程表を参照してください。

（３）資格科目

教育職員免許状の取得に必要な科目を資格科目といいます。この科目の単位を進級要件や卒業要件の所要単位に含めることはできない場合があるので注意してください。教育職員免許状の取得を希望する学生は、教職課程に関する説明会に必ず出席し、「教職課程の手引」等を熟読してください。

（４）副専攻科目

副専攻のために特別に開設した科目として副専攻科目があります。副専攻科目の履修については、「副専攻ガイド」等を参照してください。

（５）必修、選択および自由科目の区分

科目は必修、選択、自由科目の種類に区別され、各学部・学科等の定める要件を満たして履修する必要があります。

- ・ 「必修科目」…当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。
- ・ 「選択科目」…学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。（選択必修科目を含む。）
- ・ 「自由科目」…履修できるが卒業要件に算入しない科目。

（６）遠隔授業について

一部授業は、授業支援システム（Moodle）等によりオンラインで行うことがあります。

（７）集中講義について

週１回の授業ではなく、短期間で授業を行う集中講義を開講することがあります。集中講義の開講日については学生ポータル（UNIPA）により事前に周知します。集中講義

の履修登録については、それぞれ前期・後期の履修登録期間中に登録してください。履修登録期間の時点で希望する集中講義の開講日が未定の場合でも、履修希望者は必ず登録してください。

(8) 履修に関する相談について

① オフィスアワー

各授業担当教員は、オフィスアワーを設定しています。これは、指定された曜日・時間には、事前に予約なしでも学生が訪問し、履修に関することや授業中の疑問などを解決するための相談ができる時間のことです。大いに活用してください。(オフィスアワーについては、シラバスを参照してください。)

② その他相談窓口について

履修にあたっては、授業科目の内容説明(「国際基幹教育機構開設科目要覧(学部・学域生用)」やシラバス)を参考にし、標準履修課程表を十分に参照するとともに、履修や進路に関し相談等がある場合は、各学部・学域教務担当または担当教員等に相談してください。

(9) 他学部・学域履修

他学部・学域で開講されている科目を履修することができる場合があります。卒業要件に含めることができるかどうかなどの詳細は所属学科等の卒業要件を確認してください。また、履修できる科目については大阪公立大学 web サイトに掲載されている「他学部・他学域学生が履修可能な科目一覧」を確認したうえで、履修登録の方法は「履修登録の手引」を参照してください。

(10) 科目名称について

科目名称の末尾に数字あるいは英字等の表現がある場合は、以下のルールを表しています。

- ・ 「〇〇論 1、2～」

科目内容に順序性がある科目群について使用します。ただし、必ずしも 1 の履修が 2 の履修の前提条件になっているとは限りません。

- ・ 「〇〇論 A、B～」

科目内容に順序性がない科目群について使用します。

(11) キャンパスをまたぐ授業の履修について

原則として、各学部・学域の主たる学びのキャンパスで開講される科目を履修してください。ただし、再履修科目、資格科目、副専攻科目、他学部・学域(他学科・学類)科目、その他各学部・学域において必要と認められる科目については、主たる学びのキャンパス以外のキャンパスでの履修が許可されることがあります。なお、個人的都合による理由で主たる学びのキャンパス以外の科目を履修することはできません。

医学部医学科の主たる学びのキャンパスについては、「履修登録の手引」を参照してください。

6. 科目ナンバリングのルール

科目ナンバリングは、教育課程の体系性を示すために、科目に記号と番号を組みあわせて付与することによって、科目の学問分野、カリキュラム内での位置づけを示す仕組みです。本学では、科目の属性に応じて、アルファベットと数字を組み合わせた 13 桁で構成された番号を、下記のとおり①開設部局・②学問分野・③科目レベル・④科目区分・⑤連番・⑥使用言語・⑦授業形態として各科目に付番しています。詳細は本学 Web サイトをご覧ください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
A	A	A	A	A	A	0	0	0	0	0	-	J 1
①			②			③	④	⑤			⑥ ⑦	

7. 履修登録

(1) 履修登録

① 学生ポータル (UNIPA) による履修登録

科目を履修するにあたっては、各学期はじめの定める期日まで（4月上旬・9月中旬）に学生ポータル (UNIPA) より履修登録をする必要があります。

履修を考えている科目は全て履修登録期間に登録してください。

② 登録上の諸注意

- ・ 標準履修課程表にある標準履修年次などによく注意して登録してください。試験で不合格となった科目の再履修は原則として次年度以降となりますが、一部の前期開講科目については、同一年度の後期に再履修できる場合があります。
- ・ 同一曜日時限に、2 科目以上を重複して履修登録することはできません。
- ・ 既に単位を修得した科目を再び履修することはできません。
- ・ 履修登録できる単位数には上限が設定される場合があります。詳しくは「10. 成績評語と GPA 制度・CAP 制」の項目を確認してください。

③ 履修登録の確認

履修登録の締め切り後の履修登録状況確認日・抽選結果発表日に、学生ポータル (UNIPA) の「抽選希望登録対象一覧」画面および「学生時間割表」画面上にて抽選科目の抽選結果および履修登録内容の確認が可能になります。履修登録状況確認日・抽選結果発表日に登録内容を点検し、希望どおり正しく登録されているか確認してください。特に、エラーが出ている科目については、履修登録確認・修正期間内に修正してください。

※履修登録について、詳しくは「履修登録の手引」を参照してください。

(2) シラバス

シラバスには、各学部・学域のカリキュラムにおける科目の位置付けや授業の方法、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価の方法等が記載されています。履修登録にあたっては、授業時間割やシラバス等を確認し、自身の学習計画を立ててください。

8. 成績評価・試験

(1) 成績評価方法・単位の修得

履修科目の成績は、シラバスで授業科目ごとに示されている方法で各授業担当教員によって評価され、合格した科目に単位が与えられます。成績の評語については「9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制」で記載します。成績は学生ポータル (UNIPA) で確認することができます (定められた期間を除く)。

(2) 定期試験

単位の認定は基本的に試験の成績によって行われますが、試験を行わず、レポートや平常の成績等によって単位認定が行われることもあります。試験を実施する場合は、原則として、授業期間終了後 (試験期間) に実施します。試験の時間割は学生ポータル (UNIPA) を確認してください。

(3) 追試験・再試験

試験を欠席した理由が以下の項目に該当する場合には、教授会の認定する場合に限り追・再試験を行うことがあります。ただし、基幹教育科目については、再試験を実施しません。

- ① 学生が病気または負傷した場合
- ② 学生の親族が死亡した場合 (2 親等以内の親族または同居の親族に限る。)
- ③ 公共交通機関の遅延による場合
- ④ 学生が国家試験等を受験する場合
- ⑤ 学生が裁判員裁判へ参加する場合
- ⑥ その他やむを得ないものと認められた場合

追試験の受験を希望する者は、所定の期間内に信憑書類を添えて科目の開設部局に願出する必要があります。追試験の実施有無や受験方法等については科目の開設部局に問い合わせてください。

9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制

(1) 成績評語と GPA 制度

履修科目の成績は、下表の基準にもとづき評価され、発表は評語により行います。 (「100 点方式による素点等」について、追試験は 80 点、再試験は 60 点を上限とする。) 履修登録した各科目の成績に GP (Grade Point) を割り当てて、その平均を取ったものを

GPA (Grade Point Average) といいます。学生の達成度を客観的に評価するための指標として学期ごとに算出され、ただ卒業するために必要な単位を修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としています。GPA は学期ごとに、以下の数式により算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該期で得た科目の GP 値} \times \text{その科目の単位数}) \text{ の合計}}{\text{※当該期に履修登録した総単位数}}$$

※GPA 対象科目のみ

評語	基準	100 点方式による素点等	GP
AA	授業目標を大きく上回って達成できている	100 点以下 90 点以上	4
A	授業目標を上回って達成できている	90 点未満 80 点以上	3
B	授業目標を達成できている	80 点未満 70 点以上	2
C	最低限の授業目標を達成できている	70 点未満 60 点以上	1
F	最低限の授業目標を達成できていない	60 点未満および成績評価基準にもとづく評価をしない科目で不合格となった科目	0
T (取消)		試験等での不正行為	0
N (認定)		単位認定された科目	対象外
P (合格)		成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目	対象外

GPA の対象となる科目は、原則として履修登録した全ての科目です。ただし、卒業の所要単位に算入されない科目（資格科目等の自由科目）、上表の単位認定された科目、成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目は GPA から除かれます。また、成績証明書には、発行した時点での通算 GPA が記載されます。

通算 GPA は、以下の数式により算出されます。

$$\text{通算 GPA} = \frac{(\text{各学期で得た科目の GP 値} \times \text{その単位数}) \text{ の合計}}{\text{各学期で履修登録した単位数の合計}}$$

※GPA 対象科目のみ

なお、履修登録の締め切り以降は、原則として変更はできません。ただし、以下に示す条件により履修を続けることが困難な場合、特別に履修中止を認める場合があります。

- ① 実際の授業の内容が公開されている『シラバス』と本質的に異なっている場合
 - ② 授業についていけるだけの知識不足が発覚した場合
- 手続きの時期や方法など詳細については「履修登録の手引」を確認してください。

(2) CAP 制

学期内で履修する科目について予習・復習の時間を確保するために、各年度・各学期に履修登録できる総単位数には、上限が設けられています。このことをCAP制（キャップ制）といいます。

履修上限は年間 50 単位未満、前期 25 単位以下、後期 25 単位以下と定められています。原則として、通年科目の単位数を計算するときは、通年科目の単位数を開講学期数で割ってそれぞれの学期に振り分けされます。

登録できる単位数		
前期	後期	年
25 単位以下	25 単位以下	50 単位未満

また、卒業の所要単位に算入されない科目（資格科目等の自由科目）はCAP制の対象外となります。卒業の所要単位に算入される科目の中で、例外的にCAP制対象外となる科目もあります。詳しくは標準履修課程表を確認してください。

10. 既修得単位等の認定

(1) 外部試験等による外国語の単位認定

TOEIC 等の外部試験において一定レベル以上のスコアや資格を有している場合、英語科目の単位を認定する制度があります。詳細については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」を参照してください。また、申請に使用できる外部試験のスコアの有効期間は1年間です。なお、認定された科目を履修することはできないので注意してください。

11. 定期試験受験心得

試験を受ける際には、次の点を遵守してください。

（ただし、基幹教育科目、共用試験等別に定めているものは除きます。）

- (1) 試験開始までに入室し、試験監督者の指示に従ってください。
- (2) あらかじめ履修登録した科目のみ、受験することができます。
- (3) 受験に際しては、必ず学生証を持参し、着席した机の上に置いてください。学生証を忘れた場合は、事前に所属学部・学域教務担当窓口で仮受験票の交付を受けてください。これを怠った場合は、受験を許可しないことがあります。
- (4) 試験を開始して 30 分経過後の遅刻者は受験を許可されません。

交通機関の事故等による延着については、延着証明を試験監督者に提出してくだ

さい。

- (5) 30 分を経過しなければ退出は許されません。
- (6) 机上には、持ち込みを許可されたもの（教科書、ノートなど）がある場合を除いて、学生証、筆記具以外を置いてはいけません。
- (7) 特に許可された場合を除き試験室への電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類）の持ち込みは不可とします。持ち込んだ場合は不正行為とみなします。ただし、別途試験監督者から、回収や、かばんの中にするなど指示があった場合は、その指示に従ってください。また、音を発する物（たとえば時計のアラーム）などで、他人に迷惑をかけてはいけません。
- (8) 受験中、学生相互間の物品（筆記具を含む）の貸借は一切認められません。また、私語をしてはいけません。
- (9) 配付された答案用紙には、所定の箇所に、学籍番号、氏名などを必ず記入してください。
- (10) 答案用紙は試験監督者から配付されたものを使用し、書き損じた答案用紙も全て提出してください。配付されたものは、許可されたもの以外は持ち帰ってはいけません。
- (11) 試験監督者が不正行為を認めた場合には、受験の停止、退室などを命ずることがあり、受験者はこれに従わなければいけません。
- (12) 対面試験と同様に遠隔試験についても一切の不正行為を禁じます。
- (13) レポート試験について、次の行為に対して不正行為とみなします。
 - ① 他者のレポートの一部または全部を書き写す行為
 - ② 他者にレポート作成を依頼する行為
 - ③ 他者に依頼されて本人の代わりにレポートを作成する行為
 - ④ レポートのデータや資料等を捏造または改ざんする行為
 - ⑤ その他、上記の不正行為に準ずる行為
- (14) 試験（遠隔試験、レポート試験も含む）で不正行為を行った学生に対しては、教授会の認定により、原則としてその試験実施日が属する学期に履修中の科目の成績を全て無効とし、進級を認めない。
- (15) 不正行為を行った学生は、学則に基づいた懲戒処分（訓告、停学、退学）の対象になる事もあります。
- (16) いかなる試験においても、自己または他人のために不正行為をしてはいけません。また、不正行為につながる恐れのある素振りそぶりなど、行わないように十分に注意してください。

12. 成績評価についての異議申立

学生は、その学期の成績評価について、次のような場合に異議を申し立てることができます。

- (1) 成績の誤記入等、担当教員の誤りであると思われるもの
- (2) シラバス等により周知している成績評価の方法に照らして、評価結果等について疑義があるもの

異議申立を行う場合、学生ポータル（UNIPA）に掲載する申立期間内に、各科目の開設部局（各学部・学域教務担当または基幹教育担当）へ申し出てください。

なお、これは成績評価に納得がいかない者が、問い合わせ、また異議申立を行う制度ではないので、注意してください。

13. 休講・欠席について

(1) 気象条件の悪化、交通機関の運休等による授業の休講および定期試験の延期措置について

① 気象条件の悪化による授業の休講について

大阪市、堺市、羽曳野市、泉佐野市のいずれか、またはこれらの市を含む地域に暴風警報、または特別警報が発令されているときは、原則として全ての授業を休講とします（定期試験を含む）。ただし、別表のとおり警報解除の時刻により、全部または一部の授業を行います。

授業中または試験中に、暴風警報または特別警報が発令された場合は、原則として、実施中の授業・試験についてはそのまま行い、その次の時限から授業は休講とします。

また、学外実習などは、前記事項を踏まえ担当教員の指示により授業を行わないことがあります。（実習施設の所在地を含む地域に暴風警報または特別警報が発令されたときは実習を行いません）

なお、気象条件の悪化による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるものであり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

（注意事項）上記にかかわらず、暴風警報、特別警報が発令されたときや居住地域に避難勧告が発令されたときは、自らの身の安全を最優先に行動してください。

② 交通機関の運休による授業の休講について

次の交通機関のいずれかが運休（事故等による一時的な運行停止を除く）を行った場合の授業は原則として休講とします（定期試験を含みます）。ただし、別表のとおり運行再開の時刻により、全部または一部の授業を行います。

なお、交通機関の運休による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるものであり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

（以下、学部・研究科ごとに必要なキャンパスを記載する）

● 杉本キャンパス

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ JR 阪和線全線・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時 |
|--|

● 中百舌鳥キャンパス

- ・ 南海高野線全線
- ・ JR 阪和線全線および南海本線全線が同時
- ・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時

● 阿倍野キャンパス

- ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
- ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- ・ JR 大和路線全線と近鉄南大阪線全線が同時
- ・ JR 学研都市線全線と京阪本線全線が同時
- ・ JR 神戸線・京都線全線と阪神本線・阪急神戸線・京都本線全線が同時

● 羽曳野キャンパス

- ・ 近鉄南大阪線全線
- ・ 近鉄バスの藤井寺駅前～府立医療センター間と古市駅前～大阪府立大学羽曳野キャンパス・府立医療センター間の両方が同時
- ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 御堂筋線全線が同時

● りんくうキャンパス

- ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
- ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時

● 梅田サテライトキャンパス

- ・ 代替交通機関があることから、交通機関の運休による休講の措置については行いません。

③ 遠隔授業（同時双方向型に限る）において授業支援システム（Moodle）が停止した場合の休講について

授業支援システムが停止した場合は同時双方向型の授業に限り、原則として休講とします（授業担当教員から履修者へ個別の連絡がある場合は除きます）。ただし、別表のとおり授業支援システムの復旧の時刻により、全部または一部の授業を行います。また、遠隔授業（オンデマンド型）については休講の措置を行いません。

（別表）

- 杉本、中百舌鳥、阿倍野（医学部医学科・医学研究科を除く）、羽曳野、りんくうキャンパス

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	授業を行う授業
午前 7 時以前	－	全授業
午前 11 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 11 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

● 阿倍野キャンパス（医学科のみ）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	授業を行う授業
午前 7 時以前	－	全時限
午前 10 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 10 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

● 梅田サテライトキャンパス（月～金）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	授業を行う授業
午後 3 時以前	－	全授業
午後 3 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

● 梅田サテライトキャンパス（土）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	授業を行う授業
午前 7 時以前	－	全時限
午前 11 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 11 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

④ その他注意事項

対面授業をオンライン中継する授業の取り扱いについては、対面授業を行っているキャンパスの授業が休講される場合にも同様に休講とします。

上記に挙げる理由以外にも、自然災害が発生した際は休講にする場合があります。

なお、午前 9 時以降における授業の実施については、上記の取扱いを原則としつつ、状況に応じて例外の判断をする場合があります。その際には、学生ポータル（UNIPA）により周知します。

（２）授業欠席時の取扱いについて

授業を欠席する場合、欠席理由（病気、各種実習、介護等体験、クラブ活動、忌引等）の如何を問わず原則として「欠席届」を授業担当教員に提出してください。授業科目の成績評価等の配慮については、授業担当教員の裁量によります。「欠席届」は、学生ポータル（UNIPA）＞学生 Navi＞「授業・履修」からダウンロードできます。

また、「9. 成績評価・試験」の「（３）追試験・再試験」に示す理由によって定期試験を欠席する場合は追試験を行うことがありますので、各科目の開設部局（各学

部・学域教務担当または基幹教育担当）に相談してください。

なお、以下の場合には特例として通常と対応が異なります。

- 学校感染症に指定されている感染症（季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等）に罹患した場合、出席停止となり、速やかに大学に報告が必要となります。報告方法等については Moodle の「学校感染症罹患時報告」を確認し、報告してください。
- 裁判員制度に伴う裁判に出席する場合

裁判員制度により裁判員（候補者）に選出され、裁判所に出頭するために授業を欠席しなければならない場合は、「欠席届」に加えて、裁判所からの呼出状(写)等を授業担当教員に提出することで、成績評価等についての配慮の対象となります。配慮の内容については、授業担当教員の裁量によります。

14. 副専攻

副専攻とは、全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置を行い、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる教育課程の事を指します。

本学で開設されている副専攻については、「副専攻ガイド」を参照してください。ただし、副専攻のために修得した単位については、進級要件および卒業要件に含まれないことがあるので注意してください。

15. 他大学との単位互換制度・単位互換科目

- (1) 他大学の授業の履修を希望する学生は、大学コンソーシアム大阪等との単位互換協定に基づいて、他大学の授業を履修することができます。毎年度教育推進課から募集の案内があります。詳細は各コンソーシアム等の Web サイトを確認してください。
- (2) 他大学で修得した科目および単位は、本学で履修し、単位を修得したものとみなし、単位が認定される場合があります。
- (3) 本学に在学中に外国の大学との協議等に基づき、当該大学の科目を履修し、単位を修得した場合は、教授会等の承認を経て本学において修得したものとみなし、単位が認定される場合があります。

なお、他大学との単位互換制度により認定される単位の上限は 60 単位までです。また、入学前の既修得単位制度により修得した単位数と合わせて 60 単位を超えることはできません。

16. 学籍について

- (1) 休学

病気その他やむを得ない理由で引き続き 2 ヶ月以上修学できない場合は、「休学願」を提出することにより、休学が認められることがあります。なお、「休学願」の提出

は休学を開始する日の前日（前期からの休学の場合は3月31日、後期からの休学の場合は9月23日）までに行わなければなりません。また、休学を延長する場合も、上記と同様の手続きをおこなう必要があります。

休学期間は、通算して2年を超えることができません。休学期間は在学年数に算入しません。また、学年進行の時期は4月です。

（2）復学

休学期間中にその事由が消滅した場合は、申し出て復学することができます。復学するためにはその学期の授業料を納入しなければなりません。

（3）留学

留学を願い出る場合は、担当教員等による指導助言を受けた上で、留学を開始する日の前日までに「留学願」を提出しなければなりません。

（4）退学

退学を希望する場合は、前期をもって退学する場合は前期末、後期をもって退学する場合は後期末までに「退学願」を提出しなければなりません。学期開始後に提出した場合は、その学期の授業料を納入しなければなりません。

（5）除籍

指定された期日までに授業料を納入しなかった場合、あるいは在学年限内に所定の単位を修得できなかった場合で「退学願」の提出のないとき等は除籍となります。

（6）再入学

退学または除籍された者が、再入学を願い出た場合には、教授会の選考を経て再入学が許可されることがあります。ただし、再入学の願い出は、退学または除籍の日から2年以内に限ります。

17. 修学上の配慮・支援について

疾病・障がいおよび社会的障壁を有する学生で個別具体的な修学上の配慮・支援を必要とする場合は、アクセシビリティセンターまたは各学部・学域アクセシビリティ支援委員に申し出てください。

18. 教育学習支援基盤「ていら・みす」について

学ぶ力（学習自己管理能力）を高めること、すなわち、

- ・ 目標を意識しながら、学ぶこと
- ・ 自分自身の学びを見つめる（ふり返る）目を養うこと
- ・ 学びについて得た気づきを、次の学修に生かすこと

を主な目的として、授業ふり返り（授業評価アンケート）等を行います。

「ていら・みす」へは、学生ポータル（UNIPA）からアクセスしてください。

Ⅲ. 令和 5 年 医学部医学科履修規程

1. 学科目

- 1) 基幹教育科目については、次表に示すとおり修得しなければならない。
各科目の詳細は「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」を参照すること。

学年	総合教養科目	基礎教育科目	初年次教育科目	情報リテラシー科目	外国語科目	健康・スポーツ科学科目	合計
1	合計 10 単位 以上	(指定科目) 10 単位	2単位	2単位	英語(指定科目) 4単位 初修外国語 2単位 合計6単位以上	講義 2 単位 実習 1 単位 合計 3 単位	33 単位 以上
2					英語(指定科目) 2 単位		2 単位

なお、TOEFL 等外部試験による英語単位認定については別途定める。
（「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」参照）

- 2) 専門科目は次記のとおりである。

第 1 学年 (M1)	医療倫理学、医学のための統計学、遺伝と遺伝子、細胞生物学、細胞と組織の基本構造と機能、発生学、医学研究推進コース 1、メディカル・データ・サイエンス 1、医学序論、物理学の臨床医学への応用、心肺蘇生法実習、早期臨床医学入門（早期診療所実習を含む）、早期臨床実習 1
第 2 学年 (M2)	生体物質代謝・生化学、医学英語論文の読み方、遺伝医学、運動器系、血液・造血器系、循環器系、神経解剖、脳機能系、医学研究推進コース 2、呼吸器系、免疫系、消化器系、感覚器・皮膚、内分泌・代謝、腎・泌尿器、生殖器、肉眼解剖学（マクロ）実習、機能系実習、早期臨床実習 2、コミュニケーション
第 3 学年 (M3)	生体と薬物、原因と病態 1、原因と病態 2、細菌・真菌感染症、ウイルス感染症、原虫・寄生虫感染症、医学研究推進コース 3、メディカル・データ・サイエンス 2、産業医学 1、公衆衛生学 1、早期臨床実習 3、医学英語
第 4 学年 (M4)	産業医学 2、公衆衛生学 2、法医学、ユニット型臨床臓器別講義（共用試験 CBT（*1））、臨床スターター実習（共用試験 OSCE（*2）、心肺蘇生法実習）、プライマリケア医学
第 5 学年 (M5)	外来型 CC（クリニカル・クラークシップ）（*3）、ユニット型 CC（クリニカル・クラークシップ）
第 6 学年 (M6)	選択型 CC（クリニカル・クラークシップ）（Post-CC OSCE、卒業総合試験）、保健所・保健福祉センター実習

その他、必要に応じて科目を追加することがある。

（*1）CBT : Computer Based Test

（*2）OSCE : Objective Structured Clinical Examination

（*3）CC : Clinical Clerkship

- 3) 授業科目・コースの学年配当は、1. 1)、1. 2)、2. 4-1) 及び「授業時間割表」による。ただし、基幹教育科目については「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」のとおりとする。

2. 履修・評価

- 1) 各学年に配当された授業科目を履修し、その科目の試験（臨床実習の評価を含む）を受けなければならない。ただし、留年した者は、原則として、留年した学年の新たな進級条件を満たすように履修すること。なお、再履修科目について、別に指示する場合がある。選択型 CC の実習病院の選択にあたっては、教務委員会が提示した内規に従うこと。
- 2) 試験は、その科目・コースの授業が終了した際、あるいは学年末または学期末に行う。

3) 教務委員会が定めるやむを得ない理由*による欠席を除き、

①各科目の講義は、2/3以上出席しなければ、当該科目の試験を受けることができない。

②実習は、原則としてすべて出席しなければ、その評価を受けることができない。

③教務委員会が認定する講演会は、原則として出席しなければならない。

*交通機関の事故・運休・遅延、病気、冠婚葬祭、裁判員制度による呼出、等。いずれもその事実を証明できる書類を用意すること。

4-1) 各学年において試験等による評価を行う科目ならびにコース・ユニットは、次のとおりである。

令和5年4月 ～令和6年3月	第1学年 (M1)	基幹教育科目、医療倫理学、医学のための統計学、遺伝と遺伝子、細胞生物学、細胞と組織の基本構造と機能、発生学、医学研究推進コース1、 メディカル・データ・サイエンス1、医学序論、物理学の臨床医学への応用、 心肺蘇生法実習、早期臨床医学入門（早期診療所実習を含む）、早期臨床実習1
令和5年4月 ～12月	第2学年 (M2)	基幹教育科目、生体物質代謝・生化学、医学英語論文の読み方、遺伝医学、運動器系、 血液・造血器系、循環器系、神経解剖、脳機能系、医学研究推進コース2、呼吸器系、 免疫系、消化器系、感覚器・皮膚、内分泌・代謝、腎・泌尿器、生殖器、 肉眼解剖学（マクロ）実習、機能系実習、早期臨床実習2、コミュニケーション
令和5年1月 ～12月	第3学年 (M3)	生体と薬物、原因と病態1、原因と病態1、細菌・真菌感染症、ウイルス感染症、原虫・寄生虫感染症、医学研究推進コース3、メディカル・データ・サイエンス2、産業医学1、公衆衛生学1、早期臨床実習3、医学英語
	第4学年 (M4)	ユニット型臨床臓器別講義（共用試験 CBT） （ユニットA）総合診療医学・行動科学、呼吸器病学、膠原病・リウマチ、 感染症・化学療法、循環器 （ユニットB）消化管、放射線医学、肝・胆・膵・腹膜、 臨床検査・病理、医療安全学 （ユニットC）腎・泌尿器、皮膚科、内分泌・代謝、形成外科、運動器 （ユニットD）眼科、神経精神科、神経内科・老年科、脳神経外科、 耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科 （ユニットE）小児科、血液・造血器、産婦人科、麻酔、救急 臨床スターター実習（共用試験 OSCE、心肺蘇生法実習）、産業医学2、公衆衛生学2、 法医学、プライマリケア医学
	第5学年 (M5)	外来型 CC（クリニカル・クラークシップ）、 ユニット型 CC（クリニカル・クラークシップ） （ユニットA）循環器内科、心臓血管外科、膠原病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、 感染症内科、総合診療科 （ユニットB）消化器内科、肝胆膵内科、消化器外科・肝胆膵外科、 放射線科・放射線治療科・核医学、患者安全学 （ユニットC）代謝内分泌・腎臓内科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、 皮膚科、形成外科、整形外科 （ユニットD）神経精神科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科 （ユニットE）産科婦人科、小児科、小児外科、血液内科、麻酔科、救命救急科
令和5年1月 ～令和6年3月	第6学年 (M6)	選択型 CC（クリニカル・クラークシップ）（Post-CC OSCE、卒業総合試験）、 保健所・保健福祉センター実習

4-2) 上記以外に次の試験を行う。

第3学年 感染症統合型試験

第4学年 共用試験（CBT・OSCE）

第6学年
・卒業総合試験（法医学、公衆衛生学、循環器内科、呼吸器内科、内科学2、消化器内科、
肝胆膵内科、神経内科、小児科、産科、婦人科、血液内科、放射線科、麻酔科、救急、外
科学、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、神経精
神科、臨床感染制御学、総合診療医学）
・Post-CC OSCE

ただし、上記の試験は、それに関連した科目の試験に含め、実施することがある。

5) 試験の成績は、各科目につき60%以上の点数を得たものを合格とする

ただし、第4学年においては、26頁2. 4)に記載のコース毎に試験等を実施するが、最終の成績は25頁1. 2)の項に記載の科目において、下表の通り評価する。

＜第4学年対象科目＞

ユニット型臨床臓器別講義	各コース 60%以上の点数を得たもの
産業医学 2	60%以上の点数を得たもの
公衆衛生学 2	60%以上の点数を得たもの
法医学	60%以上の点数を得たもの
プライマリケア医学	60%以上の点数を得たもの
共用試験 CBT	医療系大学間共用試験実施評価機構の定める IRT 標準スコア合格基準の値を得たもの
臨床スターター実習(共用試験 OSCE)	医療系大学間共用試験実施評価機構の定める合格基準値をみたし、ユニット型 CC に参加する能力があると教務委員会が判断したもの

選択型 CC の実習先選択にあたり、ユニット型臨床臓器別講義、プライマリケア医学、共用試験 CBT・OSCE、ユニット型 OSCE のの成績を順位付けに使用する。なお、成績採用率については「選択型 CC 実習病院選択に関する内規」に基づく。

※外来型 CC については、第5学年のユニット型 CC においてその評価に取り入れる。

- 6) 授業及び試験をやむを得ない理由により受けることができなかった者については、その理由（診断書等証明書類を添付）を明記して、「欠席届」を（試験の場合は「追試験願」を併せて）学務課に届出なければならない。
- 7) 試験を受けることができなかった者については、教授会の認定する場合に限り追・再試験を行うことがある。ただし、基幹教育科目については、再試験を実施しない。
- 8) 試験（遠隔試験、レポート試験も含む）で不正行為を行った学生に対しては、教授会の認定により、原則としてその試験実施日が属する学期に履修中の科目の成績を全て無効とし、進級を認めない。ただし、別に定めている基幹教育科目は除く。
- 9) レポート作成についての留意事項
 - 他人のレポートを写す（剽窃）
 - インターネット・書籍等を写す（盗作）
 以上の行為は不正行為となり留年の対象とする。引用する場合は必ず出典元を明記すること。
- 10) 成績は、合格、不合格とし、合格には次のような評価を行う。ただし、点数化できない科目については、合格と表記する。ただし、追試験は80点、再試験は60点を上限として評価を行う。
AA：90～100 点、A：80～89 点、B：70～79 点、C：60～69 点
- 11) 教育分野 FD（Faculty Development）講演会
授業改善やカリキュラム改革などをテーマに、学部教育の質向上を目的とした組織的な取り組み。医学部では年 4 回、講演会を実施している。第 3 学年と第 5 学年でそれぞれ 4 回ずつ出席すること。なお各学年で 1 回以上、対面方式で参加すること。開催日程等については、掲示板等にて周知する。
- 12) 医療安全研修（医療安全・感染対策）
附属病院実施の医療安全研修及び感染対策研修に、外来型 CC 及びユニット型 CC の期間に各 1 回、選択型 CC 以降に各 1 回出席すること。なお、開催日程等については、掲示板にて周知する。

3. 再試験

各専門科目の点数が 60%未満のとき、教務委員会及び教授会の認定により、次のとおり再試験を許可する。

- 1) 第 1 学年
不合格科目数は問わず、各科目の主任者が再試験実施を可と認めたとき。
- 2) 第 2 学年
不合格コースの主任者が再試験実施を可と認めたとき。
なお、体調不良による試験の欠席は、「診断書」を添え「欠席届」、「追試験願」を試験日より 1 週間以内に学務課へ提出し、追試験の申請をすること。
- 3) 第 3 学年
不合格科目数は問わず、各科目の担当者が再試験実施を可と認めたとき。

4) 第4学年

- ・ユニット型臨床臓器別講義の試験で60%未満（不合格）の点数のコースがあるとき。なお、不合格コース（欠席したコースを含む）が10コース以上あった場合、再試験を受けることができない。ただし、体調不良による試験の欠席は、「診断書」を添え「欠席届」、「追試験願」を試験日より1週間以内に学務課へ提出し、追試験の申請をすること。
 - ・CBTについては、医療系大学間共用試験実施評価機構の定めるIRT合格基準に達していないとき。
 - ・OSCEについては、医療系大学間共用試験実施評価機構の定める合格基準を満たしていないとき。
- なお、臨床スターター実習において、教務委員会の定める回数を欠席した場合、OSCEの再試験を受けることができない。ただし、やむを得ない理由による欠席*を除く。

5) 第5学年

- ・ユニット型CC評価において定められた基準を満たしていないとき。

6) 第6学年

- ・選択型CCにおいて、「再教育が必要である」と評価を受けたとき。
- ・Post-CC OSCEが不合格のとき。
- ・卒業総合試験が不合格のとき。

4. 進級・留年

- 1) 第1学年及び第2学年の基幹教育科目については、25頁の1. 学科目1)の表のとおり修得し、かつ第1・2学年は25頁の表に定めるすべての専門科目・コースに合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。

第2学年の留年者は、各コースの主任が指定するコースを再履修する。

なお、第1学年時の早期臨床実習1・早期診療所実習・心肺蘇生法実習、及び第2学年時の早期臨床実習2への参加は進級条件とする。

第1学年で、基幹教育科目を25頁1.1)の表の通り修得できなかった場合、教務委員会及び教授会の認定により第2学年への仮進級を認める。ただし、第2学年中に修得できなかった場合、原則、第2学年に留年とする。

第2学年で、基幹教育科目2科目のうち、不合格科目が1科目の場合、教務委員会及び教授会の認定により第3学年への仮進級を認める。ただし、第3学年中に修得できなかった場合、原則、第3学年に留年とする。

- 2) 第3学年は、各科目の試験に合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。なお、3年次に留年した際の再履修科目については不合格科目の担当責任者が、別途指示した授業を再履修する。

医学研究推進コース3の研究結果レポートについては実習を受けた年度内の定められた期日までに論文を提出しない場合、次の学年に進級できない。早期臨床実習3への参加ならびに教育分野FD講演会への出席については、進級条件とする。

早期臨床実習3をやむを得ない理由により受けることができなかった者については、その理由（診断書等証明書類を添付）を明記して、学務課に届出なければならない。実習を受けることができなかった者については、教授会の認定する場合に限り次年度の実習を認めることがある。

- 3) 第4学年は、各科目の試験に合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。なお、ユニット型臨床臓器別講義の再試験の結果、60%未満のコースがある場合、CBTの再試験の結果、医療系大学間共用試験実施評価機構の定めるIRT合格基準に達していない場合、またはOSCEの再評価において医療系大学間共用試験実施評価機構の定める合格基準を満たしていない場合は教務委員会の意見を付して教授会で進級を判断する。また、外来型CC以降の時期に開催される医療安全研修（医療安全・感染対策）への出席については、卒業要件とする。

※共用試験(CBT、OSCE)については、必ず同一年度にて両方の合格が必要であり、片方が不合格となり留年となった場合、合格科目の次年度への成績持越しは出来ない。また、この場合、次年度において必ず臨床スターター実習(共用試験OSCE)及び教務委員会が指定した科目・コースを再受講する必要がある。

※外来型CCへの参加条件：Student Doctor(*7)が付与されていること。

※Student Doctor 付与条件

- 頁の表1.2)に定める第4学年の専門教育科目のすべてに合格していること。

(*7) Student Doctor：共用試験（学生の能力と適正について全国的に一定水準を確保するための全国共通の標準評価試験）に合格した学生に対し、全国医学部長病院長会議が認定するもの。

- 4) 第5学年は、各実習にやむを得ない理由*を除き、原則としてすべて出席しなければ、進級判定を受けることができない。

ユニット型 CC 評価において定められた基準を満たさなければ、第 6 学年に進級できない。
教育分野 FD 講演会への出席については、卒業要件とする。

- 5) 第 6 学年は、選択型 CC 評価において定められた基準を満たさない場合、
卒業総合試験、Post-CC OSCE、保健所・保健福祉センター実習に合格しなかった場合は第 6 学年に留年する。
なお、これらの場合、臨床から長期に離れることになるので、選択型 CC を再履修する。
また、医療安全研修（医療安全・感染対策）への出席については、卒業要件とする。

5. 在学年限

在学年限は、第 1 学年については 3 年、第 2 学年～第 6 学年については 8 年を越えて在学することはできない。

6. 卒業の認定

卒業の認定は教授会の議に基づき医学部長が行う。
また、医師国家試験合格者の 4 月 1 日付けの医籍登録にともない、卒業認定日を 3 月 10 日とし、
同日をもって学籍が失効する。ただし、学位授与式（卒業式）は全学卒業式にあわせて行う。

附 則

1 感染症が病院内で発生・流行することは未然に防ぐべきであることは言うまでもない。その際、医学部学舎ならびに医学部附属病院で学ぶ学生は自らがその感染源にならないよう努めることは、将来、医療を学ぶ者の責任である。

したがって、定期健康診断（肺結核）、小児感染症（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎と水痘）の抗体価測定、B 型肝炎のウイルス検査、必要に応じたワクチン接種等を受け、感染源とならない努力をするのは当然のことと考えられる。

抗体価が不十分な学生は、指定の期日に間に合うようにワクチン接種を行い、検査表を学務課へ提出しなければならない。検査表の提出をもってワクチン接種を完了とする。やむを得ない理由を除き、期日以降の検査表の提出は認めない。なお、これらの対策を遵守しない学生は原則的に医学部学舎への立ち入り及び臨床実習を受けることができない。

2 医学部医学科では、カリキュラム改編により、3～6 年生は 1 月から開始するスケジュールとなった。したがって、本規程は令和 5 年 1 月以降に進級もしくは留年する各学年の学生に対し適用する。

（施行期日）

1. この規程は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

（改正 平成 8 年 4 月 1 日）
（改正 平成 9 年 4 月 1 日）
（改正 平成 10 年 4 月 1 日）
（改正 平成 11 年 4 月 1 日）
（改正 平成 12 年 4 月 1 日）
（改正 平成 14 年 4 月 1 日）
（改正 平成 15 年 4 月 1 日）
（改正 平成 16 年 4 月 1 日）
（改正 平成 17 年 4 月 1 日）
（改正 平成 18 年 4 月 1 日）
（改正 平成 19 年 4 月 1 日）
（改正 平成 20 年 4 月 1 日）
（改正 平成 21 年 4 月 1 日）
（改正 平成 22 年 4 月 1 日）
（改正 平成 23 年 4 月 1 日）
（改正 平成 24 年 4 月 1 日）
（改正 平成 25 年 4 月 1 日）
（改正 平成 26 年 4 月 1 日）
（改正 平成 27 年 4 月 1 日）
（改正 平成 28 年 4 月 1 日）
（改正 平成 29 年 4 月 1 日）
（改正 平成 30 年 4 月 1 日）
（改正 平成 31 年 4 月 1 日）

(改正 令和 2 年 4 月 1 日)
(改正 令和 3 年 1 月 1 日)
(改正 令和 4 年 1 月 1 日)
(改正 令和 4 年 4 月 1 日)
(改正 令和 5 年 4 月 1 日)

2. 医学部専門課程履修規程は廃止する。

修 学 上 の 注 意 事 項

1. 各種掲示

学生に関するすべての連絡事項は、原則として1年生は全学共通教育棟及び医学部学舎学年掲示板(学舎 2F)、2 年生以上は医学部学舎各学年の掲示板(学舎 2F)への掲示において行うので、必ずチェックする習慣を身につけ、見落とさないよう注意すること。

2. 履修受験届

各セメスターの初めに、学生ポータル (UNIPA) から履修登録を行うこと。登録期間、修正・確認期間については、別途掲示にて指定する。

3. 学生証・通学証明書および各種証明書等の発行

① 学生証・通学証明書について

入学時に交付された学生証・通学証明書は、6年間有効であるので、紛失しないよう大切に保持すること。もし、紛失・盗難等があった場合は医学部学務課へ再交付を願い出ること。

② 各種証明書発行について

学割・在学・成績等の各種証明書の発行については、証明書自動発行機を利用すること。

4. 住所変更および身上の異動の届出

自宅の住所・下宿先の変更、改姓、保証人の変更、転籍等の異動があった時、メールアドレス変更があった時には、医学部学務課へ申し出ること。

5. 休学・退学等

いずれの場合も前期(4 月 1 日～)・後期(9 月 25 日～)の学期が始まる前の早い時期に、医学部学務課に申し出て相談すること。学期開始後になると、その期の授業料を納めなければならない。

6. 各種奨学金および授業料減免・分納等の申請

学務課事務室前(医学部学舎1F)掲示板において周知するので注意すること。

7. 障がい有する学生の受講等

障がい有する学生が、受講等について要望がある場合は、医学部学務課に申し出ること。

8. 教育相談等

教育システムやカリキュラム上の問題については各学年の教育担当の教務委員に直接、または学務課を介して相談を申し出ること。

9. 実習における賠償責任保険の加入

本学では、実習中における予期せぬ事故に対応した賠償責任保険に、学生が加入することを実習の履修条件とし、全員加入を義務づけている。

実習における保険に加入する場合は、①実習中の本人の事故被害の補償、②実習中の他者(実習施設含む)に対する事故被害の補償を可能とする保険に加入すること。加入なき場合、臨床実習を受けることができない。

ただし、保険の種類、掛け金、加入期間により保険の補償内容が異なるため、各自で補償内容を

確認した上で、必ず定められた期限までに加入し、学務課に報告すること。

なお、詳細については各ガイダンスにて確認すること。

10. インターネットについて

インターネットは、さまざまな情報を収集したり、SNSやメールなどでコミュニケーションをとったりと大変便利なものである反面、高い匿名性と情報発信力を持っており、使い方を誤ると、思わぬ人権侵害、情報漏洩につながる危険性を持っている。特に、将来医師を目指す医学部生はとりわけ高い人権意識、コンプライアンス意識を持つ必要がある。インターネット利用時において以下の点について特に留意し、ルール、モラルを守ること。

- インターネットの公開ウェブサイトやSNSなどのウェブ上のコミュニティにおいて、特定個人の人格を傷つける誹謗中傷を書きこむ行為はしない
- 実習等の画像をインターネット上に公開しない

11. 感染症について

感染症が病院内で発生・流行することは未然に防ぐべきである。その際、医学部学舎ならびに医学部附属病院で学ぶ医学部学生は自らがその感染源にならないよう努めることは、将来、医療を学ぶ者の責任である。従って、定期健康診断(肺結核)を受診していない学生は、原則的に医学部学舎への立ち入りを禁止する。

また、小児感染症・B型肝炎の抗体価測定、必要に応じたワクチン接種を受けていない学生は、臨床実習を受けることができない。

12. その他

- ① 医学部キャンパス内では、常に名札を着用すること。臨床実習に参加する場合には患者や家族に不快感を与えないよう、頭髪、服装等に配慮し、病院内の如何なる場所においても真摯な態度を心がけること。規準はあくまで、医療を提供される側にあるのであって、学生個人の考え方に基づくものではない。
- ② 飲食は所定の場所以外ではおこなわないこと。喫煙は禁止とする。
- ③ 授業中は携帯電話等のスイッチを必ず切っておくこと。
- ④ 授業の撮影・録音は禁止とする。但し、特別な事情によりその必要性が生じた際は、必ず事前に担当教員、学務課に連絡すること。

「学校において予防すべき感染症」における出席停止と手続きについて

学校感染症に指定されている感染症に罹患した場合(季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等)」

学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症に罹患またはその疑いがある場合は出席停止(公的欠席)扱いとなります。その場合は、速やかに学務課に連絡し、主治医又は学校医等の指示に従い出席停止(自宅療養)してください。

感染症罹患報告アドレス(学務課)【i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp】

「学校において予防すべき感染症」に、罹患または罹患した疑いがある場合

▶ 発熱 37.0℃以上 ▶ 感冒症状(咳、鼻汁、咽頭痛) ▶ 全身症状(悪寒、頭痛、関節痛、全身倦怠感) ▶ 嘔気、嘔吐、下痢、血便 ▶ 目の充血、多量の眼脂 ▶ 皮疹・頸部腫脹等

- ① 医療機関を受診
- ② 該当の感染症であることの診断を受ける→この時点で出席停止となります。
- ③ 医療機関で必要な治療を受け、医師に『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』(OCU UNIPAからダウンロード)に記載を依頼する。

必ず医学部学務課に電話連絡すること

- ① 治癒した後に登校
- ② 『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』と「出席停止措置による欠席科目報告書」を医学部学務課に提出

- 『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』には、診断名、出席停止期間が明記されていること。
- 上記内容が明記されていれば、医師による診断書で代用することが可能です。
- 出席停止期間における授業・試験等の取り扱いについては、各所属の決定に従ってください。また、出席停止期間に対する取扱いは、各所属や科目によって異なりますのでご注意ください。
- インフルエンザが疑われる場合、本学の保健管理センターの内科診察でインフルエンザの診断及び治療が可能です。
- 感染症緊急対策本部が設置された場合においては、別途の対応を行う場合があるのでその指示に従ってください。

医療・健康に関すること

保健管理センター

06-6605-2108

授業・試験等に関すること

医学部医学科

06-6645-3611

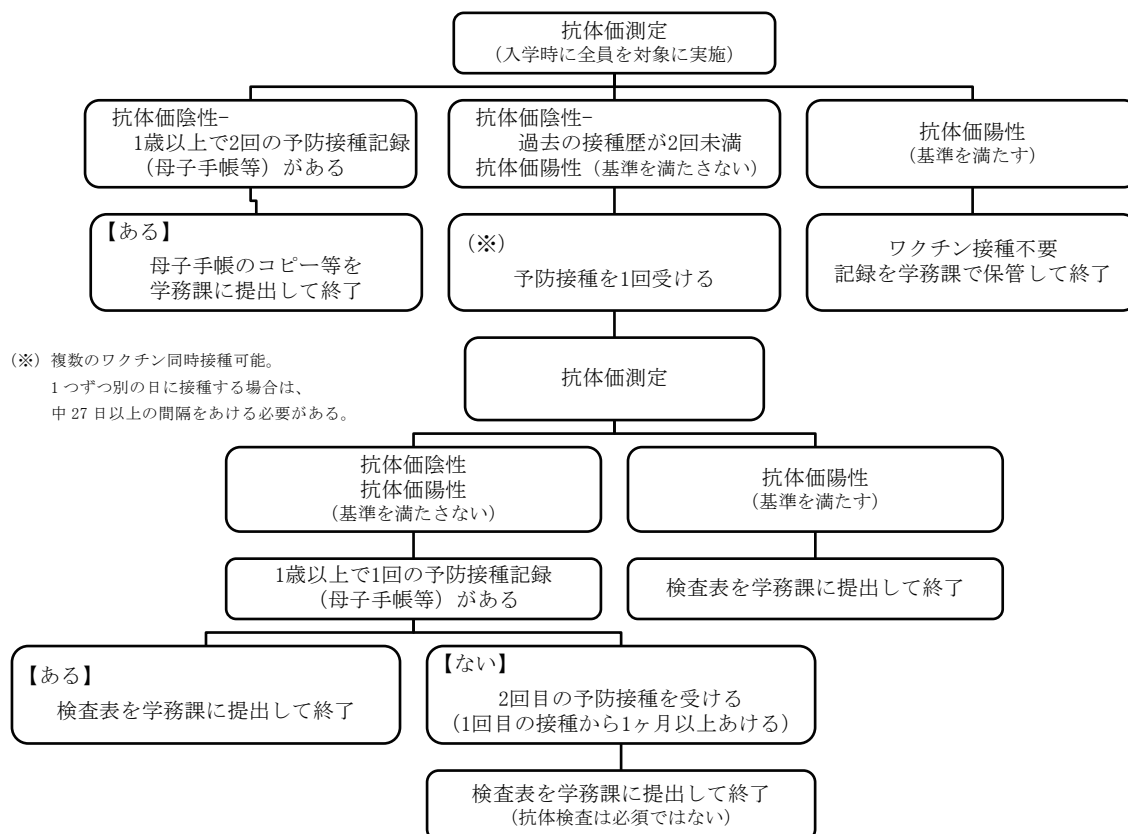
感染症予防におけるワクチン接種について

医学部医学科においては、病院実習で感染症ウイルス暴露の機会が多いこと、また医療関係者として感染源にならないため、確実に免疫をつけておく必要があることから、抗体価が不十分な学生はワクチン接種を受けてください。

必要な抗体価が確認できない学生は病院実習を受けることができません。

●小児感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）

＜ワクチン接種フロー＞



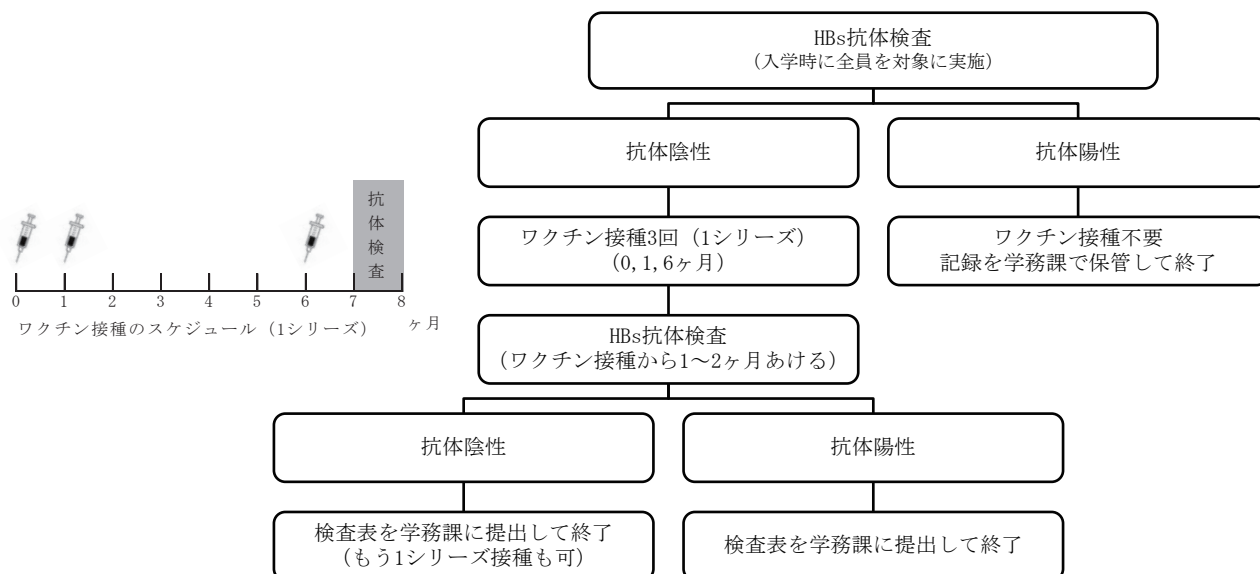
＜小児感染症抗体価基準値＞

(一般社団法人 日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」に準拠)

疾患名	抗体価陰性	抗体価陽性 (基準を満たさない)	抗体価陽性 (基準を満たす)
麻疹	EIA 法 (IgG) : 陰性 あるいは PA 法 : <1:16 あるいは中和法 : <1:4	EIA 法 (IgG) : (±) ~16.0 あるいは PA 法 : 1:16, 32, 64, 128 あるいは中和法 : 1:4	EIA 法 (IgG) : 16.0 以上 あるいは PA 法 : 1:256 以上 あるいは中和法 : 1:8 以上
風疹	HI 法 : <1:8 あるいは EIA 法 (IgG) : 陰性	HI 法 : 1:8, 16 あるいは EIA 法 (IgG) : (±) ~8.0	HI 法 : 1:32 以上 あるいは EIA 法 (IgG) : 8.0 以上
水痘	EIA 法 (IgG) : <2.0 あるいは IAHA 法 : <1:2 あるいは中和法 : <1:2	EIA 法 (IgG) : 2.0~4.0 あるいは IAHA 法 : 1:2 あるいは中和法 : 1:2	EIA 法 (IgG) : 4.0 以上 あるいは IAHA 法 : 1:4 以上 あるいは中和法 : 1:4 以上 あるいは水痘抗原皮内テストで陽性 (5mm 以上)
流行性 耳下腺炎	EIA 法 (IgG) : 陰性 (<2.0)	EIA 法 (IgG) : (±) (2.0~3.9)	EIA 法 (IgG) : 陽性 (4.0 以上)

● B型肝炎

< ワクチン接種フロー >



< B型肝炎抗体基準値 >

（一般社団法人 日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」に準拠）

疾患名	抗体陰性	抗体陽性
B型肝炎	HBs 抗体検査：<10mIU/mL EIA, CLIA, RIA 法	HBs 抗体検査：<10mIU/mL 以上 EIA, CLIA, RIA 法

● 結核検査

- ・ QFT 検査及び T-SPOT を行います。（入学時に全員を対象に実施）
- ・ 陰性（-）の場合は記録を学務課で保管して終了します。
- ・ 陽性（+）及び判定保留の場合は、専門医の診断を受け、診断書を提出してください。

● インフルエンザ予防接種

インフルエンザに対する治療薬も実用化されていますが、感染前にワクチンで予防することがインフルエンザに対する最も有効な防御手段です。特にインフルエンザ患者と接触するリスクの高い医療関係者においては、自身への感染防止の観点、患者や他の職員への施設内感染防止の観点、およびインフルエンザ罹患による欠席防止の、いずれの観点からも、積極的にワクチン接種を受けることが推奨されます。よって、可能な限り予防接種を受けてください。なお、接種不可の理由等がある学生は申し出てください。

● ワクチン接種状況、抗体検査結果報告期日

小児感染症	1年生の7月中旬までに完了してください。
B型肝炎	1年生の3月末日までに完了してください。
結核	1年生の7月中旬までに完了してください。
インフルエンザ	流行時期になる前に改めて周知します。

裁判員制度の実施に伴う修学上の措置について

平成21年5月21日からの裁判員制度の実施に伴い、皆さんが裁判所からの呼出状に基づき裁判所に出頭する場合や裁判員として裁判に参加する場合は予想されます。裁判員等に選任された皆さんが修学上安心して参加出来るように、次のとおりの措置することとなりましたので、お知らせします。

記

1 裁判員等に選任された場合（本人の意志により辞退しない場合）

① 「欠席届」を提出してください。

所定用紙の配付・提出先：医学部医学科学務課

※ 全学共通科目については、学生支援課にて手続きを行ってください。

2 措置内容

① 授業の欠席により皆さんに不利益を与えないよう、授業担当教員の判断により措置を行います。

② 定期試験期間中の場合は、追試験の対象とします。

3 その他

裁判員候補者の内、裁判員または補充裁判員に選任されなかった場合は、それ以降「欠席届」の提出はできません。

平成21年4月22日

教務担当部長通知

IV.授業時間割表

阿倍野キャンパス

◆ 1年生(90分授業)

1時限 9:00-10:30

2時限 10:45-12:15

3時限 13:15-14:45

4時限 15:00-16:30

5時限 16:45-18:15

◆ 2年生(60分授業)

1時限 9:00-10:00

2時限 10:10-11:10

3時限 11:20-12:20

4時限 13:10-14:10

5時限 14:20-15:20

6時限 15:30-16:30

◆ University English 3A(90分授業)

13:15-14:45

University English 3B (90分授業)

15:00-16:30

※ただし、上記講時表と異なる時間帯で講義・実習を設定することがある。

2023 年 1 年生 授業時間割表 (4 月・5 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金（前）	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火（前）・金（後）	A						
火（後）・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2023/4/1	土						
2023/4/2	日	A) 抗体検査	A) 抗体検査	A) 履修ガイダンス			
2023/4/3	月						
2023/4/4	火			A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	
2023/4/5	水	入学式	入学式	A) 入学祝賀会	A) 入学祝賀会		入学式（予定）
2023/4/6	木						
2023/4/7	金						
2023/4/8	土						
2023/4/9	日						
2023/4/10	月	基礎無機・物理化学①	基礎物理化学 A ①	英語 1B	総合教養科目		前期授業開始
2023/4/11	火		医学のための統計学①	遺伝と遺伝子①	医学研究推進コース①		
2023/4/12	水	情報リテラシー	物理学基礎①	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/4/13	木	生物学 C ①	初年次ゼミナール				
2023/4/14	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/4/15	土						
2023/4/16	日						
2023/4/17	月	基礎無機・物理化学②	基礎物理化学 A ②	英語 1B	総合教養科目		
2023/4/18	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学②	遺伝と遺伝子②	医学研究推進コース②	医学研究推進コース③	
2023/4/19	水	情報リテラシー	物理学基礎②	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/4/20	木	生物学 C ②	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論①		
2023/4/21	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/4/22	土						
2023/4/23	日						
2023/4/24	月	基礎無機・物理化学③	基礎物理化学 A ③	英語 1B	総合教養科目		
2023/4/25	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学③	遺伝と遺伝子③	医療倫理学①	医療倫理学②	
2023/4/26	水	情報リテラシー	物理学基礎③	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/4/27	木	生物学 C ③	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論②		
2023/4/28	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/4/29	土						【昭和の日】
2023/4/30	日						
2023/5/1	月	基礎無機・物理化学④	基礎物理化学 A ④	英語 1B	総合教養科目		
2023/5/2	火	休講	休講	休講	休講		【授業調整休講日】
2023/5/3	水						【憲法記念日】
2023/5/4	木						【みどりの日】
2023/5/5	金						【こどもの日】
2023/5/6	土						
2023/5/7	日						
2023/5/8	月	基礎無機・物理化学⑤	基礎物理化学 A ⑤	英語 1B	総合教養科目		
2023/5/9	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学④	遺伝と遺伝子④	医学研究推進コース④	予備日 / 自己学習日	
2023/5/10	水	情報リテラシー	物理学基礎④	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/5/11	木	生物学 C ④	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論③		
2023/5/12	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/5/13	土						
2023/5/14	日						
2023/5/15	月	基礎無機・物理化学⑥	基礎物理化学 A ⑥	英語 1B	総合教養科目		
2023/5/16	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑤	遺伝と遺伝子⑤	医学研究推進コース⑤	予備日 / 自己学習日	
2023/5/17	水	情報リテラシー	物理学基礎⑤	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/5/18	木	生物学 C ⑤	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論④		
2023/5/19	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/5/20	土						【補講日】
2023/5/21	日						
2023/5/22	月	基礎無機・物理化学⑦	基礎物理化学 A ⑦	英語 1B	総合教養科目		
2023/5/23	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑥	遺伝と遺伝子⑥	医療倫理学③	医学研究推進コース⑥	
2023/5/24	水	情報リテラシー	物理学基礎⑥	英語 1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/5/25	木	生物学 C ⑥	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論⑤		
2023/5/26	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/5/27	土						
2023/5/28	日						
2023/5/29	月	基礎無機・物理化学⑧	基礎物理化学 A ⑧	英語 1B	総合教養科目		
2023/5/30	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑦	遺伝と遺伝子⑦	医療倫理学④	医学研究推進コース⑦	
2023/5/31	水	情報リテラシー	物理学基礎⑦	英語 1A	初修外国語		

2023 年 1 年生 授業時間割表 (6 月・7 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金 (前)	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火 (前)・金 (後)	A						
火 (後)・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2023/6/1	木	生物学C⑦	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論⑥		
2023/6/2	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/6/3	土						
2023/6/4	日						
2023/6/5	月	基礎無機・物理化学⑨	基礎物理化学A⑨	英語1B	総合教養科目		
2023/6/6	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑧	遺伝と遺伝子⑧	医療倫理学⑤	医学研究推進コース⑧	
2023/6/7	水	情報リテラシー	物理学基礎⑧	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/6/8	木	生物学C⑧	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論⑦		
2023/6/9	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/6/10	土						
2023/6/11	日						
2023/6/12	月	基礎無機・物理化学⑩	基礎物理化学A⑩	英語1B	総合教養科目		
2023/6/13	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑨	遺伝と遺伝子⑨	医学研究推進コース⑨	予備日 / 自己学習日	
2023/6/14	水	情報リテラシー	物理学基礎⑨	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/6/15	木	生物学C⑨	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論⑧		
2023/6/16	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/6/17	土						
2023/6/18	日						
2023/6/19	月	基礎無機・物理化学⑪	基礎物理化学A⑪	英語1B	総合教養科目		
2023/6/20	火	医学のための統計学⑩	医学のための統計学⑪	遺伝と遺伝子⑩	物理学の臨床医学への応用①	物理学の臨床医学への応用②	
2023/6/21	水	情報リテラシー	物理学基礎⑩	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/6/22	木	生物学C⑩	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/6/23	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/6/24	土						【補講日】
2023/6/25	日						
2023/6/26	月	基礎無機・物理化学⑫	基礎物理化学A⑫	英語1B	総合教養科目		
2023/6/27	火	医学のための統計学⑫	医学のための統計学⑬	遺伝と遺伝子⑪	医療倫理学⑥	予備日 / 自己学習日	
2023/6/28	水	情報リテラシー	物理学基礎⑪	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/6/29	木	生物学C⑪	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/6/30	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/7/1	土						
2023/7/2	日						
2023/7/3	月	基礎無機・物理化学⑬	基礎物理化学A⑬	英語1B	総合教養科目		
2023/7/4	火	医学のための統計学⑬	医学のための統計学⑭	遺伝と遺伝子⑫	医療倫理学⑦	医学研究推進コース⑩	
2023/7/5	水	情報リテラシー	物理学基礎⑫	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/7/6	木	生物学C⑫	初年次ゼミナール	(S→A)	物理学の臨床医学への応用③	物理学の臨床医学への応用④	
2023/7/7	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/7/8	土						
2023/7/9	日						
2023/7/10	月	基礎無機・物理化学⑭	基礎物理化学A⑭	英語1B	総合教養科目		
2023/7/11	火	医学のための統計学⑭	医学のための統計学⑮	遺伝と遺伝子⑬	医学研究推進コース⑪	予備日 / 自己学習日	
2023/7/12	水	情報リテラシー	物理学基礎⑬	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/7/13	木	生物学C⑬	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/7/14	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/7/15	土						【補講日】
2023/7/16	日						
2023/7/17	月						【海の日】
2023/7/18	火	医学のための統計学⑮	医学のための統計学⑯	遺伝と遺伝子⑭	医学研究推進コース⑫	予備日 / 自己学習日	
2023/7/19	水	情報リテラシー	物理学基礎⑭	英語1A	初修外国語	総合教養科目	
2023/7/20	木	生物学C⑭	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/7/21	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2023/7/22	土						【補講日】
2023/7/23	日						
2023/7/24	月	基礎無機・物理化学⑮	基礎物理化学A⑮	英語1B	総合教養科目		授業・試験期間
2023/7/25	火	予備日 / 自己学習日	医学のための統計学⑯	遺伝と遺伝子⑮	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	授業・試験期間
2023/7/26	水	情報リテラシー	物理学基礎⑮	英語1A	初修外国語	総合教養科目	授業・試験期間
2023/7/27	木	生物学C⑮	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	授業・試験期間
2023/7/28	金	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	授業・試験期間
2023/7/29	土						
2023/7/30	日						
2023/7/31	月	【試験】基礎無機・物理化学	【試験】基礎物理化学A				授業・試験期間

2023 年 1 年生 授業時間割表 (8 月・9 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金 (前)	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火 (前)・金 (後)	A						
火 (後)・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2023/8/1	火		【試験】医学のための統計学	【試験】遺伝と遺伝子			授業・試験期間
2023/8/2	水		【試験】物理学基礎				授業・試験期間
2023/8/3	木	【試験】生物学 C					授業・試験期間
2023/8/4	金						授業・試験期間
2023/8/5	土						
2023/8/6	日						
2023/8/7	月						試験予備日
2023/8/8	火						試験予備日
2023/8/9	水						
2023/8/10	木						8/10～9/23 夏季休業
2023/8/11	金						【山の日】
2023/8/12	土						
2023/8/13	日						
2023/8/14	月						
2023/8/15	火						
2023/8/16	水						
2023/8/17	木						
2023/8/18	金						
2023/8/19	土						
2023/8/20	日						
2023/8/21	月						
2023/8/22	火						
2023/8/23	水						
2023/8/24	木						
2023/8/25	金						
2023/8/26	土						
2023/8/27	日						
2023/8/28	月						
2023/8/29	火						
2023/8/30	水						
2023/8/31	木						
2023/9/1	金						
2023/9/2	土						
2023/9/3	日						
2023/9/4	月						
2023/9/5	火						
2023/9/6	水						
2023/9/7	木						
2023/9/8	金						
2023/9/9	土						
2023/9/10	日						
2023/9/11	月						
2023/9/12	火						
2023/9/13	水						
2023/9/14	木						
2023/9/15	金						
2023/9/16	土						
2023/9/17	日						
2023/9/18	月						【敬老の日】
2023/9/19	火						
2023/9/20	水				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/9/21	木				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/9/22	金			早期臨床医学入門	早期臨床医学入門		
2023/9/23	土						【秋分の日】
2023/9/24	日						
2023/9/25	月		基礎有機化学①	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	全学後期授業開始
2023/9/26	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	医学研究推進コース⑬	予備日 / 自己学習日	
2023/9/27	水			英語 2A	初修外国語		
2023/9/28	木		(S→A)	細胞生物学①	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/9/29	金	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	
2023/9/30	土						

2023 年 1 年生 授業時間割表 (10 月・11 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金 (前)	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火 (前)・金 (後)	A						
火 (後)・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2023/10/1	日						
2023/10/2	月		基礎有機化学②	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/10/3	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/10/4	水			英語 2A	初修外国語		
2023/10/5	木		(S→A)	細胞生物学②	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/10/6	金	発生物学①	発生物学②	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/10/7	土						
2023/10/8	日						
2023/10/9	月		基礎有機化学③	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	祝日授業日【ぼーろの日】
2023/10/10	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/10/11	水			英語 2A	初修外国語		
2023/10/12	木		(S→A)	細胞生物学③	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/10/13	金	発生物学③	発生物学④	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法実習	
2023/10/14	土						
2023/10/15	日						
2023/10/16	月		基礎有機化学④	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/10/17	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/10/18	水			英語 2A	初修外国語		
2023/10/19	木		(S→A)	細胞生物学④	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/10/20	金	発生物学⑤	発生物学⑥	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	予備日 / 自己学習日	
2023/10/21	土						
2023/10/22	日						
2023/10/23	月		基礎有機化学⑤	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/10/24	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/10/25	水			英語 2A	初修外国語		
2023/10/26	木		(S→A)	細胞生物学⑤	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/10/27	金	発生物学⑦	発生物学⑧	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/10/28	土						
2023/10/29	日						
2023/10/30	月		基礎有機化学⑥	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/10/31	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/11/1	水			英語 2A	初修外国語		
2023/11/2	木		(S→A)	細胞生物学⑥	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/11/3	金						【文化の日】
2023/11/4	土						
2023/11/5	日						
2023/11/6	月		基礎有機化学⑦	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/11/7	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/11/8	水			英語 2A	初修外国語		
2023/11/9	木		(S→A)	細胞生物学⑦	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/11/10	金	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	発生物学⑨	発生物学⑩	予備日 / 自己学習日	
2023/11/11	土						
2023/11/12	日						
2023/11/13	月		基礎有機化学⑧	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/11/14	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/11/15	水			英語 2A	初修外国語		
2023/11/16	木		(S→A)	細胞生物学⑧	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/11/17	金	OSCE 補助	OSCE 補助	OSCE 補助	OSCE 補助	OSCE 補助	
2023/11/18	土						
2023/11/19	日						
2023/11/20	月		基礎有機化学⑨	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/11/21	火						【授業調整休講日】
2023/11/22	水						【授業調整休講日】
2023/11/23	木						【勤労感謝の日】
2023/11/24	金	【試験】発生物学			早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2023/11/25	土						【補講日】
2023/11/26	日						
2023/11/27	月		基礎有機化学⑩	英語 2B	健康・スポーツ科学 (講義	総合教養科目	
2023/11/28	火		健康・スポーツ科学 (実習	(S→A)	組織①		
2023/11/29	水			英語 2A	初修外国語		
2023/11/30	木		(S→A)	細胞生物学⑨	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	

2023 年 1 年生 授業時間割表 (12 月・1 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金（前）	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火（前）・金（後）	A						
火（後）・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2023/12/1	金	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	組織②	組織③	予備日 / 自己学習日	
2023/12/2	土						
2023/12/3	日						
2023/12/4	月		基礎有機化学⑪	英語 2B	健康・スポーツ科学（講義）	総合教養科目	
2023/12/5	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/12/6	水			英語 2A	初修外国語		
2023/12/7	木		（S→A）	細胞生物学⑩	【試験】早期臨床医学入門	予備日 / 自己学習日	
2023/12/8	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織④	組織⑤	組織⑥	
2023/12/9	土						
2023/12/10	日						
2023/12/11	月		基礎有機化学⑫	英語 2B	健康・スポーツ科学（講義）	総合教養科目	
2023/12/12	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/12/13	水			英語 2A	初修外国語		
2023/12/14	木		（S→A）	細胞生物学⑪	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/12/15	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織⑦	組織⑧	組織⑨	
2023/12/16	土						補講日
2023/12/17	日						
2023/12/18	月		基礎有機化学⑬	英語 2B	健康・スポーツ科学（講義）	総合教養科目	
2023/12/19	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2023/12/20	水			英語 2A	初修外国語		
2023/12/21	木		（S→A）	細胞生物学⑫	細胞生物学⑬	予備日 / 自己学習日	
2023/12/22	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織⑩	組織⑪	組織⑫	
2023/12/23	土						【補講日】
2023/12/24	日						冬期休業 12/24～1/8
2023/12/25	月						
2023/12/26	火						
2023/12/27	水						
2023/12/28	木						
2023/12/29	金						
2023/12/30	土						
2023/12/31	日						
2024/1/1	月						【元旦】
2024/1/2	火						
2024/1/3	水						
2024/1/4	木						
2024/1/5	金						冬季休業中授業実施日
2024/1/6	土						
2024/1/7	日						
2024/1/8	月						【成人の日】
2024/1/9	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2024/1/10	水			英語 2A	初修外国語		
2024/1/11	木		（S→A）	細胞生物学⑭	細胞生物学⑮	予備日 / 自己学習日	
2024/1/12	金						杉本休講日
2024/1/13	土						
2024/1/14	日						
2024/1/15	月		基礎有機化学⑭	英語 2B	健康・スポーツ科学（講義）	総合教養科目	
2024/1/16	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
2024/1/17	水			英語 2A	初修外国語		
2024/1/18	木		（S→A）	組織⑬	組織⑭	組織⑮	
2024/1/19	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織実習予備日	組織実習予備日	組織実習予備日	
2024/1/20	土						
2024/1/21	日						
2024/1/22	月		基礎有機化学⑮	英語 2B	健康・スポーツ科学（講義）	総合教養科目	授業・試験期間
2024/1/23	火		健康・スポーツ科学（実習）	（S→A）	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	授業・試験期間
2024/1/24	水			英語 2A	初修外国語		授業・試験期間
2024/1/25	木		（S→A）	組織⑯	組織⑰	組織⑱	授業・試験期間
2024/1/26	金			組織実習予備日	組織実習予備日	組織実習予備日	授業・試験期間
2024/1/27	土						
2024/1/28	日						
2024/1/29	月		【試験】基礎有機化学				授業・試験期間
2024/1/30	火						授業・試験期間
2024/1/31	水						授業・試験期間

2023 年 1 年生 授業時間割表 (2 月・3 月)

	場所	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	備考
月・水・金（前）	S	9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15	
火（前）・金（後）	A						
火（後）・木	S→A						
※場所 S＝杉本 A＝阿倍野 S→A＝杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します							
2024/2/1	木			【試験】細胞生物学			授業・試験期間
2024/2/2	金			【試験】組織	【試験】組織		授業・試験期間
2024/2/3	土						
2024/2/4	日						
2024/2/5	月						試験予備日
2024/2/6	火						試験予備日
2024/2/7	水						
2024/2/8	木						
2024/2/9	金						
2024/2/10	土						
2024/2/11	日						【建国記念の日】
2024/2/12	月						【振替休日】
2024/2/13	火						
2024/2/14	水						
2024/2/15	木						
2024/2/16	金						
2024/2/17	土						
2024/2/18	日						
2024/2/19	月						
2024/2/20	火						
2024/2/21	水						
2024/2/22	木						個別学力試験準備
2024/2/23	金						【天皇誕生日】
2024/2/24	土						個別学力試験
2024/2/25	日						個別学力試験
2024/2/26	月						
2024/2/27	火						
2024/2/28	水						
2024/2/29	木						
2024/3/1	金						
2024/3/2	土						
2024/3/3	日						
2024/3/4	月						
2024/3/5	火						
2024/3/6	水						
2024/3/7	木						
2024/3/8	金						
2024/3/9	土						
2024/3/10	日						
2024/3/11	月						
2024/3/12	火						
2024/3/13	水						
2024/3/14	木						
2024/3/15	金						
2024/3/16	土						
2024/3/17	日						
2024/3/18	月						
2024/3/19	火						春季休業 3/20 ～
2024/3/20	水						【春分の日】
2024/3/21	木						
2024/3/22	金						
2024/3/23	土						
2024/3/24	日						
2024/3/25	月						
2024/3/26	火						
2024/3/27	水						
2024/3/28	木						
2024/3/29	金						
2024/3/30	土						
2024/3/31	日						

2023 年 2 年生 授業時間割表 (4 月・5 月)

日 付	曜 日	祝 日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	行 事 等
			9:00-10:00	10:10-11:10	11:20-12:20	13:10-14:10 医学英語 (90 分授業) ④ 13:10-14:40 ⑤ 14:50-16:20 ⑥ 16:30-18:00 UE 3A・3B(90 分授業) UE 3A・13:15-14:45 UE 3B・15:00-16:30	14:20-15:20	15:30-16:30	
2023/4/01	土								
4/02	日								
4/03	月								
4/04	火		進級ガイダンス	進級ガイダンス	■医学研究推進コース2	血液1(大谷)	血液2(大谷)	予備日/自己学習日	
4/05	水		生化学1	生化学2	生化学3	血液3(大谷)	血液4(大谷)	予備日/自己学習日	
4/06	木		予備日/自己学習日	生化学4	生化学5	University English 3A・3B①			
4/07	金		血液5(大谷)	血液6(大谷)	予備日/自己学習日	内分泌・代謝1(松原)	内分泌・代謝2(松原)	予備日/自己学習日	
4/08	土								
4/09	日								
4/10	月		予備日/自己学習日	生化学6	生化学7	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	内分泌・代謝3(大谷)	健康診断
4/11	火		予備日/自己学習日	生化学8	生化学9	■内分泌・代謝4(1解剖)	■内分泌・代謝5(1解剖)	■内分泌・代謝6(1解剖)	
4/12	水		予備日/自己学習日	生化学10	生化学11	内分泌・代謝7(大谷)	内分泌・代謝8(大谷)	内分泌・代謝9(山岸良)	
4/13	木		予備日/自己学習日	生化学12	生化学13	University English 3A・3B②			
4/14	金		予備日/自己学習日	内分泌・代謝10(大谷)	内分泌・代謝11(大谷)	●血液試験	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	
4/15	土								
4/16	日								
4/17	月		予備日/自己学習日	生化学14	生化学15	遺伝医学1	遺伝医学2	遺伝医学3	
4/18	火		予備日/自己学習日	生化学16	生化学17	遺伝医学4	遺伝医学5	遺伝医学6	
4/19	水		予備日/自己学習日	生化学18	生化学19	遺伝医学7	遺伝医学8	遺伝医学9	
4/20	木		予備日/自己学習日	生化学20	生化学21	University English 3A・3B③			
4/21	金		遺伝医学10	遺伝医学11	遺伝医学12	遺伝医学13	遺伝医学14	遺伝医学15	
4/22	土								
4/23	日								
4/24	月		予備日/自己学習日	生化学22	生化学23	遺伝医学16	遺伝医学17	遺伝医学18	
4/25	火		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	遺伝医学19	遺伝医学20	予備日/自己学習日	
4/26	水		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	遺伝医学21	遺伝医学22	予備日/自己学習日	
4/27	木		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	University English 3A・3B④			
4/28	金		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	遺伝医学23	遺伝医学24	遺伝医学25	
4/29	土								昭和の日
4/30	日								
5/01	月		予備日/自己学習日	●内分泌・代謝試験	●内分泌・代謝試験	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	
5/02	火		●生化学試験	●生化学試験	●生化学試験	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	
5/03	水								憲法記念日
5/04	木								みどりの日
5/05	金								こどもの日
5/06	土								
5/07	日								
5/08	月		■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	呼吸器1(池田)	呼吸器2(池田)	呼吸器3(池田)	
5/09	火		■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	呼吸器4(吉川)	呼吸器5(吉川)	予備日/自己学習日	
5/10	水		■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	呼吸器6(吉川)	呼吸器7(吉川)	呼吸器8(吉川)	
5/11	木		■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	■医学研究推進コース2	University English 3A・3B⑤			
5/12	金		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	■呼吸器実習9(1解剖)	■呼吸器実習10(1解剖)	■呼吸器実習11(1解剖)	
5/13	土								
5/14	日								
5/15	月		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	■呼吸器実習12(1解剖)	■呼吸器実習13(1解剖)	■呼吸器実習14(1解剖)	
5/16	火		●遺伝医学試験	●遺伝医学試験	●遺伝医学試験	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	
5/17	水		消化器1(大谷)	消化器2(大谷)	消化器3(大谷)	呼吸器15(吉川)	呼吸器16(吉川)	呼吸器17(吉川)	
5/18	木		消化器4(池田)	消化器5(池田)	消化器6(池田)	University English 3A・3BⅡ⑥			
5/19	金		呼吸器18(吉川)	呼吸器19(吉川)	呼吸器20(吉川)	呼吸器21(吉川)	呼吸器22(呼吸器外科)	呼吸器23(吉川)	
5/20	土								
5/21	日								
5/22	月		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	消化器7(大谷)	■消化器実習8(1解剖)	■消化器実習9(1解剖)	■消化器実習10(1解剖)	
5/23	火		■消化器実習11(1解剖)	■消化器実習12(1解剖)	■消化器実習13(1解剖)	循環器1	循環器2	循環器3	
5/24	水		消化器14(池田)	消化器15(池田)	消化器16(池田)	循環器4	循環器5	循環器6	
5/25	木		消化器17(大谷)	消化器18(大谷)	消化器19(大谷)	University English 3A・3B⑦			
5/26	金		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	循環器7	循環器8	循環器9	
5/27	土								
5/28	日								
5/29	月		予備日/自己学習日	予備日/自己学習日	消化器20(神谷)	予備日/自己学習日	循環器10	予備日/自己学習日	
5/30	火		■消化器実習21(1解剖)	■消化器実習22(1解剖)	■消化器実習23(1解剖)	循環器11	循環器12	循環器13	
5/31	水		■消化器実習24(1解剖)	■消化器実習25(1解剖)	■消化器実習26(1解剖)	循環器14	循環器15	循環器16	

※ 医学英語は別途クラス編成を行う。 ※ ●は試験実施日。 ※ 授業を編成していない時間帯(予備日/自己学習)等に補講を行うことがある。

2023 年 2 年生 授業時間割表 (6 月・7 月)

日 付	曜 日	祝 日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	行 事 等
			9:00-10:00	10:10-11:10	11:20-12:20	13:10-14:10 医学英語 (90 分授業) ④ 13:10-14:40 ⑤ 14:50-16:20 ⑥ 16:30-18:00 UE 3A・3B(90 分授業)UE 3A・13:15-14:45 UE 3B・15:00-16:30	14:20-15:20	15:30-16:30	
6/01	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	University English 3A・3B ⑧			本学創立記念日
6/02	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	循環器 17	循環器 18	循環器 19	
6/03	土								
6/04	日								
6/05	月		予備日／自己学習日	消化器 27(消化器外科学)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
6/06	火		循環器 20	循環器 21	循環器 22	免疫 1(植松)	免疫 2(植松)	免疫 3(植松)	
6/07	水		●呼吸器試験	●呼吸器試験	●呼吸器試験	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
6/08	木		脳機能 1 (水開)	脳機能 2 (水開)	脳機能 3 (水開)	University English 3A・3B ⑨			
6/09	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	免疫 4(植松他)	免疫 5(植松他)	免疫 6(植松他)	
6/10	土								
6/11	日								
6/12	月		脳機能 4 (水開)	脳機能 5 (水開)	脳機能 6 (水開)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
6/13	火		脳機能 7 (水開)	脳機能 8 (水開)	脳機能 9 (水開)	免疫 7(植松他)	免疫 8(植松他)	免疫 9(植松他)	
6/14	水		予備日／自己学習日	脳機能 10 (松本)	脳機能 11 (松本)	予備日／自己学習日	呼吸器 25(臨床解剖) (放射線診断学・IVR 学)	呼吸器 26(臨床解剖) (放射線診断学・IVR 学)	
6/15	木		脳機能 12 (水開)	脳機能 13 (水開)	脳機能 14 (水開)	University English 3A・3B ⑩			
6/16	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	免疫 10(植松他)	免疫 11(植松他)	免疫 12(植松他)	
6/17	土								
6/18	日								
6/19	月		脳機能 15 (水開)	脳機能 16 (水開)	脳機能 17 (水開)	免疫 13(植松他)	免疫 14(植松他)	免疫 15(植松他)	
6/20	火		脳機能 18 (水開)	脳機能 19 (水開)	脳機能 20 (水開)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
6/21	水		予備日／自己学習日	脳機能 21 (松本)	脳機能 22 (松本)	免疫 16(宇留島)	免疫 17(宇留島)	免疫 18(宇留島)	
6/22	木		予備日／自己学習日	脳機能 23 (水開)	脳機能 24 (水開)	University English 3A・3B ⑪			
6/23	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	免疫 19(植松他)	免疫 20(植松未帆)	免疫 21(植松他)	
6/24	土								
6/25	日								
6/26	月		●消化器試験	●消化器試験	●消化器試験 (生理学)	免疫 22(藤本)	免疫 23(藤本)	免疫 24(植松他)	
6/27	火		脳機能 25 (水開)	脳機能 26 (水開)	脳機能 27 (水開)	■免疫実習 25 (1 解剖)	■免疫実習 26 (1 解剖)	■免疫実習 27 (1 解剖)	
6/28	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■免疫実習 28 (1 解剖)	■免疫実習 29 (1 解剖)	■免疫実習 30 (1 解剖)	
6/29	木		脳機能 28 (水開)	脳機能 29 (水開)	脳機能 30 (水開)	University English 3A・3B ⑫			
6/30	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	免疫 31(植松他)	免疫 32(植松他)	予備日／自己学習日	
7/01	土								
7/02	日								
7/03	月		脳機能 31 (水開)	脳機能 32 (水開)	脳機能 33 (水開)	免疫 33(植松他)	免疫 34(植松他)	免疫 35(植松他)	
7/04	火		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
7/05	水		予備日／自己学習日	脳機能 34 (水開)	脳機能 35 (水開)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
7/06	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	University English 3A・3B ⑬			
7/07	金		予備日／自己学習日	脳機能 36 (水開)	脳機能 37 (水開)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
7/08	土								
7/09	日								
7/10	月		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/11	火		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/12	水		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/13	木		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	University English 3A・3B ⑭			
7/14	金		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/15	土								
7/16	日								
7/17	月								海の日
7/18	火		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
7/19	水		●循環器試験	●循環器試験	●循環器試験	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/20	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	University English 3A・3B ⑮			
7/21	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/22	土								
7/23	日								
7/24	月		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/25	火		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/26	水		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/27	木		■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	University English 3A・3B ⑯			
7/28	金		■医学研究推進コース	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	■医学研究推進コース 2	
7/29	土								
7/30	日								
7/31	月		●免疫試験	●免疫試験	●免疫試験				

※ 医学英語は別途クラス編成を行う。 ※ ●は試験実施日。 ※ 授業を編成していない時間帯 (予備日／自己学習) 等に補講を行うことがある。

2023 年 2 年生 授業時間割表 (8 月・9 月)

日 付	曜日	祝日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	行 事 等
			9:00-10:00	10:10-11:10	11:20-12:20	13:10-14:10	14:20-15:20	15:30-16:30	
						医学英語 (90 分授業) ④ 13:10-14:40 ⑤ 14:50-16:20 ⑥ 16:30-18:00 UE 3A・3B(90 分授業) UE 3A・13:15-14:45 UE 3B・15:00-16:30			
8/01	火								
8/02	水								
8/03	木								
8/04	金								
8/05	土								
8/06	日								
8/07	月								
8/08	火								
8/09	水								
8/10	木								
8/11	金								山の日
8/12	土								
8/13	日								
8/14	月								
8/15	火								
8/16	水								
8/17	木								
8/18	金								
8/19	土								
8/20	日								
8/21	月								
8/22	火								
8/23	水								
8/24	木								
8/25	金								
8/26	土								
8/27	日								
8/28	月		●脳機能試験	●脳機能試験	●脳機能試験	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
8/29	火		運動器 1	運動器 2	運動器 3	運動器 4	運動器 5	運動器 6	
8/30	水		運動器 7	運動器 8	運動器 9	運動器 10	運動器 11	運動器 12	
8/31	木		運動器 13	運動器 14	運動器 15	運動器 16	運動器 17	運動器 18	
9/01	金		運動器 19	運動器 20	運動器 21	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
9/02	土								
9/03	日								
9/04	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	運動器 22 (基礎臨床)		■マクロ実習 1(2 解剖)		
9/05	火		感覚皮膚 1	感覚皮膚 2	感覚皮膚 3		■マクロ実習 2(2 解剖)		
9/06	水		予備日／自己学習日	感覚皮膚 4	感覚皮膚 5		■マクロ実習予備日		
9/07	木		■感覚皮膚 6	■感覚皮膚 7	■感覚皮膚 8		■マクロ実習 3(2 解剖)		
9/08	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日		■マクロ実習 4(2 解剖)		
9/09	土								
9/10	日								
9/11	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日		■マクロ実習 5(2 解剖)		
9/12	火		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日		■マクロ実習 6(2 解剖)		
9/13	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日		■マクロ実習予備日		
9/14	木		腎泌尿器・生殖器 1 (大谷)	腎泌尿器・生殖器 2 (安井)	予備日／自己学習日		■マクロ実習 7(2 解剖)		
9/15	金		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	運動器 2 3 (基礎臨床)		■マクロ実習 8(2 解剖)		
9/16	土								
9/17	日								
9/18	月								敬老の日
9/19	火		腎泌尿器・生殖器 3 (柳田)	腎泌尿器・生殖器 4 (横井)	予備日／自己学習日		■マクロ実習 9(2 解剖)		
9/20	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	腎泌尿器・生殖器 5 (般若)		■マクロ実習予備日		
9/21	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日		■マクロ実習 10(2 解剖)		
9/22	金		予備日／自己学習日	腎泌尿器・生殖器 6 (宇留島)	腎泌尿器・生殖器 7 (宇留島)		■マクロ実習 11(2 解剖)		
9/23	土								秋分の日
9/24	日								
9/25	月		腎泌尿器・生殖器 8 (木村)	腎泌尿器・生殖器 9 (木村)	予備日／自己学習日		■マクロ実習 12(2 解剖)		
9/26	火		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	運動器 24 (基礎臨床)		■マクロ実習 13(2 解剖)		
9/27	水		■腎泌尿器実習 10	■腎泌尿器実習 11	■腎泌尿器実習 12		■マクロ実習予備日		
9/28	木		腎泌尿器・生殖器 13 (松原雄)	腎泌尿器・生殖器 14 (松原雄)	予備日／自己学習日		■マクロ実習 14(2 解剖)		
9/29	金		予備日／自己学習日	腎泌尿器・生殖器 15(大谷)	予備日／自己学習日		解剖体慰霊祭		
9/30	土								

※ 医学英語は別途クラス編成を行う。 ※ ●は試験実施日。 ※ 授業を編成していない時間帯（予備日／自己学習）等に補講を行うことがある。

2023 年 2 年生 授業時間割表 (10 月・11 月)

日 付	曜日	祝日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	行 事 等
			9:00-10:00	10:10-11:10	11:20-12:20	13:10-14:10	14:20-15:20	15:30-16:30	
						医学英語 (90 分授業) UE 3A・3B(90 分授業)	④ 13:10-14:40 ⑤ 14:50-16:20 ⑥ 16:30-18:00 UE 3A・13:15-14:45 UE 3B・15:00-16:30		
10/01	日								
10/02	月		●運動器試験	●運動器試験	●運動器試験	■マクロ実習：清掃・まとめ			
10/03	火		■生殖実習 16(1 解剖)	■生殖実習 17(1 解剖)	■生殖実習 18(1 解剖)	●マクロ試験 1			
10/04	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習予備日			
10/05	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習予備日			
10/06	金		■生殖実習 19(1 解剖)	■生殖実習 20(1 解剖)	■生殖実習 21(1 解剖)	■マクロ実習予備日			
10/07	土								
10/08	日								
10/09	月								スポーツの日
10/10	火		●感覚器・皮膚試験	●感覚器・皮膚試験	●感覚器・皮膚試験	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
10/11	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 16(1 解剖)			
10/12	木		英語論文の読み方 1	英語論文の読み方 2	英語論文の読み方 3	■マクロ実習 17(1 解剖)			
10/13	金		英語論文の読み方 4	英語論文の読み方 5	予備日／自己学習日	■マクロ実習 18(1 解剖)			
10/14	土								
10/15	日								
10/16	月		予備日／自己学習日	神経解剖 1 (近藤)	神経解剖 2 (近藤)	■マクロ実習 19(1 解剖)			
10/17	火		予備日／自己学習日	神経解剖 3 (近藤)	神経解剖 4 (近藤)	■マクロ実習 20(1 解剖)			
10/18	水		神経解剖 5 (島田)	神経解剖 6 (島田)	神経解剖 7 (島田)	■マクロ実習 21(1 解剖)			
10/19	木		神経解剖 8 (鶴川)	神経解剖 9 (鶴川)	神経解剖 10 (鶴川)	■マクロ実習 22(1 解剖)			
10/20	金		予備日／自己学習日	神経解剖 11(放射線診断学)	神経解剖 12 (脳神経内科)	■マクロ実習 23(1 解剖)			
10/21	土								
10/22	日								
10/23	月		●腎泌尿器／生殖器試験	●腎泌尿器／生殖器試験	●腎泌尿器／生殖器試験(生理学)	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
10/24	火		予備日／自己学習日	神経解剖 13 (近藤)	神経解剖 14 (近藤)	■マクロ実習予備日			
10/25	水		予備日／自己学習日	神経解剖 15 (近藤)	神経解剖 16 (近藤)	■マクロ実習予備日			CBT
10/26	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習予備日			CBT
10/27	金		●マクロ試験 2			予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	
10/28	土								
10/29	日								
10/30	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 24(1 解剖)			
10/31	火		■神経解剖 (脳実習)	■神経解剖 (脳実習)	■神経解剖 (脳実習)	■神経解剖 (脳実習)	■神経解剖 (脳実習)	■神経解剖 (脳実習)	
11/01	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 25(1 解剖)			
11/02	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 26(1 解剖)			
11/03	金								文化の日
11/04	土								
11/05	日								
11/06	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 27(1 解剖)			
11/07	火		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 28(1 解剖)			
11/08	水		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習 29(1 解剖)			
11/09	木		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習：清掃・まとめ (1 解剖)			
11/10	金		●神経解剖	●神経解剖	●神経解剖	■マクロ実習予備日			
11/11	土								
11/12	日								
11/13	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■マクロ実習予備日			
11/14	火		●マクロ試験 3			■マクロ実習・修了式			
11/15	水		■ OSCE (運営補助)						OSCE
11/16	木		医学研究推進コース 2						
11/17	金		医学研究推進コース 2						OSCE
11/18	土								
11/19	日								
11/20	月		予備日／自己学習日	予備日／自己学習日	■機能系実習講義	■機能系実習			
11/21	火		■機能系実習予備日			■機能系実習			
11/22	水		■機能系実習予備日			■機能系実習			
11/23	木								勤労感謝の日
11/24	金		■機能系実習予備日			■機能系実習予備日			
11/25	土								
11/26	日								
11/27	月		■機能系実習予備日			■機能系実習			
11/28	火		■機能系実習予備日			■機能系実習			
11/29	水		■機能系実習予備日			■機能系実習予備日			
11/30	木		■機能系実習予備日			■機能系実習予備日			CBT 再試験

※ 医学英語は別途クラス編成を行う。 ※ ●は試験実施日。 ※ 授業を編成していない時間帯 (予備日／自己学習) 等に補講を行うことがある。

2023 年 2 年生 授業時間割表 (12 月)

日 付	曜日	祝日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	行 事 等
			9:00-10:00	10:10-11:10	11:20-12:20	13:10-14:10 医学英語 (90 分授業) UE 3A・3B(90 分授業)	14:20-15:20 ④ 13:10-14:40 ⑤ 14:50-16:20	15:30-16:30 ⑥ 16:30-18:00 UE 3A・13:15-14:45 UE 3B・15:00-16:30	
12/01	金		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/02	土								
12/03	日								
12/04	月		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/05	火		コミュニケーション (榎野)	コミュニケーション (榎野)	コミュニケーション (榎野)	コミュニケーション (榎野)	コミュニケーション (榎野)	コミュニケーション (榎野)	
12/06	水		コミュニケーション (首藤)	コミュニケーション (首藤)	コミュニケーション (首藤)	コミュニケーション (首藤)	コミュニケーション (首藤)	コミュニケーション (首藤)	
12/07	木		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/08	金		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/09	土								
12/10	日								
12/11	月		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/12	火		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/13	水		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/14	木		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/15	金		追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	追再試期間	
12/16	土								
12/17	日								
12/18	月		■ OSCE (運営補助) 予備日						
12/19	火		予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
12/20	水		■ OSCE (運営補助) 予備日						
12/21	木		予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
12/22	金		予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	予備日 / 自己学習日	
12/23	土								
12/24	日								
12/25	月								
12/26	火								
12/27	水								
12/28	木								
12/29	金								
12/30	土								
12/31	日								

※ 医学英語は別途クラス編成を行う。 ※ ●は試験実施日。 ※ 授業を編成していない時間帯 (予備日 / 自己学習) 等に補講を行うことがある。

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	
授業科目名	医学のための統計学			
担当教員氏名	福井 充			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年		単位数	2.6

【シラバス情報】

授業概要	実験あるいは調査によって得られたデータの統計的考察は、医学を学んでいく上での素養となる。本講義では統計的考察を行なう上で必要な基礎的な概念と、推定・検定の概念を習得するとともに、実際の問題に適応する統計的手法の習得を目標とする
到達目標	次の各項目を身につけることを目標とする 1. 標本調査の概念を理解する 2. 1 変量・2 変量の記述統計を理解し、作表・作図・計算ができる 3. 確率分布の概念を理解し、正規分布・二項分布・ポアソン分布の確率計算ができる 4. 仮説検定、信頼区間の概念を理解する 5. 1 変量および2 変量データについての基本的な検定・推定手法について理解し、データに応じて正しく使用できる

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	4/11・2 限	福井 充	統計学とは。標本調査の考え方	0	各回に紹介する統計量の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 2 回	4/18・2 限	福井 充	記述統計（単変量）：度数分布表・ヒストグラム、平均・分散・標準偏差	1	
第 3 回	4/25・2 限	福井 充	記述統計（単変量）：箱ひげ図、中央値・パーセント点	1	
第 4 回	5/9・2 限	福井 充	記述統計（2 変量）：散布図、相関係数	1	
第 5 回	5/16・2 限	福井 充	記述統計（2 変量）：回帰直線	1	
第 6 回	5/23・2 限	福井 充	確率分布：確率・確率変数・確率分布の概念	1	各回に紹介する確率分布の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 7 回	5/30・2 限	福井 充	確率分布：代表的な確率分布（二項分布・ポアソン分布）	1	
第 8 回	6/6・2 限	福井 充	確率分布：連続分布、確率密度	1	
第 9 回	6/13・2 限	福井 充	確率分布：代表的な確率分布（正規分布）	1	
第 10 回	6/20・1 限	福井 充	検定の考え方：仮説検定、P 値、有意水準	1	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 11 回	6/20・2 限	福井 充			
第 12 回	6/27・1 限	福井 充	検定の考え方：検出力、症例数設計	1	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 13 回	6/27・2 限	福井 充			
第 14 回	7/4・1 限	福井 充	推定の考え方：点推定、区間推定	1	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 15 回	7/4・2 限	福井 充	各種統計的手法の紹介：F 検定、t 検定、カイ 2 乗検定、Wilcoxon 検定などについて	0	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第 16 回	7/11・1 限	福井 充			

第 17 回	7/11・2 限	福井 充	各種統計的手法の演習：F 検定、t 検定、カイ 2 乗検定、Wilcoxon 検定などについて	2	グループごとに事前に指示された演習問題を解答し、発表資料を準備すること 演習後、自グループ発表問題以外について復習すること
第 18 回	7/18・1 限	福井 充			
第 19 回	7/18・2 限	福井 充	シミュレーションによる実験 / 解析実習	3	事前配布資料により実験内容について確認しておくこと
第 20 回	7/25・2 限	福井 充			

成績評価方法	(1) 試験・レポート・演習により到達目標の達成度について評価を行う (2) 試験 (70%程度)・レポート (20%程度)・演習 (10%程度) で評価する。演習・実習への参加度合いも加味する (3) 合格には最低限の理解と、総合で 60% 以上の得点を必要とする
履修上の注意	・講義資料、演習問題等の配付や課題等の提出などに Web システムを使用する ・解析学 (微積分)・線形代数学および集合論の概念・記号等に関する知識は既知のものとするので、必要に応じて各自で補うこと ・関数電卓を用意すること。試験は関数電卓の使用を前提とする ・講義中に Web を通じての提出等を求めることがあるので、学内 LAN に接続可能なスマートフォン・タブレット・PC 等を用意すること (用意できない者には別途対応する) ※いずれも詳細は授業時に指示する
教科書	必携：丹後俊郎著「医学への統計学 第 3 版」(朝倉書店) 補足資料、演習問題を事前もしくは講義中に配布する
参考文献	特になし
オフィスアワー	原則として平日の 10:00 ～ 17:00
教員への連絡方法	E-mail : fukui@omu.ac.jp
その他	● コアカリキュラムへの対応 - B 社会と医学・医療 - B-1 集団に対する医療 - B-1-1) 統計の基礎 - B-1-2) 統計手法の適用 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11001-J1
授業科目名	医療倫理学			
担当教員氏名	服部 俊子（都市営経営研究科）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年		単位数	0.9

【シラバス情報】

授業概要	近代医学・技術の進歩は人々の幸福に寄与しているのか。バイオメディシンの発展に伴いあらためて医療のあり方を問わなければならない時代で、医師はどうあるべきか／どうすべきかが問われている。医療倫理学は医師の社会的役割および職業上の倫理を検討する学問である。本科目は、認知・行動科学の研究成果とともに医療倫理学の基礎知識を学び、具体例を通して、医師の倫理を考える。
到達目標	具定例に登場する「医師はどうすればよいか」。その倫理的判断を他者との対話を通して明晰に説明することができる。

授業回		各回の授業内容		アクティビティ・ラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	4/25・4 限	服部 俊子	現代の倫理とは 医療倫理学の基礎概念① 近代医学の特徴（医学史から） 医師－患者関係	1	事後学習 ・第 1～3 章を復習として読む。 ・授業中に示されたレポート課題に取り組む。なお、これはすべての授業回に該当する。
第 2 回	4/25・5 限	服部 俊子	インフォームド・コンセント ナラティブ、対話、臨床倫理		
第 3 回	5/23・4 限	服部 俊子	安楽死・尊厳死	2	事前：テキスト第 8 章・第 9 章を読み、現状と倫理的問題を確認する。
第 4 回	5/30・4 限	服部 俊子	脳死・臓器移植	2	事前：テキスト第 10 章から、脳死・臓器移植現状と倫理的問題を確認する。
第 5 回	6/6・4 限	服部 俊子	生殖補助医療（出生前診断・人工妊娠中絶）	2	事前：テキスト第 4 章・第 5 章から生殖補助医療の現状と倫理的問題を確認する。
第 6 回	6/27・4 限	服部 俊子	科学技術と生命操作（デザイナーベビー、エンハンスメント）	2	事前：テキスト第 8 章・第 9 章から生命操作の現状と倫理的問題を確認する。
第 7 回	7/4・4 限	服部 俊子	遺伝子医療	2	事前：テキスト第 11 章から遺伝医療の現状と倫理的問題を確認する。

成績評価方法	(1) 到達目標の達成度は、評価基準（レポート課題提示の際に示す）に応じて判定する。 (2) 評価方法は、授業で指示された課題のレポート評価 100% とする。 (3) 具体例に即した倫理的判断が明晰に説明できる。
履修上の注意	授業では映像や実際の事例を用いて倫理的に考えるワークをしますので、事前課題に取り組んでください。課題のための資料やシートは Moodle に掲載しますので、適宜確認し、ダウンロードしてください。
教科書	特になし
参考文献	アンソニー・ウェストン『ここからはじまる倫理』野矢茂樹ほか訳、春秋社、2004 年 香川知晶『命は誰のものか 増補改訂版』ディスカヴァー・トゥエンティワン、2021 年 梶田昭『医学の歴史』講談社、2015 年 リュック・ペリノ『0 番目の患者 逆説の医学史』広野和美・金丸啓子訳、柏書房、2020 年 World Medical Association Ethics Manual, WMA, 2007（日本医師会訳）
オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること

その他	● コアカリキュラムへの対応 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 医師としての責務と裁量権 B-3 医学研究と倫理 B-3-1) 倫理規範と実践倫理 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level1 5. チーム医療の実践 (仁) level1 6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1
------------	--

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMXCLM11001-J1
授業科目名	医学序論			
担当教員氏名	◎首藤 太一（教務委員長）、濱崎 孝史（発達小児医学）、掛屋 弘（感染制御学）、柴田 利彦（心臓血管外科学）、橘 大介（女性生涯医学）、角南 貴司子（耳鼻咽喉病態学）、日野 雅之（血液腫瘍内科学）、樋口 由美（総合リハビリテーション学科）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	木曜 4 限
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年	単位数	1	

【シラバス情報】

授業概要	1 年生が受講する科目の大部分は総合教育科目（一般教養）、基礎教育科目（物理、化学、推計学等）と外国語科目からなる全学共通教育である。これらは良き医療人となるための基盤形成に重要なものであるが、受動的な学習に慣れた学生にとって、その意義を見失いがちである。将来、「智・仁・勇」を兼ね備えた医師となるために必要な点について、医学部臨床系教授陣を中心にオムニバスで医学・医療に関連するさまざまな話題を提供する。
到達目標	医学・医療を学ぶ上で、ともすれば無意味に感じられることの中に、如何に重要な考え方が含まれているかに気づかせ、能動的な姿勢を萌芽させたい。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	4/20・4 限	首藤太一	自分が診てもらいたい医師を目指せ！	0	全講義を聴講後に、「自身の目指す医師像、理学療法士像、作業療法士像」に関するレポートを Moodle 上で提出する
第 2 回	4/27・4 限	角南貴司子	医工で障がいを乗り越える！＋これからの医療者の働き方について	0	
第 3 回	5/11・4 限	掛屋弘	医師になるために知っておきたい感染症の基礎知識	0	
第 4 回	5/18・4 限	柴田利彦	外科って？ 外科医って？	0	
第 5 回	5/25・4 限	樋口由美	リハビリテーションの可能性	0	
第 6 回	6/1・4 限	橘大介	生命の誕生：受精から出産までの物語	0	
第 7 回	6/8・4 限	濱崎孝史	こどもを診るということ	0	
第 8 回	6/15・4 限	日野雅之	医者への第一歩 ～患者さんと話してみよう～	0	

成績評価方法	各講義はオムニバス形式であるので、成績評価は講義の出席とレポートにより行われる。
履修上の注意	第 8 回は患者さんに来ていただいて、講義を進める。身だしなみには十分留意すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課 (gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp)

その他	● コアカリキュラムへの対応 A 医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション A-4-2) 患者と医師の関係 B 社会と医学・医療 B-2 法医学と関連法規 B-2-1) 死と法 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 5. チーム医療の実践（仁） level1 6. 医療の質と安全の管理（仁） level1 8. 科学的探究（智） level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level1
------------	---

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AAMABAM11003-J1
授業科目名	遺伝と遺伝子			
担当教員氏名	◎徳永 文稔、及川 大輔、清水 康平、翁 良徳（医化学）、塩田 正之（分子制御生物学）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年		単位数	2

【シラバス情報】

授業概要	1953 年にワトソンとクリックによって DNA の二重らせん構造が解明され、遺伝情報の仕組みが解明された以降、「遺伝と遺伝子」に関する分子レベルの研究は最も目覚ましく進展を遂げている学術領域である。近年、多くの疾患に遺伝子レベルの異常が明らかにされ、臨床医学においても重要性は増している。本コースでは、生命の設計図である遺伝子の構造を理解し、生体におけるその役割を分子レベルから、細胞、個体、さらに、進化のレベルまで理解できるよう指導する。講義では、テキストとして「Essential 細胞生物学（原書第 5 版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、遺伝子に関する基本的な概念を正しく十分理解させ、医学・生物学の分野における理解を深めることにも貢献できるように行う。
到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。 ・ 核酸の構造と機能について説明できる ・ 遺伝子と染色体の構造について説明できる ・ 遺伝子の複製、修復について説明できる ・ プロモーター、転写因子等による遺伝子発現調節について説明できる ・ DNA から RNA を経てタンパク質合成に至る遺伝情報の変換過程について説明できる ・ 遺伝子の解析技法について説明できる

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	4/11・3 限	徳永 文稔	タンパク質	1	Essential 細胞生物学 4 章の学習内容の定着
第 2 回	4/18・3 限	徳永 文稔	メンデルの法則	1	Essential 細胞生物学 19 章の学習内容の定着
第 3 回	4/25・3 限	徳永 文稔	核酸の化学	1	Essential 細胞生物学 5 章の学習内容の定着
第 4 回	5/9・3 限	徳永 文稔	染色体の構造と機能	1	Essential 細胞生物学 5 章の学習内容の定着
第 5 回	5/16・3 限	徳永 文稔	DNA 複製	1	Essential 細胞生物学 6 章の学習内容の定着
第 6 回	5/23・3 限	徳永 文稔	DNA 修復	1	Essential 細胞生物学 6 章の学習内容の定着
第 7 回	5/30・3 限	及川 大輔	DNA から RNA へ	1	Essential 細胞生物学 7 章の学習内容の定着
第 8 回	6/6・3 限	及川 大輔	RNA からタンパク質へ	1	Essential 細胞生物学 7 章の学習内容の定着
第 9 回	6/13・3 限	及川 大輔	原核細胞の遺伝子転写	1	Essential 細胞生物学 8 章の学習内容の定着
第 10 回	6/20・3 限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 1	1	Essential 細胞生物学 8 章の学習内容の定着
第 11 回	6/27・3 限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 2	1	Essential 細胞生物学 8 章の学習内容の定着

第 12 回	7/4・3 限	及川 大輔	遺伝子とゲノム進化	1	Essential 細胞生物学 9 章の学習内容の 定着
第 13 回	7/11・3 限	塩田 正之	遺伝子クローニング技術	1	Essential 細胞生物学 10 章の学習内容の 定着
第 14 回	7/18・3 限	塩田 正之	DNA・RNA の解析	1	Essential 細胞生物学 10 章の学習内容の 定着
第 15 回	7/25・3 限	翁 良徳	モデル生物	1	Essential 細胞生物学 1 章の学習内容の 定着
第 16 回	8/1・3 限		遺伝と遺伝子コース試験		

成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験（90%）と講義時の態度・小テスト（10%）を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
教科書	必携：Essential 細胞生物学 原書第 5 版（南江堂）
参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第 6 版（ニュートンプレス） ワトソン 遺伝子の分子生物学 第 7 版（東京電機大学出版局）
オフィスアワー	10:00-16:00 （会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）。
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-1-1)-(2), C-2-5), C-4-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11004-J1
授業科目名	細胞生物学			
担当教員氏名	◎徳永 文稔、及川 大輔、清水 康平、翁 良徳（医化学）、水関 健司（神経生理学）、塩田 正之（分子制御生物学）、高杉 征樹（病態生理学）			
開講年度・学期	2023	後期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年		単位数	2

【シラバス情報】

授業概要	ヒトの体は約 60 兆個の細胞から構成され、これらが集積することで組織・器官を形成する。一つの細胞には多様な細胞小器官が存在し、それぞれ重要な役割を果たす。細胞は外界からの刺激に応答して遺伝子発現を変化させ、形態や運動性を変化させる。また、細胞分裂によって増殖するが、最終的に細胞死に至る経路も明らかになってきた。本講義では、細胞を動的な生体単位として捉え、基礎から疾患との関連性を理解できるように指導する。講義では、テキストとして「Essential 細胞生物学（原書第 5 版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、細胞生物学に関する基本的な概念を正しく十分理解させる。
到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。 - 細胞の構造と細胞小器官の機能を説明できる - 細胞外からの情報伝達機構を説明できる - 細胞膜の機能分子の多様性とその機能を説明できる - イオンチャネル、神経・筋で発生する活動電位の発生・伝播機序について説明できる - 細胞内タンパク質分解とその制御について説明できる - 細胞骨格、モータータンパク質、細胞内物質輸送について説明できる - 細胞周期の制御機構と有性生殖、細胞死経路について説明できる - 細胞接着因子、細胞外マトリックスの構造と機能を説明できる - 成体組織の恒常性維持における幹細胞の役割を説明できる

授業回		各回の授業内容		アクティビティ・ナンバリング	事前・事後学習の内容
第 1 回	9/28・3 限	徳永 文稔	細胞構造	1	Essential 細胞生物学 1 章の学習内容の定着
第 2 回	10/5・3 限	水関 健司	細胞膜、輸送体、膜電位	0	Essential 細胞生物学 11 章の学習内容の定着
第 3 回	10/12・3 限	水関 健司	イオンチャネルシグナル	0	Essential 細胞生物学 12 章の学習内容の定着
第 4 回	10/19・3 限	水関 健司	神経系の情報伝達	0	Essential 細胞生物学 12 章の学習内容の定着
第 5 回	10/26・3 限	及川 大輔	細胞内区画と選別輸送、分解	1	Essential 細胞生物学 15 章の学習内容の定着
第 6 回	11/2・3 限	及川 大輔	小胞輸送	1	Essential 細胞生物学 15 章の学習内容の定着
第 7 回	11/9・3 限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 1	1	Essential 細胞生物学 16 章の学習内容の定着
第 8 回	11/16・3 限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 2	1	Essential 細胞生物学 16 章の学習内容の定着
第 9 回	11/30・3 限	塩田 正之	細胞骨格と運動	1	Essential 細胞生物学 17 章の学習内容の定着
第 10 回	12/14・3 限	清水 康平	細胞周期	1	Essential 細胞生物学 18 章の学習内容の定着

第 11 回	12/14・4 限	徳永 文稔	減数分裂・有性生殖	1	Essential 細胞生物学 19 章の学習内容の 定着
第 12 回	12/21・3 限	高杉 征樹	細胞死	1	Essential 細胞生物学 18 章の学習内容の 定着
第 13 回	12/21・4 限	塩田 正之	細胞外マトリックス	1	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の 定着
第 14 回	1/11・3 限	翁 良徳	細胞接着と情報伝達	1	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の 定着
第 15 回	1/11・4 限	清水 康平	幹細胞、がん	1	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の 定着
第 16 回	2/1・3 限		細胞生物学コース試験		

成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験 (90%) と講義時の態度・小テスト (10%) を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
教科書	必携：Essential 細胞生物学 原書第 5 版（南江堂）
参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第 6 版（ニュートンプレス） シグナル伝達 第 2 版（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
オフィスアワー	10:00-16:00 （会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）。
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1)-(1), C-2-1)-(2), C-2-3)-(1), C-2-3)-(2), C-4-2) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11005-J4
授業科目名	細胞と組織の基本構造と機能			
担当教員氏名	◎池田 一雄、松原 勤、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学）			
開講年度・学期	2023	後期	曜日・時限	その他
授業形態	混合			
科目分類				
配当年次	1 年	単位数	1.6	

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、正常な細胞についての形態・微細形態・基本的な機能について学び、また、その多様性を理解する。さらに細胞の集団である組織についての総論を学ぶ（組織学総論）。光学顕微鏡を用いた正常組織総論の実習を同時に行う。本コースは系統別（臓器別）に展開される各論コースの基盤として位置づけられる。
到達目標	生物学、生命科学を理解するための基礎である組織学総論を学び、上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の機能と構造が説明できるようになる。

授業回		各回の授業内容		アクティビティ・ラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	11/28・4限	池田 一雄	上皮組織	0	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「5 上皮組織」で、学習内容の知識を定着させる
第2回	12/1・3限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（上皮組織）	1	
第3回	12/1・4限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			
第4回	12/8・3限	松原 勤	結合組織	1	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「4 支持（結合）組織」で、学習内容の知識を定着させる
第5回	12/8・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（結合組織）	1	
第6回	12/8・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			
第7回	12/15・3限	湯浅 秀人	骨格系組織	1	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「10 骨格系組織」で、学習内容の知識を定着させる
第8回	12/15・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（骨格系組織）	1	
第9回	12/15・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			
第10回	12/22・3限	松原 勤	血液	1	人体の正常構造と機能 第4版「7 血液、免疫 p.480-523」ならびにエルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「3 血液、造血、骨髄」で、学習内容の知識を定着させる
第11回	12/22・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（血液）	1	
第12回	12/22・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			
第13回	1/18・3限	宇留島 隼人	筋組織	0	人体の正常構造と機能 第4版「11 運動器 筋系 p.758-770」ならびにエルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「6. 筋組織」で、学習内容の知識を定着させる
第14回	1/18・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（筋組織）	1	
第15回	1/18・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			
第16回	1/25・3限	池田 一雄	神経組織	0	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「7 神経組織」で、学習内容の知識を定着させる
第17回	1/25・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（神経組織）	1	
第18回	1/25・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人			

	1/26・3限	池田 一雄	組織学実習予備日		
	1/26・4限	松原 勤 宇留島 隼人			
	1/26・5限	湯浅 秀人			

成績評価方法	(1) 小テストを含む試験ならびにレポート等によって各単元の学修達成度を測る。 (2) 原則、試験 70%、学習態度やレポート等 30%で評価する。 (3) 合格には、総合して 60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部規則により、原則すべての実習に参加しない限り、単位認定されない。 学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必携：Ross 組織学（南江堂）、人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、組織学カラーアトラス ガートナー / ハイアット（メディカルインターナショナル）、エルゼビア Foundation : ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学
参考文献	参考：ジュンケイラ組織学、標準組織学、入門組織学
オフィスアワー	10:00-16:00 （対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1), C-2-2) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11006-J1
授業科目名	発生学			
担当教員氏名	◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学）			
開講年度・学期	2023	後期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年	単位数	1.3	

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、受精卵からヒトになるまでの発生過程を概観し、器官形成のメカニズムを学習する。
到達目標	受精卵からヒトになる過程を概説し、器官形成過程を説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	10/6・1 限	甲斐 理武	脊椎動物の基本パターンと胚発生	1	教科書などで予習・復習を行う。
第 2 回	10/6・2 限		受精・着床・胚盤胞・胚葉の分化と胚発生	1	
第 3 回	10/13・1 限	甲斐 理武	胚膜	1	
第 4 回	10/13・2 限		咽頭弓・頭頸部の発生	1	
第 5 回	10/20・1 限	河合 洋幸 近藤 誠	神経系の発生・問題演習	1	
第 6 回	10/20・2 限				
第 7 回	10/27・1 限	甲斐 理武	循環器系の発生	1	
第 8 回	10/27・2 限		消化器・呼吸器系の発生	1	
第 9 回	11/10・3 限	甲斐 理武	泌尿器系の発生	1	
第 10 回	11/10・4 限		骨格・筋・四肢の発生	1	
第 11 回	11/24・1 限	脳神経機能形態学	試験		

成績評価方法	(1) 試験ならびに小テストによって達成度を評価する。 (2) 合格には総合 60% 以上の成績が必要である。
履修上の注意	教科書、講義資料で予習・復習を行うこと。
教科書	人体発生学（メディカルサイエンスインターナショナル）、人体発生学（医歯薬出版）
参考文献	Developmental Biology (Sinauer)
オフィスアワー	10:00-16:00（必ず事前にアポイントメントを取る）
教員への連絡方法	学舎 12 階研究室、電話：06-6645-3706
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-2-4) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMASOM1133-J4
授業科目名	メディカル・データ・サイエンス 1			
担当教員氏名	◎新谷歩，加葉田大志朗（医療統計学教室）			
開講年度・学期	2023	後期	曜日・時限	その他
授業形態	混合			
科目分類				
配当年次	1 年	単位数	0.7	

【シラバス情報】

授業概要	医師は臨床での診察のみならず、日常臨床の疑問に応えるための研究能力を身に着けることが求められている。臨床研究を行う際に、多くの医師の壁となっているのが医療統計学である。この授業ではコンピュータの操作から、データ解析の基礎を学ぶ。
到達目標	コンピュータ操作の基礎力を付けると同時にデータ解析の楽しさや意義を実感すること。また2年次より開講される「メディカル・データ・サイエンス」講義へのスムーズな導入が可能となる素地を身に着ける。例）表計算ソフト（Excel）の簡単な使い方・データセットを用いた解析方法など

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1-2回	12/8・1-2限	加葉田	(座学) 講義概要 (座学) データ解析の基本	1	課題提出
第3-4回	12/15・1-2限	加葉田	(座学・実習) 計算ソフトの使い方	1	課題提出
第5-6回	12/22・1-2限	加葉田	(座学) 研究デザインと計画の立案	1	課題提出
第7-8回	1/19・1-2限	加葉田	(実習) 研究データの解析	1	課題提出

成績評価方法	(1) 課題によって各単元の学修達成度を測る。 (2) 課題 100% ※全ての課題を提出を期限内に行った場合のみ成績を評価する。 (3) 原則、合格には、総合して 60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	(1) 課題によって各単元の学修達成度を測る。 (2) 課題 100% ※全ての課題を提出を期限内に行った場合のみ成績を評価する。 (3) 原則、合格には、総合して 60%以上の成績が必要である。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
教員への連絡方法	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
その他	●コアカリキュラムへの対応 B 社会と医学・医療 B-1 集団に対する医療 B-1-1) 統計の基礎 B-1-2) 統計手法の適用 B-1-3) 根拠に基づいた医療＜EBM＞ ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11007-J1
授業科目名	医学研究推進コース 1			
担当教員氏名	金子 幸弘（教務委員会 副委員長）他			
開講年度・学期	2023	通年	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年		単位数	1.4

【シラバス情報】

授業概要	特に昨今は根拠に基づいた医療（evidence based medicine, EBM）が求められており、科学的視点は基礎研究者だけでなく日常診療に当たる医師にも期待されている能力である。課題を発見し、批判的に吟味し、正しい方法で解決するといった科学的視点を養成するための医学プログラムは発展途上にあり、探究心を持つことの重要性も、コアカリキュラムで述べられているものの、研究を促進するための方策面の課題は取り残された状態にある。 本コースは各教室で行っている研究を分かりやすく説明し、その魅力を伝えるべく 2016 年度より設けられたものであり、医学研究の第一線の研究者による最先端の内容を講義するものである。また、研究室探訪により、研究の場を直接体験する。
到達目標	修得してほしい能力は以下の通りである。 ☐ 原著論文、総説、図書などの相違を説明できる。 ☐ CiNii、PubMed、UpToDate などを用いて、医学文献を検索し、収集することができる。 ☐ 医学文献を批判的に吟味し、課題を発見・設定することができる。 ☐ 論文審査の流れを経験し、適切に審査に対応することができる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	4/11・4 限	金子 幸弘 仁木 満美子	オリエンテーション	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 2 回	4/18・4-5 限	図書館	文献検索の方法 1・2/ 文献検索実習 1	1	指定日までに小テストを受験すること
第 3 回	5/9・4 限	水関 健司 金子 幸弘	海馬の空間表象 / 文献検索実習 2	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 4 回	5/16・4 限	福島 若葉	ワクチンの疫学研究 / 研究室探訪	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 5 回	5/23・5 限	鰐渕 英機 大谷 直子	環境病理学の醍醐味 / 生体の恒常性維持機構とその破綻	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 6 回	5/30・5 限	城戸 康年	Beyond Tropical Medicine/ 研究室探訪	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 7 回	6/6・5 限	吉川 貴仁	健康科学領域のヒト脳機能イメージング研究（食欲や疲労、運動） / 研究室探訪	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 8 回	6/13・4 限	林 朝茂	生活習慣病発症の危険因子の探究 / 医学英語論文の必要性	1	指定日までにアンケートに回答すること
第 9 回	7/4・5 限	金子 幸弘	レポート作成実習 1・2	2	指定日までにアンケートに回答すること
第 10 回	7/11・4 限	金子 幸弘	レポート作成実習 3・4	2	指定日までにレポートを提出すること
第 11 回	7/18・4 限	金子 幸弘	レポート作成実習 5・6	2	指定日までにレポートを提出すること
第 12 回	9/26・4 限	金子 幸弘	レポートの発表・総評・解説	3	指定日までにレポートを提出すること

成績評価方法	授業参加度（発表など）、コース内で実施するアンケートへの回答、課題の提出、レポートの提出を評価する。 レポートは基礎点 55 点、ループリックによる加点によって 100 点満点で評価する。 基礎点は、提出の遅れや参加時の態度などによって減点することがある。 詳細は初回オリエンテーション時に周知する。
履修上の注意	週によって開催次限が異なるので注意すること。 持参可能なパソコンが必要となるので、各自準備すること。スペックは大学での推奨と同一。 パソコンが苦手、もしくは初めて使用する学生は別途指導するので申し出ること。
教科書	文献検索に関する推奨テキスト □ PICO から始める医学文献検索のすすめ：書籍／南江堂
参考文献	レポート作成に関する参考図書 □ 黒木 登志夫．知的文章術入門 □ 都筑 学．大学 1 年生のための 伝わるレポートの書き方 □ 河本 健，石井 達也．トップジャーナル 395 編の「型」で書く医学英語論文～言語学的 Move 分析が明かした執筆の武器になるパターンと頻出表現 □ 田村房子．アクセプトされる英語医学論文作成術―最新の臨床研究から学ぼう！ □ 酒井 聡樹．これからレポート・卒論を書く若者のために 第 2 版 □ 木下 是雄．理科系の作文技術 □ 井下 千以子．思考を鍛えるレポート・論文作成法（第 2 版） 以上のいずれかは必ず読んでおくこと。 参考になる URL □ ICMJE 統一投稿規定 http://www.icmje.org/ その他、教員の指示がある場合には従うこと。
オフィスアワー	10:00-16:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 A-2 医学知識と問題対応能力 level 1 A-2-1) 課題探求・解決能力 level 1 学修目標：①必要な課題を自ら発見できる。②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的な方策を立てることができる。 A-8 科学的探究 level 1 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 level 1 学修目標：①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。③患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。④抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 level 1 A-9-1) 生涯学習への準備 level 1 学修目標：①生涯学習の重要性を説明できる。②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1 8. 科学的探究（智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1 ● レポート評価者 多くの教員の陰のご尽力により成り立っている。 甲斐 理武、河合 洋幸、松原 勤、湯浅 秀人、宇留島 隼人、松本 早紀子、及川 大輔、清水 康平、翁 良徳、瀬戸川 将、松本 英之、宮脇 寛行、黒木 暁、高杉 征樹、山岸 良多、神谷 知憲、國本 浩之、小島 裕正、植松 未帆、藤本 康介、林 哲哉、魏 民、石井 聡、鈴木 周五、藤岡 正喜、梯 アンナ、松永 慎司、徳留 健太郎、本間 拓二郎、中釜 悠、加賀谷 渉、加来 奈津子、仁木 満美子、坪内 泰志、老沼 研一、大藤 さとこ、加瀬 哲男、松浦 知香、佐藤 恭子、康 秀男、柴田 幹子、吉田 寿子、今井 匠 ● その他

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMACLM1140-J1
授業科目名	物理学の臨床医学への応用			
担当教員氏名	◎三木幸雄 放射線画像診断：大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 米田哲也 医学科生のための MRI の原理：熊本大学生命科学研究部・医療技術科学分野 吉田敦史 核医学：大阪公立大学大学院医学研究科 核医学 澁谷景子 放射線治療：大阪公立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	1 年	単位数	0.4	

【シラバス情報】

授業概要	様々な病状診断や、がん治療において重要な役割を果たしている最先端の放射線医学を紹介しつつ、放射線医学の基礎となる物理学を学び、現在履修している物理学の延長線上に放射線医学があることを知る。
到達目標	臨床画像診断に重要な役割を担う CT・MRI などの画像診断や、様々な放射線治療、核医学画像診断や放射線内用療法を知り、MRI の原理などを含め医学物理学を学ぶことで、放射線医学に興味を持つ。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	6/20・4 限	米田哲也	放射線画像診断、放射線治療、核医学を紹介し、MRI の原理も含めながら放射線医学の基礎となる物理学を学ぶ。	1	事前に大阪公立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR 学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事。
第 2 回	6/20・5 限	三木幸雄		1	
第 3 回	7/6・4 限	澁谷景子		1	
第 4 回	7/6・5 限	吉田敦史		1	

成績評価方法	1) 現在履修中の物理学の延長上に放射線医学があることを知り、放射線医学に興味を持つことが本講義の目的である。 2) 全 4 回の授業に対するアンケートの提出を成績評価方法とする。 3) アンケートの提出が著しく悪い場合は、不合格となる場合がある。
履修上の注意	医学部規則により、学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必須の教科書はないが、事前に大阪公立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR 学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事が望ましい。
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 ・E-6) 放射線の生体影響と放射線障害 - E-6-1) 生体と放射線 ①、④、⑤ - E-6-2) 医療放射線と生体影響 ②、③ ・F-2) 基本的診療知識 - F-2-5) 基本的診療知識 ①、③ ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 6. 医療の質と安全の管理（仁）level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1 8. 科学的探究（智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1142-J4
授業科目名	早期臨床実習 1		
担当教員氏名	教務委員会		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1 年	単位数	0.4

【シラバス情報】

授業概要	医療チームの一員として、将来共に働いていく看護職の役割と患者の入院環境を知る。
到達目標	専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、患者に対する看護、介護を通してひとりの人間として患者の環境・立場を理解し、その中から、将来医師となるべき自分が今後何をなすべきかを自覚すること。働くうえで、患者－医療職間のコミュニケーションの重要性を理解する。

授業内容	8 月 2 日間（オリエンテーション含め 3 日間になる病院もあり）。 協力病院：本学医学部附属病院・大阪市立総合医療センター・弘済院附属病院・東住吉森本病院、ほか
事前・事後学習の内容	事前ガイダンスにて指示する。

成績評価方法	実習終了後レポートの提出（レポートの提出がない場合は、実習出席と認めない）。 (1) テーマ 「早期臨床実習Ⅰに参加して」（次の事柄を含めて書くこと）。 ① 感想 ② 特に勉強になった点 ③ 今回の経験をふまえた今後の指針 (2) 提出様式 用紙サイズ・・・A4（縦長で使用し横書きすること） そ の 他・・・テーマ・学籍番号・氏名は最初の 2～3 行で記入 表紙は付けないこと ※レポートは各実習先に送付する為、PC で作成すること。 (3) 提出方法 ウェブサイトを使用して提出。方法は、別途指示をする。
履修上の注意	注意事項 1. 白衣・名札を持参し、着用すること。 2. 病院の担当者・引率の教員の指示に従うこと。 3. 病院の規律と秩序を乱さないこと。 4. 私語を慎むこと。 5. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。 6. 手荷物は最小限にすること。 7. 実習中、携帯電話は持ち歩かないこと。 8. 欠席・遅刻・早退は原則として修了と認めない。 9. 実習に行く際の交通費は自己負担となる。 10. 抗体検査で陰性だった学生は、実習までに小児感染症ワクチンの接種を完了しておくこと。未接種の場合実習に参加することができない。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課（gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp）

その他	各病院業務多忙のなか実習協力が得られたものであるため、本学医学部生として節度を保ち、真摯な態度で実習に臨むこと。 ● コアカリキュラムへの対応 A 医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-5 チーム医療の実践 A-6 医療の質と安全の管理 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1 3. 診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level1 4. コミュニケーション能力 (智・仁・勇) level1 5. チーム医療の実践 (仁) level1 6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 (智・仁・勇) level1 8. 科学的探究 (智) level1
------------	--

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1141-J1
授業科目名	早期臨床医学入門（1 回生から始めるプライマリケア外来診断学）・早期診療所実習		
担当教員氏名	早期臨床医学入門： 教務委員会 担当教員：板金広（いたがねファミリークリニック） 板金広（いたがねファミリークリニック） 松村榮久（松村医院） 嶋田一郎（嶋田クリニック） 藤岡雅司（ふじおか小児科） 桜井隆（さくらいクリニック） 佐田竜一（亀田総合病院総合内科） 谷知子（神戸市看護大学 専門基礎科学領域 医科学分野） 香月憲一（学園南クリニック） 小林正宜（葛西医院） 早期診療所実習： 教務委員会、医学部同窓会指導医		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1 年	単位数	1.9

【シラバス情報】

授業概要	早期臨床医学入門：症候診断学だけでなく、予防接種や認知症や終末期診療などを通してチーム医療や医療連携、あるいは患者中心の医療に必要な医師の素養（リーダーシップ、人間力、プロフェッショナリズムなど）についても触れる。また実際の臨床場面において必要な基礎医学（解剖学、生理学、病理学など）との関連を示し、今後学ぶ基礎医学の重要性を理解する。 早期診療所実習：地域医療の特性ならびに予防医療、福祉連携等を体験するために、医学部同窓会協力のもと、地域の診療所における実習を行う。
到達目標	早期臨床医学入門：前半の授業では、夏期に行われる早期診療所実習のオリエンテーションを行う。プライマリケアの最前線ともいえる診療所での見学実習・研修を通して、診療所医療の独自性・重要性、医師のやりがいや醍醐味が体験できるように必要な準備知識を培う。 秋季の授業では、地域医療で必ず出会う頭痛や風邪などの普遍的症候から診断を行う過程を疑似経験し、医師として基本的に必要な技能である①患者の観察能力、②医療面接の基本、③臨床推論、④患者とのコミュニケーション、⑤身体診察法、⑥鑑別診断の考え方を学ぶ。 早期診療所実習：医師として備えるべき基本姿勢を身につけるとともに、医師・患者関係を理解することを目標とする。

授業内容	早期臨床医学入門：6 月～1 月の木曜午後（日程詳細は掲示板にて通知する） 早期診療所実習：各診療所の指導医に委ねる。 8 月～9 月の夏期休業中 1 日。空きがあれば複数の診療所に行っても構わない。
事前・事後学習の内容	早期臨床医学入門：（1 回生から始めるプライマリケア外来診断学）の授業内で診療所実習の心構え・患者とのコミュニケーション等のオリエンテーションを行う。

成績評価方法	早期臨床医学入門：各講義の出席点と学期末試験の合計点で評価する。 再履修生の評価方法は、本科目を再履修となった学生は、平常の授業に加え、特別な実習プログラムを受講し、それも含めて最終評価を行う。 早期診療所実習： ①時間厳守 ②身だしなみ ③あいさつ を評価表にて指導医に評価いただく。 学生は実習前にプレアンケート、実習終了後にポストアンケートを学務課宛提出する。
--------	--

履修上の注意	早期臨床医学入門:ここの講義では学生諸君を社会人として扱うので、授業への遅刻、途中退室、授業中の携帯操作、飲食、私語などを認めない。 早期診療所実習: 業務多忙の中、実習協力が得られたものであるため、御厚意に感謝することを忘れず、真摯な態度で実習に臨むこと。 実習先の医師（指導医）は、君たち学生に有意義な体験をしてもらいたいと思っています。実習先のスタッフや、患者さんも協力的に接してくれるでしょう。 もちろん君たちの熱意があつてのことです。君たちはそのような期待を裏切らないような言葉、行動につとめてください。 注意事項 1. 実習の数日前（少なくとも5日前まで）に、診療所に電話連絡し、自己紹介した上で、実習をしていただけることに対してお礼を述べる。当日の来院時刻と場所を再確認する。 2. 実習当日は来院時刻を厳守すること（基本は10分前到着）。 3. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。 4. 名札・白衣を持参し着用すること。 5. 指導医の指示に従うこと。 6. 診療所の規律と秩序を乱さないこと。 7. 患者様の前では私語を慎むこと。 8. 実習中携帯電話は持ち歩かないこと。 9. 欠席、遅刻、早退は原則として修了と認めない。 10. 各診療所への交通費は自己負担となる。 11. 抗体検査で陰性だった学生は、実習前に小児感染症ワクチン接種を完了しておくこと。ワクチン未接種の場合実習には行くことができない。
教科書	早期臨床医学入門：講義開始30日前までに学務課を通じて提示する。
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課（gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp）
その他	早期臨床医学入門： ● コアカリキュラムへの対応 A 基本事項 A-4 コミュニケーション能力 A-5 チーム医療 B 社会と医学・医療 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁）level1 早期診療所実習： ● コアカリキュラムへの対応 G 臨床実習 G-4 診療科臨床実習 G-4-3) 地域医療実習 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1 5. チーム医療の実践（仁）level1 6. 医療の質と安全の管理（仁）level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMXCLM11002-J4
授業科目名	心肺蘇生法実習		
担当教員氏名	教務委員会、ライフサポートクラブ (LSC)		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1 年	単位数	0.1

【シラバス情報】

授業概要	目前で発生した心肺停止などの緊急事態に際して、心肺蘇生法の意義を理解して施行できる。医療行為にかかわることで、将来医師になる自覚を萌芽（1年生）・再確認（4年生）させる。さらに1年生を指導することで、4年生にTeaching is Learning効果を体感させる。これにより、医師は常に「教育者」であることを自覚させる。
到達目標	1. 一次救急処置の概略を説明できる。 2. 傷病者の意識の確認ができる。 3. 119番通報とAEDの要請ができる。 4. 気道の確保ができる。 5. 呼吸の確認ができる。 6. 胸骨圧迫心臓マッサージができる。 7. AEDを使用できる。

授業内容	各学年を4グループに分け実施する。グループ分けは掲示板にて周知する。 開講日 掲示板にて周知する。 前半グループ開始時間：17：00～18：00 後半グループ開始時間：18：10～19：10 場 所 スキルシミュレーションセンター 1年生は開始10分前にメディックスビル8階会議室2へ集合 4年生は開始30分前にスキルシミュレーションセンター内アネックス集合
事前・事後学習の内容	4年生で後輩指導に自信のない人は、最寄りのLSCメンバーに相談して、実習日までに復習しておくこと

成績評価方法	実習への参加、小テスト、アンケート記入をもって修了とする。
履修上の注意	動きやすい服装を着用すること（スカートやヒール靴を避けること）
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課（gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp）
その他	1年生のみなさんも3年後にはインスト側にまわるので、教え方も十分に観察しておくこと。 ● コアカリキュラムへの対応 A 医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-2) 学修の在り方 G 臨床実習 G-3 基本的臨床手技 G-3-4) 救命処置 G-4-4) シミュレーション教育 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1 5. チーム医療の実践（仁）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM21008-J1
授業科目名	生体物質代謝・生化学		
担当教員氏名	◎広常 真治、松本 早紀子、王 晟明（細胞機能制御学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	1.5

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、基礎教育科目で学んだ生物学・化学的基礎知識を土台に、正常な細胞や組織での基本的な物質代謝について学ぶ。また、物質代謝の多様性と相互関係を理解する。さらに、分子機構の破綻に伴う疾患のメカニズムについての理解を深める。
到達目標	☐ 生命機構を分子レベルで理解する ☐ 生命現象を支える代謝の全体像を理解する ☐ 医学における生化学の役割を説明できる ☐ 蛋白質・酵素の構造と機能について理解する ☐ ビタミンの構造と生理機能またその欠乏症・過剰症を理解する ☐ アミノ酸代謝について理解する ☐ 糖質の代謝について理解する ☐ 脂質の代謝について理解する

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	4/5・1限	広常 真治	エネルギー代謝総論	0	授業の細胞生物学の中における位置づけを理解するため生化学の教科書を通読すること。 個別の事前学習・事後学習については講義毎に指示する。
第2回	4/5・2限	王 晟明	タンパク質の構造と機能 1, 2	1	
第3回	4/5・3限	王 晟明	タンパク質の構造と機能 1, 2		
第4回	4/6・2限	広常 真治	酵素反応の機構 1, 2	1	
第5回	4/6・3限	広常 真治	酵素反応の機構 1, 2		
第6回	4/10・2限	広常 真治	エネルギー代謝 1, 2	1	
第7回	4/10・3限	広常 真治	エネルギー代謝 1, 2		
第8回	4/11・2限	松本 早紀子	ビタミンの構造と機能 1, 2	1	
第9回	4/11・3限	松本 早紀子	ビタミンの構造と機能 1, 2		
第10回	4/12・2限	松本 早紀子	アミノ酸代謝 1, 2	1	
第11回	4/12・3限	松本 早紀子	アミノ酸代謝 1, 2		
第12回	4/13・2限	松本 早紀子	アミノ酸代謝 3, 4	1	
第13回	4/13・3限	松本 早紀子	アミノ酸代謝 3, 4		
第14回	4/17・2限	広常 真治	糖質の代謝 1, 2	1	
第15回	4/17・3限	広常 真治	糖質の代謝 1, 2		
第16回	4/18・2限	広常 真治	糖質の代謝 3, 4	1	
第17回	4/18・3限	広常 真治	糖質の代謝 3, 4		
第18回	4/19・2限	松本 早紀子	核酸の合成、異化、再利用代謝 1, 2	1	
第19回	4/19・3限	松本 早紀子	核酸の合成、異化、再利用代謝 1, 2		
第20回	4/20・2限	広常 真治	脂質の代謝 1, 2	1	
第21回	4/20・3限	広常 真治	脂質の代謝 1, 2		
第22回	4/24・2限	広常 真治	脂質の代謝 1, 2		
第23回	4/24・3限	広常 真治	脂質の代謝 3, 4	1	
第24回	5/2・1-3限	広常 真治	生化学試験	1	

成績評価方法	出席、レポート提出および試験（定期試験 70%、レポート提出 30%） 講義は 2/3 以上、実習は 4/5 以上出席しなければ、受験資格はない。到達目標の達成度について評価を行う。合格には総合で 60 点以上とする。
履修上の注意	授業の細胞生物学の中における位置づけを理解するため細胞生物学の教科書を通読すること。 個別の事前学習・事後学習については講義毎に指示する。
教科書	☐ ヴォート 生化学（東京化学同人）
参考文献	☐ ハーパー・生化学（丸善）講義．第一版． ☐ ヒトの分子遺伝学（MEDSi） ☐ Essential 細胞生物学（南江堂）
オフィスアワー	事前にアポイントメントをとること
教員への連絡方法	shinjih@omu.ac.jp
その他	● コアカリキュラムへの対応 全体を通じた対応は以下の通り。 C 医学一般 C-2 個体の構成と機能 C-2-3) 個体の調節機構とホメオスタシス C-2-3-(1) 情報伝達の基本 C-2-5) 生体物質の代謝 C-4 病因と病態 C-4-1) 遺伝的多様性と疾患、C-4-2) 細胞障害・変性と細胞死、C-4-3) 代謝障害 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題解決能力（智・仁・勇）level1 8. 科学的探究（智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM2110-J1
授業科目名	遺伝医学			
担当教員氏名	【基礎】◎徳永 文稔、及川 大輔、清水 康平、翁 良徳（医化学）、塩田 正之（分子制御生物学）、植松 智（ゲノム免疫学）、八代 正和（癌分子病態制御学）、【臨床】伊藤 義彰（脳神経内科学）、日野 雅之（血液腫瘍制御学）、田原 三枝（女性生涯医学）、佐々木 和子（京都ダウン症児を育てる親の会）、瀬戸 俊之（臨床遺伝学）、野村 みゆき（ふくろうの会）、加藤 和人（大阪大学大学院医学研究科医の倫理と公共政策学）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	2 年		単位数	1.6

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	現在、ヒトの全ゲノム配列が解明され、ポストゲノムと呼ばれる時代に入っており、次世代シーケンシング法やゲノム編集など革新的技術も開発され、目覚ましく変革している。これからの診療を担う医師にとって、ヒト遺伝学の根本原理と臨床に関わる遺伝医学を体系的に学ぶことは必須である。本コースは垂直統合型授業として、前半に臨床遺伝学の基礎について学習する。講義では、テキストとして「ゲノム医学（著：Tom Strachan、監訳：菅野純夫、福嶋義光）」を用いて内容を解説する。後半では、癌の個別化医療、神経難病、後天性血液疾患、出生前診断、遺伝子治療など、遺伝子変異が関連する疾患の診断、治療について各臨床科から指導する。さらに、遺伝カウンセリング、患者講義、ヒトゲノム研究倫理についても学習する。
到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。 ・メンデル遺伝、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる ・ゲノム解析技術を説明できる ・先天性または後天性遺伝子変異と各種疾患との関連を説明できる ・遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる ・遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる ・選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援することができる ・ヒトゲノム研究倫理における個人情報保護について説明できる

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	4/17・4限	徳永 文稔	遺伝医学総論： ヒトゲノムの構成と進化	1	事前にMoodleに掲載した講義資料や教科書を精読し、講義内容を把握すること、また事後にはMoodleでの小テスト・レポート等を行うことで学習内容の知識を定着させる。
第2回	4/17・5限	及川 大輔	遺伝子発現制御	1	
第3回	4/17・6限	及川 大輔	エピジェネティック制御	1	
第4回	4/18・4限	清水 康平	幹細胞、iPS細胞、転写因子と細胞分化	1	
第5回	4/18・5限	塩田 正之	変異と多型、家系図	1	
第6回	4/18・6限	清水 康平	単一遺伝子疾患： 常染色体顕性・潜性遺伝	1	
第7回	4/19・4限	塩田 正之	性染色体関連遺伝	1	
第8回	4/19・5限	翁 良徳	ミトコンドリア母性遺伝、染色体異常症	1	
第9回	4/19・6限	徳永 文稔	多因子疾患	1	
第10回	4/21・1限	徳永 文稔	集団における遺伝的多様性	1	
第11回	4/21・2限	徳永 文稔	疾患原因遺伝子の同定法、ゲノム編集	1	
第12回	4/21・3限	植松 智	次世代シーケンサーを用いた各種解析法の原理と応用	1	

第13回	4/21・4限	八代 正和	がん遺伝子と腫瘍ゲノム学	1	事前にMoodleに掲載した講義資料や教科書を精読し、講義内容を把握すること、また事後にはMoodleでの小テスト・レポート等を行うことで学習内容の知識を定着させる。
第14回	4/21・5限	八代 正和	がんの個別診療、精密医療	1	
第15回	4/21・6限	伊藤 義彰	遺伝性神経難病の発生機序と病態	1	
第16回	4/24・4限	日野 雅之	後天性遺伝子異常と血液疾患	1	
第17回	4/24・5限	田原 三枝	遺伝子検査・治療、出生前診断	1	
第18回	4/24・6限	佐々木 和子	患者講義1：ダウン症児を育てる	1	
第19回	4/25・4限	瀬戸 俊之	遺伝子治療	1	
第20回	4/25・5限	野村 みゆき	患者講義2：ファブリー病	1	
第21回	4/26・4限	瀬戸 俊之	遺伝カウンセリング・リスク評価の基礎	2	
第22回	4/26・5限	瀬戸 俊之	遺伝カウンセリング・ロールプレイ実習	3	
第23回	4/28・4限	加藤 和人	ゲノム医療の倫理的課題と対応1	1	
第24回	4/28・5限	加藤 和人	ゲノム医療の倫理的課題と対応2	3	
第25回	4/28・6限	加藤 和人	ヒトゲノム編集の倫理的・社会的課題	3	
第26回	5/16・1～3限		試験		

成績評価方法	成績評価はコース終了時に行われる筆記試験の成績と講義の出席を総合して採点し、60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	講義への出席、講義中の態度も評価対象であり、必要に応じて加点・減点する。
教科書	ゲノム医学（著:Tom Strachan、監訳:菅野純夫、福嶋義光）2016. 東京 メディカル・サイエンス・インターナショナル ISBN:978-4-89592-844-1
参考文献	遺伝医学（第2版）（著:Thompson & Thompson、監訳:福嶋義光）2017. 東京 メディカル・サイエンス・インターナショナル ISBN: 978-4-89592-875-5
オフィスアワー	10:00-16:00 （会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 全体を通じた対応は以下の通り。尚、講義毎のカリキュラムへの対応については別途記す。 A 医師として求められる基本的な資質・能力 - 1 プロフェッショナリズム A 医師として求められる基本的な資質・能力 - 4 コミュニケーション能力 C 医学一般 - 1 生命現象の科学 - 1) 生命の最小単位 - 細胞 - (2) ゲノム・染色体・遺伝子 C 医学一般 - 4 病因と病態 - 1) 遺伝的多様性と疾患 E 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療 - 1 遺伝医療・ゲノム医療 - 1) 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智、仁、勇） 2. 医学知識と問題対応能力（智、仁、勇） 4. コミュニケーション能力（智、仁、勇） 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智、仁、勇） 8. 科学的探究（智）

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM21009-J4
授業科目名	医学英語論文の読み方		
担当教員氏名	【基礎】◎林 朝茂、佐藤 恭子、康 秀男、柴田 幹子（産業医学）、【臨床】首藤 太一、並川 浩己（総合医学教育学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.1

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	大学入学までの英語教育は、English for general purposes としての教育である。本講座では English for specific purposes あるいは English for academic purposes として医師として習得すべき医学英語に触れる端緒とする。医学英語論文を正確に読み解くには、①英語を読み解く力、②疫学の知識の習得、③医療統計学の知識の習得は必須である。本講座では、どのようなスキルを卒業までに習得する必要があるかを医学部の2年生で体験することで、今後の学習の指針とする。 本講座では、1) 疾患のリスク要因を評価するための観察研究論文、2) 症例報告に関して実習形式で扱う。
到達目標	☐ 疾患のリスク要因を評価するための観察研究論文（コホート研究）を通読し、概要を説明できる。 ☐ 症例報告を通読し、概要を説明できる。

授業回	各回の授業内容	アクティビティ・ラーニング	事前・事後学習の内容
第1回 10/12・1限	林 朝茂	2	Moodle から事前に配布資料を入手し、通読する。
第2回 10/12・2限	佐藤 恭子		
第3回 10/12・3限	康 秀男 柴田 幹子		
第4回 10/13・1限	首藤 太一 並川 浩己	2	Moodle から事前に配布資料を入手し、通読する。
第5回 10/13・2限	林 朝茂 佐藤 恭子 康 秀男 柴田 幹子		

成績評価方法	☐ レポートによって学修達成度を測る。 ☐ 実習のため3/4以上出席しなければ、評価資格はない。なお、30分以上の遅刻は出席とは認めない。 ☐ 実習中に配布する出席カードに、与えられた問題や課題などについて回答し、提出したものを出席とする。なお、出席を口頭で確認することもある。 ☐ 原則、レポートの内容で成績評価をする。 ☐ 合格には、総合して60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	実習中の態度も評価対象であり、必要に応じて加点・減点する。 電子辞書や英和辞典を持参すること。
教科書	必携 特になし
参考文献	中村好一著：基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版、2020.8
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 A -2-2)-①, A -4-1)-①, A -8-1)-①, A -9-1)-①, B -1-3)-③ ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 4. コミュニケーション能力 (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AAMABAM2111-J4
授業科目名	運動器系			
担当教員氏名	【基礎】◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学）、松原 勤（機能細胞形態学） 【臨床】豊田 宏光（総合医学教育学）、橋本 祐介、箕田 行秀（整形外科学）			
開講年度・学期	2023	通年	曜日・時限	その他
授業形態	混合			
科目分類				
配当年次	2 年	単位数	1.6	

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、運動器（骨、関節・靱帯、筋）の構造と機能を学習する。骨学実習では標本を観察する。
到達目標	1. 位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。 2. 骨、軟骨、関節、靱帯の構造と機能を説明できる。 3. 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 4. 脊柱の構成と機能を説明できる。 5. 姿勢と体幹の運動に関わる筋群を概説できる。 6. 上肢、下肢の骨、関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。 7. 骨盤の構成と性差を説明できる。 8. 上肢、下肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 9. 頭頸部の構成を説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	8/29・1限	甲斐 理武	解剖学総論	1	教科書などで予習・復習を行う。
第2回	8/29・2限	近藤 誠 甲斐 理武 河合 洋幸	骨学1・2（体幹・上肢）	1	
第3回	8/29・3限				
第4回	8/29・4限				
第5回	8/29・5限				
第6回	8/29・6限	近藤 誠 甲斐 理武 河合 洋幸	骨学3・4（下肢・頭蓋）	1	
第7回	8/30・1限				
第8回	8/30・2限				
第9回	8/30・3限				
第10回	8/30・4限				
第11回	8/30・5限				
第12回	8/30・6限				
第13回	8/31・1限	甲斐 理武	体幹の連結と筋	1	
第14回	8/31・2限				
第15回	8/31・3限				
第16回	8/31・4限	甲斐 理武	上肢の連結と筋	1	
第17回	8/31・5限				
第18回	8/31・6限				
第19回	9/1・1限	甲斐 理武	下肢の連結と筋	1	
第20回	9/1・2限				
第21回	9/1・3限		頭頸部の連結と筋		
第22回	9/4・3限	豊田 宏光 甲斐 理武 松原 勤	機能形態学（上肢）	1	教科書などで予習・復習を行う。 講義前に特に体表解剖学を学習していることが望ましい。

第 23 回	9/15・3 限	橋本 祐介 甲斐 理武 松原 勤	機能形態学（下肢）	1	教科書などで予習・復習を行う。 講義前に特に体表解剖学を学習している ことが望ましい。
第 24 回	9/26・3 限	箕田 行秀 甲斐 理武 松原 勤	機能形態学（股関節）	1	
	10/2・1-3 限	脳神経機能形態学	試験		

成績評価方法	(1) 試験ならびに実習によって達成度を評価する。 (2) 評価方法：試験 90%、実習 10% (3) 合格には総合 60% 以上の成績が必要である。
履修上の注意	教科書、講義資料などで予習・復習を行うこと。
教科書	実習書（必携）：骨学実習の手びき（南山堂） 教科書（選択必携）：グレイ解剖学（エルゼビア）、標準解剖学（医学書院） アトラス（選択必携）：プロメテウス解剖学アトラス（医学書院）、ネッター解剖学アトラス（南江堂）
参考文献	分担解剖学（金原出版）、日本人体解剖学（南山堂）、解剖学カラーアトラス（医学書院）
オフィスアワー	10:00-16:00（事前にアポイントメントを取ること）
教員への連絡方法	学舎 12 階研究室、電話 06-6645-3706
その他	●コアカリキュラムへの対応 D-4-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2112-J1
授業科目名	血液・造血器系		
担当教員氏名	◎大谷 直子（病態生理学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.4

【シラバス情報】

授業概要	血液は全身を循環して酸素や物質の運搬と熱の配分を行っている。そのため、血液の組成と機能は恒常的に維持されなければならない。血液の機能はその構成成分の複雑さを反映して多岐にわたっている。細胞成分である赤血球、白血球、血小板はすべて血液幹細胞から分化したものであるが、その機能はそれぞれ酸素運搬、生体防御と免疫、止血と分化している。液体成分にいたっては、各臓器機能の影響を受けて成分濃度が臓器機能検査のための重要な情報となる。これらの理解のため、本コースでは、造血器・リンパ網内系の構造を理解し、造血機構、造血因子、血球（赤血球、白血球、血小板）機能、血漿タンパク質および止血・凝固・線溶機構を学ぶ。
到達目標	第1回 1. 循環血液量と末梢血液成分の組成を説明できる。 2. 血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。 3. 末梢血血球成分の種類、形態、数を説明できる。 4. 骨髄の構造を説明できる。 第2回 1. 造血幹細胞の性質と機能を理解し、造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 2. 造血細胞の増殖・分化機構を説明できる。 3. 主な造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子（granulocyte-colony stimulating factor）、トロンボポエチン）を説明できる。 第3回 1. 赤血球の産生と機能を説明できる。 2. ヘモグロビンの構造と機能を説明できる。 3. 血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。 第4回 1. 白血球（好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球）の種類と機能を説明できる。 2. 血小板の機能を説明できる。 第5回 1. 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃と Peyer 板の構造と機能を説明できる。 2. 胸腺の機能を説明できる。 3. リンパ網内系の機能を説明できる。 第6回 1. 止血機構を説明できる。 2. 凝固機構を説明できる。 3. 線溶機構を説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	4/4・4限	大谷 直子	血液総論	1	毎回の講義内容を「講義主題」にて把握し、教材の目次を用いて該当する内容を検索し、講義内容に関する項目を事前に学習しておくこと。既習の内容については、関連科目の授業内容を振り返り確認をしておくこと。各自講義の要点をまとめるなど、事前・事後学習を欠かさないようにすること。
第2回	4/4・5限	大谷 直子	赤血球	1	
第3回	4/5・4限	大谷 直子	白血球・リンパ網内系	1	
第4回	4/5・5限	大谷 直子	免疫機能	1	

第5回	4/7・1限	大谷 直子	血小板・止血・凝固線溶系 1	1	毎回の講義内容を「講義主題」にて把握し、教材の目次を用いて該当する内容を検索し、講義内容に関する項目を事前に学習しておくこと。既習の内容については、関連科目の授業内容を振り返り確認をしておくこと。各自講義の要点をまとめるなど、事前・事後学習を欠かさないようにすること。
第6回	4/7・2限	大谷 直子	血小板・止血・凝固線溶系 2	1	
第7回	4/14・4限	大谷 直子	試験		

成績評価方法	アクティブラーニング、出席、小テストおよび試験で評価する。60点以上（100点満点）を合格とする。
履修上の注意	事前学習を行うことで次の講義の予習をし、毎回の講義後、復習を行うこと。アクティブラーニングとして、事前にMoodleで配布された課題を使って事前学習を行う。
教科書	必携テキスト 標準生理学 第8版（医学書院） 参考書 ガイトン生理学（Elsevier）、 ギャノン生理学（丸善）、
参考文献	講義資料をプリントで配布、スライドで講義
オフィスアワー	9時～17時 会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 D-1 血液・造血器・リンパ系 D-1-1) 構造と機能 D-1-2) 診断と検査の基本 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム （智・仁・勇）level1 2. 医学知識と問題対応能力 （智・仁・勇）level1 3. 診療技能と患者ケア （智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力 （智・仁・勇）level1 8. 科学的探究 （智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM2113-J1
授業科目名	循環器系			
担当教員氏名	【基礎】◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学）、水関 健司、藤田 寿一（神経生理学）、【臨床】柴田 利彦（心臓血管外科学）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	2 年		単位数	1.5

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	循環器系は体液を全身に循環させるシステムである。身体の基盤をなす細胞が必要とする酸素や栄養分を供給し、代謝の結果生じた二酸化炭素や老廃物を除去している。本コースでは循環器系の構造を理解し、心臓の機能、血液循環および血圧調節機構を学ぶ。
到達目標	1. 循環器系（心臓、血管、リンパ管）の構造と機能を理解する。 2. 心臓の微細構造、刺激伝導系、冠状血管を理解する 3. 胎児循環と生後循環、大動脈弓と頭頸部の動脈を理解する。 4. 上肢、胸部、腹部、骨盤、下肢の動脈を理解する。 5. 静脈とリンパ系について理解する。 6. 心筋細胞の機能と特性を理解する。 7. 心電図の原理を理解する。 8. 体循環、肺循環、および冠状循環を理解する。 9. 心周期にともなう血行動態について理解する。 10. 心拍出量の調節と主要臓器の循環調節、血流の局所調節およびリンパ管の機能を理解する。 11. 運動時の循環反応とその機序、体液の全身的調節について理解する。 12. 血圧調節のメカニズムを理解する。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	5/23・4限	甲斐 理武	循環器系の構造の概要	1	教科書などで予習・復習を行う。
第2回	5/23・5限		心臓の位置と構造		
第3回	5/23・6限		心臓の微細構造、 刺激伝導系、冠状血管		
第4回	5/24・4限	甲斐 理武	頭頸部・上肢・胸部の動静脈	1	
第5回	5/24・5限		腹部・骨盤・下肢の動静脈		
第6回	5/24・6限		動脈に伴行しない静脈、リンパ系		
第7回	5/26・4限	近藤 誠 甲斐 理武 河合 洋幸	組織学実習 (循環器系)	1	
第8回	5/26・5限				
第9回	5/26・6限				
第10回	5/29・5限	柴田 利彦	機能形態学 (心臓血管外科学)	1	
第11回	5/30・4限	藤田 寿一	心筋細胞の電気現象と 刺激伝導 心筋細胞の機能と特性	1	・標準生理学、第9版、第10編 循環「34章～37章」 ・ギャノン生理学 第25版、第Ⅴ編 心血管の生理学「29章～32章」 ・ガイトン生理学 第13版 第3部 心臓・第4部 循環 で該当する内容の箇所を熟読し、学習内容の知識を定着させる。
第12回	5/30・5限				
第13回	5/30・6限				

第 14 回	5/31・4 限	藤田 寿一	心電図の原理、体循環、肺循環、冠状循環および心周期	1	・標準生理学、第 9 版、第 10 編 循環「34 章～ 37 章」 ・ギャノン生理学 第 25 版、第 V 編 心血管の生理学「29 章～ 32 章」 ・ガイトン生理学 第 13 版 第 3 部 心臓・第 4 部 循環 で該当する内容の箇所を熟読し、学習内容の知識を定着させる。
第 15 回	5/31・5 限				
第 16 回	5/31・6 限	藤田 寿一	心拍出量の調節と主要臓器の循環調節 血流の局所調節およびリンパ管の機能	1	
第 17 回	6/2・4 限				
第 18 回	6/2・5 限				
第 19 回	6/2・6 限	藤田 寿一	運動時の循環反応とその機序 体液の全身的調節	1	
第 20 回	6/6・1 限				
第 21 回	6/6・2 限	藤田 寿一	血圧調節のメカニズム	1	
第 22 回	6/6・3 限				
第 23 回	7/19・ 1～3 限	脳神経機能形態学 神経生理学	試験 9:00～10:30 解剖学分野 10:50～12:20 生理学分野		
第 24 回					
第 25 回					

成績評価方法	(解剖学分野：脳神経機能形態学) 試験ならびに実習で評価する。 (生理学分野：神経生理学) 試験で評価する。 (配点) 解剖学分野 50 点、生理学分野 50 点の合計 100 点満点で、60 点以上を合格とする。
履修上の注意	履修規程により、原則すべての実習に参加しない限り、単位認定されない。 M2 に進級するまでに高校の生物の内容を十分に理解しておくことを求める。
教科書	解剖学分野 (選択必修)：グレイ解剖学 (エルゼビア)、標準解剖学 (医学書院) アトラス (選択必修)：プロメテウス解剖学アトラス (医学書院)、ネッター解剖学アトラス (南江堂) 組織学分野 (選択必修)：Ross 組織学 (南江堂)、標準組織学 (医学書院) 生理学分野 (選択必修)：標準生理学、第 9 版、(医学書院)；ギャノン生理学 第 25 版 (丸善)、 Review of Medical Physiology (Ganong, 26th ed., McGraw-Hill)；ガイトン生理学 第 13 版 (エルゼビア・ジャパン)、Textbook of Medical Physiology (Guyton & Hall, 13th ed., W.B. Saunders)
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (事前にアポイントメントを取ることを)
教員への連絡方法	Moodle のメッセージ機能による
その他	●コアカリキュラムへの対応 D-5-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level 1 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 3. 診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2114-J1
授業科目名	神経解剖		
担当教員氏名	【基礎】◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学）、【臨床】三木 幸雄（放射線診断学）、伊藤 義彰（脳神経内科学）、島田 昌一（大阪大学）、鶴川 眞也（名古屋市立大学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	1.3

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、脳神経系の構造と機能を学習する。脳実習は肉眼解剖（マクロ）実習と並行して行う。
到達目標	1. 中枢神経系と末梢神経系が区別できる。 2. 主要な動脈の名称および支配領域を説明できる。 3. 脳室と脳脊髄液の循環について説明できる。 4. 脊髄、脳幹の構造と伝導路を説明できる。 5. 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 6. 大脳の構造を説明できる。 7. 大脳皮質の機能局在を説明できる。 8. 小脳の構造と機能を説明できる。 9. 大脳辺縁系、大脳基底核の機能を説明できる。 10. 主要伝導路について説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	10/16・ 2, 3限	近藤 誠	脳の外観、脳血管、髄膜、脳室	1	教科書などで予習・復習を行う。
第2回					
第3回	10/17・ 2, 3限	近藤 誠	脊髄	1	
第4回					
第5回	10/18・ 1～3限	島田 昌一	大脳皮質、基底核、辺縁系、視床	1	
第6回					
第7回					
第8回	10/19・ 1～3限	鶴川 眞也	延髄、中脳、橋、視床下部、小脳	1	
第9回					
第10回					
第11回	10/20・2限	三木 幸雄	臨床機能形態学 (放射線診断学)	1	
第12回	10/20・3限	伊藤 義彰	臨床機能形態学 (脳神経内科学)	1	
第13回	10/24・ 2, 3限	近藤 誠	主要伝導路	1	
第14回					
第15回	10/25・ 2, 3限	近藤 誠	末梢神経系	1	
第16回					
第17回	10/31・ 1～6限	近藤 誠 甲斐 理武 河合 洋幸	脳実習	1	
第18回					
第19回					
第20回					
第21回					
第22回					

第 23 回	11/10・ 1～3 限	脳神経機能形態学	試験		
--------	-----------------	----------	----	--	--

成績評価方法	(1) 試験ならびに実習によって達成度を評価する。 (2) 評価方法：試験 90%、実習 10% (3) 合格には総合 60% 以上の成績が必要である。
履修上の注意	講義日程などは変更となる場合があるが、詳細は第 1 回授業にて説明するので注意すること。
教科書	神経解剖学講義ノート（金芳堂）、人体解剖実習・要点と指針（南江堂）
参考文献	臨床のための神経機能解剖学（中外医学社）、エッセンシャル神経科学（丸善）
オフィスアワー	10:00～16:00（事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	学舎 12 階研究室、電話：06-6645-3706
その他	●コアカリキュラムへの対応 D-2-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level 1 5. チーム医療の実践（仁） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2115-J1
授業科目名	脳機能系		
担当教員氏名	◎水関 健司、松本 英之、宮脇 寛行、瀬戸川 将、黒木 暁（神経生理学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	2.1

【シラバス情報】

授業概要	神経科学の研究を基盤として、精神・神経疾患に対して優れた治療法や予防法を開発することが期待されている。本コースは解剖学・組織学・生化学・遺伝学・細胞生物学・発生学などの知識を土台にして、感覚・運動・記憶・情動・報酬・睡眠・覚醒・本能行動・自律機能などの基盤となる神経回路の動作原理について学ぶ。
到達目標	感覚・運動・記憶・情動・報酬・睡眠・覚醒・本能行動・自律機能などの脳機能の基盤となる神経回路の動作原理を説明できる。神経科学の基本用語を、英語・日本語の両方で身につけ、説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	6/8・1限	水関 健司	神経科学総論 神経系の細胞生物学 神経細胞とグリア細胞	0	事前学習：公開可能な過去の講義資料や試験問題をMoodle上で閲覧可能にするので、それらに目を通しておく。その際、分からない英単語は辞書で調べておく(アクティブラーニング)。自分の持っている教科書/参考図書で、講義に関連する箇所を読んで理解する。 事後学習：講義資料を隅々まで熟読する。自分の持っている教科書/参考図書の関連する箇所をよく読んで理解する。過去の試験問題で講義に関連する問題を自分で解く。生理学の問題集に掲載されている神経科学に関連する問題を解いて理解を深める。講義を欠席した学生や講義が理解できない学生に講義内容を教えて、自分の理解をさらに深める。教科書や参考図書を1人で読んで理解することが難しい場合は、学生同士で輪読会を行うことを勧める。以上のように、事後学習において十分にアクティブラーニングを行うこと。自学自習こそが本当のアクティブラーニングである。
第2回	6/8・2限	水関 健司			
第3回	6/8・3限	水関 健司			
第4回	6/12・1限	水関 健司	感覚系総論 聴覚・音源定位 平衡感覚	0	
第5回	6/12・2限	水関 健司			
第6回	6/12・3限	水関 健司			
第7回	6/13・1限	水関 健司	視覚系	0	
第8回	6/13・2限	水関 健司			
第9回	6/13・3限	水関 健司			
第10回	6/14・2限	松本 英之	嗅覚と味覚	0	
第11回	6/14・3限	松本 英之			
第12回	6/15・1限	水関 健司	体性感覚系	0	
第13回	6/15・2限	水関 健司			
第14回	6/15・3限	水関 健司			
第15回	6/19・1限	水関 健司	運動系 筋と運動ニューロン 脊髄・脳幹	0	
第16回	6/19・2限	水関 健司			
第17回	6/19・3限	水関 健司			
第18回	6/20・1限	水関 健司	大脳皮質運動野 大脳基底核 小脳	0	
第19回	6/20・2限	水関 健司			
第20回	6/20・3限	水関 健司			
第21回	6/21・2限	松本 英之	報酬系	0	
第22回	6/21・3限	松本 英之			
第23回	6/22・2限	水関 健司	自律神経系・本能行動 摂食・飲水・性行動	0	
第24回	6/22・3限	水関 健司			
第25回	6/27・1限	水関 健司	海馬と記憶	0	
第26回	6/27・2限	水関 健司			
第27回	6/27・3限	水関 健司			
第28回	6/29・1限	水関 健司	海馬と扁桃体 情動と記憶	0	
第29回	6/29・2限	水関 健司			
第30回	6/29・3限	水関 健司			

第 31 回	7/3・1 限	水関 健司	神経系の発達と可塑性	0	
第 32 回	7/3・2 限	水関 健司			
第 33 回	7/3・3 限	水関 健司			
第 34 回	7/5・2 限	水関 健司	睡眠・覚醒・概日リズム	0	
第 35 回	7/5・3 限	水関 健司			
第 36 回	7/7・2 限	水関 健司	脳のリズムと同期活動	0	
第 37 回	7/7・3 限	水関 健司			
第 38 回	8/28・ 1～3 限	神経生理学	試験（150分間）		
		神経生理学	集合 午前9時30分		
		神経生理学	開始 午前9時40分		

成績評価方法	試験で到達目標の達成度を評価する。試験は日本語または英語で行う。専門用語は英語名も覚えること。講義の出席点はない。小テストやレポートは行わない。
履修上の注意	高校の「生物」の教科で医学に関わる分野、並びに M1 時の細胞生物学コースの水関担当の講義の分野は理解しているものとして講義と試験を行う。講義中に携帯電話を使用する者や態度の悪い者には退室を命ずる。講義中に積極的に質問して、教員を徹底的に使い倒すことを求める。学生が理解すべき内容は年々増えている一方で講義時間は年々減らされているため、自学自習の必要性が高まっている。事前・事後学習で自分または自分達でアクティブラーニングを十分に行うこと。教員に指示されなくても自分の頭で考えて実行するのが真のアクティブラーニングである。医学部の卒業生がアメリカの医師免許を取ることを可能にするために、医学部では多くの教職員が膨大な時間を使って「医学教育分野別評価」に対応していることはPD 講習会で何度も紹介されている通りである。学生の間にはアメリカの医師国家試験を受けるつもりでしっかり勉学に励むこと。
教科書	推薦する教科書をいくつか挙げておく。教科書（または参考文献に掲載する参考図書でもよい）は、最新版である必要はなく古本で十分であり、日本語訳版でも良いので、いずれか1～2冊は必ず手元において熟読すること。講義だけで神経科学の全分野を網羅することはできないため、必ず自分で教科書を読んで体系的に学習することを勧める。 (1) Principles of Neurobiology, Liqun Luo, 2nd edition, Garland Science, 2020. (2) Principles of Neural Science, 6th edition. ER Kandel, JD Koester, SH Mack, SA Siegelbaum, Mc Graw Hill, 2021. (3) 標準生理学、第9版、医学書院、2019。
参考文献	(4) Neuroscience, Exploring the Brain, 4th edition. MF Bear, BW Connors, MA Paradiso Eds., Wolters Kluwer, 2017. (5) Neuroscience, 6th edition. Purves, Augustine, Fitzpatrick, Hall, LaMantia, Mooney, Platt, White. Sinauer Associates Inc. 2018. (6) Neurobiology, A functional approach, Georg F. Striedte, Oxford Univ Pr, 2015. (7) From Neuron to Brain, 6th edition. A. Robert Martin, David A. Brown, Mathew E. Diamond, Antonio Cattaneo, Francisco F. De-Miguel. Sinauer Associates Inc. 2020.
オフィスアワー	12:00-18:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 C-2-3)-(1), C-2-3)-(2), C-2-3)-(4), C-5-1), C-5-2), C-5-3), C-5-4), C-5-5), D-2-1), D-13-1), D-14-1) ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナルリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM2117-J1
授業科目名	呼吸器系			
担当教員氏名	【基礎】◎吉川 貴仁（運動生体医学）、池田 一雄、松原 勤、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学） 【臨床】西山 典利（呼吸器外科）、城後 篤志、影山 健（放射線診断学）			
開講年度・学期	2023	通年	曜日・時限	その他
授業形態	講義			
科目分類				
配当年次	2 年		単位数	1.4

※水平垂直講義を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	我々は炭水化物や脂肪などの栄養素を酸化分解することによって必要なエネルギーを獲得する。この代謝過程に必要とされる酸素は外呼吸により大気中から体内に取り入れられ、体内で産生された二酸化炭素は外呼吸により大気中に放出される。本コースでは呼吸器系の構造を理解し、呼吸運動、呼吸機能、ガス交換、酸塩基平衡、呼吸調節を学ぶ。
到達目標	呼吸器系（鼻腔・喉頭・気管・肺）の構造を説明できる。 呼吸運動と気流発生、咳や痰が生じるメカニズムを説明できる。 酸素・二酸化炭素分圧と肺泡気動脈血酸素分圧較差を理解し、具体的な症例の呼吸状態、酸素吸入の必要性を説明できる。 肺気量と死腔について理解し、呼吸機能検査の結果から呼吸状態を説明できる。 肺・胸郭の構造・機能から、弾性とコンプライアンスが具体的な症例の呼吸状態に与える影響を説明できる。 肺の血流の構造・機能から、シャント効果、肺の換気血流比が具体的な症例の呼吸状態に与える影響を説明できる。 血液による酸素・二酸化炭素の運搬、ヘモグロビンとの関係、酸素飽和度について理解し、具体的な症例の呼吸状態を説明できる。 呼吸と代謝による酸塩基平衡について理解し、具体的な症例の酸・塩基平衡の状態を説明できる。 呼吸中枢を介する呼吸調節のメカニズムから、具体的な症例の呼吸状態を説明できる。 呼吸器系・胸腹部の解剖・生理学の知識が臨床現場でどのように応用されているかを理解する。

授業回		各回の授業内容		アクティビティ・ラング	事前・事後学習の内容
第1回	5/8・4限	池田 一雄	呼吸器構造1（鼻腔・喉頭） 呼吸器構造2（気管・肺）	1	●事前学習 1. 人体の正常構造と機能「1 呼吸器」 2. エルゼビア Foundation ウィーター 図説で学ぶ組織学 「呼吸器系」 ●事後学習 1. 配布資料（Moodle） 2. エルゼビア Assessment
第2回	5/8・5限				
第3回	5/8・6限				
第4回	5/9・4限	吉川 貴仁	気道・肺泡の構造、呼吸運動と気流発生のメカニズム	1	事前・事後に e-learning の資料をみて、事後に問題を解くこと。事前・事後学習を欠かさないようにすること。
第5回	5/9・5限				
第6回	5/10・4限	吉川 貴仁	酸素・二酸化炭素分圧と肺泡でのガス交換 肺気量、死腔	1	
第7回	5/10・5限				
第8回	5/10・6限				
第9回	5/12・4限	池田 一雄 松原 勤 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織実習1（喉頭・気管）	1	●事前学習 1. 第1, 2, 3回講義内容の復習 2. Ross 組織学（呼吸器系） 3. 標準組織学 各論（呼吸器系） ●事後学習 1. 配布資料（Moodle） 2. エルゼビア Assessment
第10回	5/12・5限				
第11回	5/12・6限				

第 12 回	5/15・4 限	池田 一雄 松原 勤 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織実習 2 (肺)	1	●事前学習 1. 第 1, 2, 3 回講義内容の復習 2. Ross 組織学 (呼吸器系) 3. 標準組織学 各論 (呼吸器系) ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle) 2. エルゼビア Assessment
第 13 回	5/15・5 限				
第 14 回	5/15・6 限				
第 15 回	5/17・4 限	吉川 貴仁	肺の血流とシャント効果、 肺の換気血流比	1	事前・事後に e-learning の資料をみて、 事後に問題を解くこと。事前・事後学習 を欠かさないようにすること。
第 16 回	5/17・5 限				
第 17 回	5/17・6 限				
第 18 回	5/19・1 限	吉川 貴仁	酸素・二酸化炭素の運搬、 呼吸と酸塩基平衡	1	事前・事後に e-learning の資料をみて、 事後に問題を解くこと。事前・事後学習 を欠かさないようにすること。
第 19 回	5/19・2 限				
第 20 回	5/19・3 限				
第 21 回	5/19・4 限	吉川 貴仁	肺・胸郭の弾性とコンプライアンス	1	事前・事後に e-learning の資料をみて、 事後に問題を解くこと。事前・事後学習 を欠かさないようにすること。
第 22 回	5/19・5 限	西山 典利	外科から見た呼吸器学	1	第 1 ～ 21 回目の授業資料を事前に復習 するとともに、事後にも当日の資料をみ て e-learning での問題を解くこと。
第 23 回	5/19・6 限	吉川 貴仁	呼吸中枢を介する呼吸調節 のメカニズム	1	事前・事後に e-learning の資料をみて、 事後に問題を解くこと。事前・事後学習 を欠かさないようにすること。
第 24 回	6/7・ 1 ～ 3 限		試験		
第 25 回	6/14・ 5 ～ 6 限	城後 篤志 影山 健	放射線診断からみた胸腹部 の解剖と呼吸器疾患	1	胸腹部の解剖の授業資料を事前に復習 し、事前解説を読んでおくこと。事後に も当日の資料をみて、e-learning での画 像診断の症例問題を解くこと。
第 26 回					

成績評価方法	(1) 小テスト (事前・事後学習) を含む試験ならびにレポートによって各単元の学修達成度を測る。 (2) 評価方法の詳細については、学習開始時に提示する。 (配点：解剖学 50 点、生理学 50 点の合計 100 点満点で、60 点以上が合格) (3) 本講座で学習した内容を基に、具体的な患者症例について呼吸状態を説明できるかを評価する。
履修上の注意	医学部規則により、原則すべての実習に参加しない限り、単位認定されない。 学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	☐ 人体の正常構造と機能 第 4 版 (日本医事新報社)、Ross 組織学 第 7 版 (南江堂)、標準組 織学 (総論・各論) 第 5 版 (医学書院)、 (教科書；選択して必携) ☐ Drake グレイ解剖学 (エルゼビア・ジャパン) ☐ 高野 解剖学講義 (南山堂) (アトラス；選択して必携) ☐ Netter ネット解剖学アトラス (南江堂) ☐ 坂井 プロメテウス解剖学 コアアトラス (医学書院) 参考書 分担解剖学 (第 1・2・3 巻) 第 11 版 (金原出版)、標準生理学 第 9 版 (医学書院)
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポをとること)
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 D-6-1 ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level 1 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 3. 診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2118-J1
授業科目名	免疫系		
担当教員氏名	【基礎】◎植松 智、藤本 康介、植松 未帆、林 哲哉、宮岡 大知（ゲノム免疫学）、宇留島 隼人（機能細胞形態学）【臨床】橋本 求（膠原病内科学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	2.1

※水平垂直講義を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	本コースでは、感染が起こってから自然免疫が発動し、獲得免疫が誘導される基本的な免疫応答を軸として、免疫現象全体を細胞レベル、分子レベルで理解を図る。前半では、総論として免疫細胞の分化と機能、エフェクター分子と機構、自然免疫受容体の機能、抗原提示、獲得免疫の多様性の獲得と誘導、エフェクター細胞の機能、さらに粘膜免疫機構、免疫制御機構、免疫記憶を詳細に学ぶ。また、機能細胞形態学の宇留島先生との連携のもと、免疫応答が起こる場として免疫関連組織、臓器の学びを行い、水平講義を展開し免疫応答の時空間的な理解を深める。後半では、総論で学んだ生理的、正常状態での免疫応答に関する基礎知識を基盤として、炎症、アレルギー、癌、免疫不全といった免疫疾患の病態機構を一緒に考えつつ、治療法も含めた学びを深めていく。さらに、膠原病内科学の橋本先生との連携の元、基礎と臨床の橋渡しとなる膠原病の講義を展開し、病態機構、治療、さらには最先端の分子標的薬の紹介も含めた垂直講義を実践する。最後の授業では、再度、感染が起こってから自然免疫が発動し、獲得免疫が誘導される免疫応答に関して、コース全体のダイジェスト、総まとめの講義を行い、各回の要点をピンチアウトしながら、全体を理解しつつも細部との連関をきっちりと再確認してもらう。
到達目標	免疫系の仕組みを細胞レベル、分子レベルで深く理解し、感染が起こってから自然免疫が発動し、獲得免疫が誘導され病原体を排除するまでを説明できる。この感染に対する基本的な免疫応答を軸に、炎症、アレルギー、癌、免疫不全といった免疫関連疾患の病態機構を考え、最先端の分子標的治療も含めた治療法とその機構に関しても理解し、解説できる。臨床講義に向けて、免疫機構における「生理的」な状態が如何なるものかを体得し、その知識を基盤として逸脱した疾患状態に関して適切に病態機構を思考し、治療法を考えることができる。将来の国家試験、専門医試験に向けて免疫関連疾患の重要なキーワード群に関しては、先取的に小テストを介して体得する。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	6/6・4時限	植松 智	免疫機構概論	0	イントロなので、特になし。
第2回	6/6・5時限	植松 智 藤本 康介	補体、NK細胞、貪食細胞	1	知識の定着のため、授業支援システム moodle 上に掲載する各回の小テストを活用してください。また、各レポート課題も重要テーマですので、関連事項も含めてよく学習し、知識の整理に役立ててください。
第3回	6/6・6時限	植松 智 藤本 康介	自然免疫受容体と認識機構	1	
第4回	6/9・4時限	植松 智 林 哲哉	遺伝子再構成、BCR/抗体の認識	1	
第5回	6/9・5時限	植松 智 藤本 康介	MHCの構造と機能、樹状細胞、抗原提示	1	
第6回	6/9・6時限	植松 智 宮岡 大知	TCRの認識	1	
第7回	6/13・4時限	植松 智 林 哲哉	造血系	1	
第8回	6/13・5時限	植松 智 宮岡 大知	T細胞の発生と選択、NKT細胞	1	
第9回	6/13・6時限	植松 智 林 哲哉	B細胞分化	1	

第 10 回	6/16・4 時限	植松 智 宮岡 大知	ヘルパー T 細胞、自然リンパ球	1		
第 11 回	6/16・5 時限	植松 智 藤本 康介	細胞傷害性 T 細胞	1		
第 12 回	6/16・6 時限	植松 智 藤本 康介	B 細胞と抗体	1		
第 13 回	6/19・4 時限	植松 智	免疫細胞の動態	1		
第 14 回	6/19・5 時限	植松 智 藤本 康介	免疫制御と制御性 T 細胞	1		
第 15 回	6/19・6 時限	植松 智 藤本 康介	免疫記憶とワクチン	1		
第 16 回	6/21・4 時限	宇留島 隼人	構造講義 1 免疫組織の概要	1	人体の正常構造と機能 第 4 版「7. 血液、免疫 p.480-534」ならびにエルゼビア e-laearning ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学 「11. 免疫系」で、学習内容の知識を定着させる	
第 17 回	6/21・5 時限	宇留島 隼人	構造講義 2 1 次リンパ組織	1		
第 18 回	6/21・6 時限	宇留島 隼人	構造講義 3 2 次リンパ組織	1		
第 19 回	6/23・4 時限	植松 智 藤本 康介	粘膜免疫 1 (粘膜免疫機構)	1	知識の定着のため、授業支援システム moodle 上に掲載する各回の小テストを活用してください。また、各レポート課題も重要テーマですので、関連事項も含めてよく学習し、知識の整理に役立ててください。	
第 20 回	6/23・5 時限	植松 智 植松 未帆	粘膜免疫 2 (常在菌叢)	1		
第 21 回	6/23・6 時限	植松 智 林 哲哉	生殖免疫と移植免疫	1		
第 22 回	6/26・4 時限	植松 智 藤本 康介	急性炎症と慢性炎症	1		
第 23 回	6/26・5 時限	植松 智 藤本 康介	アレルギー 1 (メカニズム、喘息、鼻炎)	2, 3		
第 24 回	6/26・6 時限	植松 智 藤本 康介	アレルギー 2 (アトピー性皮膚炎、食物アレルギー)	2, 3		
第 25 回	6/27・4 時限	解剖 1	組織学実習 1 (扁桃、リンパ節、脾臓、胸腺)	1	人体の正常構造と機能 第 4 版「7. 血液、免疫 p.480-534」ならびにエルゼビア e-laearning ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学 「11. 免疫系」で、学習内容の知識を定着させる	
第 26 回	6/27・5 時限					
第 27 回	6/27・6 時限					
第 28 回	6/28・4 時限	解剖 1	組織学実習 2 (扁桃、リンパ節、脾臓、胸腺)	1		
第 29 回	6/28・5 時限					
第 30 回	6/28・6 時限					
第 31 回	6/30・4 時限	橋本 求	自己免疫疾患 1 (自己免疫と破綻、遺伝因子など)		知識の定着のため、授業支援システム moodle 上に掲載する各回の小テストを活用してください。また、各レポート課題も重要テーマですので、関連事項も含めてよく学習し、知識の整理に役立ててください。	
第 32 回	6/30・5 時限	橋本 求	自己免疫疾患 2 (自己免疫疾患と治療)			
第 33 回	7/3・4 時限	植松 智 藤本 康介	腫瘍免疫と癌免疫療法			
第 34 回	7/3・5 時限	植松 智 藤本 康介	原発性免疫不全と後天性免疫不全			
第 35 回	7/3・6 時限	植松 智	免疫機構まとめ		まとめなので、特になし。	
第 36 回	7/31・1～3 時限	植松 智 藤本 康介 林 哲哉 宮岡 大知	試験		試験は小テスト、レポートに関連した内容から主に出題されます。	

成績評価方法	成績評価は、ゲノム免疫学担当の講義各回の小テスト (10%、moodle に掲載、受講が重要、点数は勘案しない)、ゲノム免疫学担当のレポートの提出 (10%)、構造講義の実習レポート (10%)、コース終了後に行われる筆記試験の成績 (70%) を総合して行います。
--------	---

履修上の注意	免疫系は、非常に複雑精緻な機構です。推薦教材を参考にし、moodle にアップロードされる講義スライドを使って全体像を捉えつつ、細部も理解してください。第 21 回までに、基本的な免疫応答、解剖学的知識の基礎事項を網羅します。第 22 回以降の講義では実際の疾患を学習しますので、個々の免疫細胞、機構がどの様に働くか、治療法も含めて総合的に学習してください。
教科書	授業、各回の予習、復習のため、標準免疫学（医学書院）を日本語の教科書と指定します。
参考文献	より発展的な内容を英語で学習したい人には、Janeway' s Immunobiology 9th ed（南江堂）を推薦します。
オフィスアワー	10:00-16:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-3-2 免疫と生体防御 ●該当するコンピテンス 2. 医学知識と問題対応能力 （智・仁・勇） level1 3. 診療技能と患者ケア （智・仁・勇） level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇） level1 8. 科学的探究 （智） level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2119-J1
授業科目名	消化器系		
担当教員氏名	【基礎】◎大谷 直子、神谷 知憲（病態生理学） 池田 一雄、松原 勤、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学） 【臨床】前田 清（消化器外科学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	1.4

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	食物には、私たちの身体を構築するための材料や活動のためのエネルギー源などが含まれている。食物に含まれるこれらの栄養素を体細胞で利用可能な大きさまで分解する過程を消化といい、消化器系で行われる。消化器系は消化管とその付属器官から構成される。消化管は口から肛門までの1本の管であり、消化・吸収が行われる。付属消化器官には唾液腺、肝臓、胆嚢、膵臓があり、消化液を産生・貯蔵し消化管内に分泌する。消化された栄養素は吸収後、合成・分解・解毒され、細胞が利用できる形にかえられる。吸収されなかったものは便として排出される。消化器系コースでは消化器系の正常構造や機能、栄養の消化・吸収の仕組みについて学ぶ。
到達目標	① 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ② 腹膜と臓器の関係を説明できる。 ③ 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 ④ 消化管運動の仕組みを説明できる。 ⑤ 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。 ⑥ 肝の構造と機能を説明できる。 ⑦ 胃液の作用と分泌機序を説明できる。 ⑧ 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。 ⑨ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ⑩ 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 ⑪ 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 ⑫ 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 ⑬ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ⑭ 咀嚼と嚥下の機構を説明できる。 ⑮ 消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。

授業回	各回の授業内容	アクティビティ・シラバス	事前・事後学習の内容
第1回 5/17・1限	大谷 直子 消化器系の一般的性質	1	下記参照
第2回 5/17・2限	大谷 直子 口腔、食道の生理	1	下記参照
第3回 5/17・3限	大谷 直子 胃の生理	1	下記参照
第4回 5/18・1限	消化器構造1 (消化器系の概要、口腔)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学 「口腔組織」「消化器」 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ① -1 ●事後学習 1. 配布資料（Moodle など） 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ① -2
第5回 5/18・2限	池田 一雄 消化器構造2 (咽頭・食道)		
第6回 5/18・3限	消化器構造3 (胃)		
第7回 5/22・3限	大谷 直子 小腸・大腸の生理、栄養素の消化と吸収	1	下記参照

第 8 回	5/22・4-6 限	松原 勤 池田 一雄 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織学実習 1 (舌、唾液腺)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「口腔組織」 2. Ross 組織学「消化器系 I」 ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle など) 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ②
第 9 回					
第 10 回					
第 11 回	5/23・1-3 限	松原 勤 池田 一雄 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織学実習 2 (食道、胃)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「消化器」 2. Ross 組織学「消化器系 II」 ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle など) 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ④
第 12 回					
第 13 回					
第 14 回	5/24・1 限	池田一雄	消化器構造 4 (小腸、大腸)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「消化器」「肝臓および膵臓」 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ③-1 ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle など) 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ③-2
第 15 回	5/24・2 限		消化器構造 5 (肝臓、胆嚢)		
第 16 回	5/24・3 限		消化器構造 6 (膵臓、腹膜)		
第 17 回	5/25・1 限	大谷 直子	肝臓の生理	1	下記参照
第 18 回	5/25・2 限	大谷 直子	胆嚢・膵臓の生理	1	下記参照
第 19 回	5/25・3 限	大谷 直子	消化管ホルモン、腸脳相関	1	下記参照
第 20 回	5/29・3 限	神谷 知憲	消化管免疫と腸内細菌叢	1	下記参照
第 21 回	5/30・1-3 限	松原 勤 池田 一雄 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織学実習 3 (小腸、大腸)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「消化器」 2. Ross 組織学「消化器系 II」 ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle など) 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ⑤
第 22 回					
第 23 回					
第 24 回	5/31・1-3 限	松原 勤 池田 一雄 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織学実習 4 (肝臓、膵臓)	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「肝臓および膵臓」 2. Ross 組織学「消化器系 III」 ●事後学習 1. 配布資料 (Moodle など) 2. エルゼビア Assessment：消化器組織 ⑥
第 25 回					
第 26 回					
第 27 回	6/5・2 限	前田 清	消化器外科学	0	下記参照
	6/26 2-3 限		試験		

事前・事後学習の内容	全般 事前学習：「細胞と組織の基本構造と機能コース」で学んだ組織の成り立ち、「生体物質代謝・生化学コース」で学んだ糖質・脂質・タンパク質・酵素に関して復習しておくこと。生理学分野では、アクティブラーニングとして、事前に Moodle で配布された課題を使って事前学習を行う。 事後学習：配布された資料と推奨テキストをもとに講義内容の復習をすること。また、消化器系は腹部の循環器系と関係しているので「循環器系コース」との統合的な理解をすること。
------------	---

成績評価方法	コース終了時の試験、組織学実習レポート点を総合し、60点（100点満点）以上を合格とする。（学修態度、小テストの成績も加味し、解剖学分野と生理学分野の割合は50%：50%とする）
履修上の注意	講義の内容確認のため講義終了時に小テストを行う場合がある。
教科書	Ross 組織学（南江堂）、人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、エルゼビア Foundation : ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学、「標準生理学」（医学書院）
参考文献	ガイトン生理学（Elsevier）、ギャノン生理学（丸善）
オフィスアワー	会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 D-7-1) ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2120-J4
授業科目名	感覚器・皮膚		
担当教員氏名	【基礎】◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学）、【臨床】鶴田 大輔（皮膚病態学）、角南 貴司子（耳鼻咽喉病態学）、本田 茂（視覚病態学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.5

※水平垂直統合型授業を実施しています

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、感覚器・皮膚の構造と機能を学習する。また、臨床（皮膚科学、耳鼻咽喉科学、眼科学）の観点から機能形態学を学ぶ。組織学実習では標本を観察する。
到達目標	1. 皮膚（表皮真皮、皮下組織）、皮膚付属器（毛胞、皮脂腺、汗腺）の構造と機能について説明できる。 2. 内耳の聴覚器、前庭感覚器の構造と機能を説明できる。 3. 視覚器（眼球）の構造と機能を説明できる。

授業回	各回の授業内容	アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回 第2回	9/5・1, 2限 甲斐 理武 感覚器・皮膚の構造	1	教科書などで予習・復習を行う。
第3回	9/5・3限 鶴田 大輔 臨床機能形態学（皮膚科学）	1	
第4回	9/6・2限 角南 貴司子 臨床機能形態学（耳鼻咽喉科学）	1	
第5回	9/6・3限 本田 茂 臨床機能形態学（眼科学）	1	
第6回 第7回 第8回	9/7・1～3限 近藤 誠 甲斐 理武 河合 洋幸 組織学実習（感覚器・皮膚）	1	
第9回	10/10・1～3限 脳神経機能形態学 試験		

成績評価方法	(1) 試験ならびに実習によって達成度を評価する。 (2) 評価方法：試験 90%、実習 10% (3) 合格には総合 60% 以上の成績が必要である。
履修上の注意	教科書、講義資料で予習・復習を行うこと。
教科書	組織学カラーアトラス（メディカルインターナショナル）、Ross 組織学（南江堂）
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00～16:00（事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	学舎 12 階研究室、電話：06-6645-3706

その他	●コアカリキュラムへの対応 D-3-1)、D-13-1)、D-14-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1
-----	---

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2121-J1
授業科目名	内分泌・代謝		
担当教員氏名	◎大谷 直子、山岸良多（病態生理学） 松原 勤、池田 一雄、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.6

【シラバス情報】

授業概要	内分泌腺は化学的伝達物質であるホルモンを産生分泌し、ホルモンは血流により、標的器官へ特異的に作用し、神経系と共に生体機能を協調し、統合する働きを有する。本講義では内分泌腺のなかで、器官として存在する下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎をとりあげ、各器官の正常形態・構造と機能を理解する。また内分泌機能の生理についての一般的知識を得て、体内のホメオスタシス保持機構について、各器官の機能と全身代謝調節におけるそれぞれのホルモンの機能的役割を理解することを目標とする。これらの理解のため、本コースでは、内分泌器官の正常形態・基本的な機能についての講義とともに、光学顕微鏡を用いた組織学実習を並行して行う。
到達目標	第 1, 2 回 1. 内分泌系の概念、分類と特性を理解する。各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 2. 下垂体の発生、構造（前葉、中間部、後葉）とホルモンについて説明できる。 3. 松果体、甲状腺、上皮小体の構造とホルモンについて説明できる。 4. 副腎の発生、構造（皮質、髄質）とホルモンについて説明できる。 5. パラガングリオンの概念、構造と機能について説明できる。 第 3, 4, 5 回 以下の内分泌系組織を観察し、構造を説明できる。 下垂体（HE 染色）、甲状腺（HE 染色）、副腎（HE 染色） 第 6 回 1. 内分泌系の主な働きとその作用機構、フィードバック機構の全体像を説明できる。 2. 全身代謝調節について説明できる。 3. 内分泌系による全身代謝調節機構について説明できる。 4. ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。 第 7, 8 回 1. 各視床下部－下垂体前葉系ホルモンと標的内分泌腺の作用、フィードバック機構を説明できる。 2. 各内分泌器官の機能異常を説明できる。 第 9 回 1. 下垂体後葉ホルモンと体液調節について説明できる。 2. レニン－アンギオテンシン－アルドステロン系による体液・血圧調節について説明できる。 3. 副腎髄質ホルモンと血圧調節について説明できる。 4. 各内分泌器官の機能異常を説明できる。 第 10 回 1. 上皮小体ホルモンの産生と機能について説明できる。 2. ビタミン D の機能について説明できる。 3. 全身のカルシウムホメオスタシスについて説明できる。 4. 骨の役割を理解し、骨形成・骨粗しょう症などの機能異常を説明できる。 第 11 回 1. 膵島ホルモンについて説明できる。 2. 膵島ホルモンの機能について説明できる。 3. 血糖を調節する消化管ホルモンについて説明できる。 4. 血糖調節機構について説明できる。 5. 血糖調節機構の異常について説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	4/7・4限	松原 勤	内分泌腺の組織形態とホルモン	2	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「内分泌系」 2. エルゼビア Assessment：内分泌組織① -1 ●事後学習 1. 配布資料（Moodle など） 2. エルゼビア Assessment：内分泌組織① -2
第2回	4/7・5限				
第3回	4/10・6限	大谷 直子	内分泌総論・全身代謝調節	1	毎回の講義内容を「講義主題」にて把握し、教材の目次を用いて該当する内容を検索し、講義内容に関する項目を事前に学習しておくこと。既習の内容については、関連科目の授業内容を振り返り確認をしておくこと。各自講義の要点をまとめるなど、事前・事後学習を欠かさないようにすること。
第4回	4/11・4-6限	松原 勤 池田 一雄 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織学実習（内分泌腺）	1	●事前学習 1. エルゼビア Foundation：ウィーター図説で学ぶ組織学「内分泌系」 2. Ross 組織学「内分泌系」 ●事後学習 1. 配布資料（Moodle など） 2. 人体の正常構造と機能「内分泌」 3. エルゼビア Assessment：内分泌組織②
第5回					
第6回					
第7回	4/12・4限	大谷 直子	視床下部一下垂体前葉系ホルモンと標的内分泌腺の機能 1	1	毎回の講義内容を「講義主題」にて把握し、教材の目次を用いて該当する内容を検索し、講義内容に関する項目を事前に学習しておくこと。既習の内容については、関連科目の授業内容を振り返り確認をしておくこと。各自講義の要点をまとめるなど、事前・事後学習を欠かさないようにすること。
第8回	4/12・5限	大谷 直子	視床下部一下垂体前葉系ホルモンと標的内分泌腺の機能 2	1	
第9回	4/12・6限	山岸 良多	体液量や血圧を調節するホルモン（下垂体後葉ホルモン、副腎髄質ホルモン等）	1	
第10回	4/14・2限	大谷 直子	上皮小体とカルシウムホメオスタシス	1	
第11回	4/14・3限	大谷 直子	膵島ホルモンと血糖調節	1	
第12回	5/1・2-3限		試験		

成績評価方法	成績評価はコース終了時に行われる筆記試験の成績による。普段の出席点、小テストも加味する。解剖学分野と生理学分野の割合は50%：50%とする。合格には、総合して60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	事前学習を行うことで次の講義の予習をし、毎回の講義後、事後学習として復習を行うこと。生理学分野では、アクティブラーニングとして、事前にMoodle上で配布された課題を使って事前学習を行う。
教科書	Ross 組織学 第7版（南江堂）、人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、エルゼビア Foundation：ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学、「標準生理学」（医学書院）、その他、配布した講義資料
参考文献	ガイトン生理学（Elsevier）、ギャノン生理学（丸善）、「人体組織学」A. Stevens & J. Lowe（南江堂）、「機能を中心とした図説組織学（Functional Histology, A text and colour atlas by P.W. Weather）」山田英智 訳、（医学書院）
オフィスアワー	会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること

教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 C-2-3)-(1)、C-2-3)-(4) ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2122-J1 AMABAM2123-J4
授業科目名	腎・泌尿器系・生殖器		
担当教員氏名	◎大谷 直子（病態生理学）、池田 一雄、松原 勤、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学）、柳田 素子、横井 秀基、松原 雄（京都大学大学院医学研究科）、木村 友則（医薬基盤研）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	11.3

【シラバス情報】

授業概要	腎・泌尿器系コース 身体の基盤となる細胞は、酸素や栄養分を取り込み、それらを代謝することで活動している。腎臓は血液を濾過し尿を生成することで、代謝の結果生じた老廃物を除去するための臓器であり、また、身体約60%を占める水分の量を調節する役割も担っている。さらに、血液の電解質やpHの維持、また血圧の調節など体内環境を整えるのも腎臓の役割である。膀胱は、腎臓で生成され尿管を通して運ばれた尿が一時的に貯留する袋状の臓器である。腎臓および泌尿器系の構造を理解し、腎臓の糸球体と尿細管の機能、腎臓による体液と酸塩基平衡の維持、および排尿のメカニズムを学ぶ。 生殖器コース 男性生殖器と女性生殖器の正常構造と基本的な機能について学ぶ。また、産婦人科・泌尿器科より臨床の観点から解剖生理学を学ぶ。さらに光学顕微鏡を用いた生殖器の組織学実習を並行して行い理解を深める。
到達目標	腎・泌尿器系コース 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。 腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミン D、レニン、アンギオテンシン II、アルドステロン）の作用を説明できる。 尿細管各部における再吸収・分泌機構を説明できる。 腎・泌尿器組織を図示説明できる。 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を説明できる 尿の濃縮機序を説明できる。蓄排尿の機序を説明できる。 生殖器コース 男性生殖器組織（精巣・精巣上体、精索、前立腺、陰茎）の図示説明ができる。 女性生殖器（卵巣、卵管、子宮）の図示説明ができる。 テストステロンを中心とした精巣の内分泌機能について理解し、説明できる。 陰茎の構造と勃起のメカニズムについて説明でき、その異常である勃起不全（ED）についても病態を理解する。 子宮動静脈・卵巣動静脈の血流について説明できる。 妊娠・分娩の概要を説明できる。

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	9/14 1限	大谷 直子	体液の量・組成 腎機能の全体像、 ネフロン各部の機能	1	下記参照
第2回	9/14 2限	安井 智代	臨床機能形態学 （女性生殖器領域）	1	エルゼビア Foundation ウィーター 図説で学ぶ組織学 「19 女性生殖器系」で、学習内容の知識を定着させる
第3回	9/19 1限	柳田 素子	腎糸球体における 濾過の機序	1	下記参照

第4回	9/19 2限	横井 秀基	腎に作用するホルモン・血管作働性物質の作用	1	下記参照
第5回	9/20 3限	鞍作 克之	臨床機能形態学 (男性生殖器領域)	1	エルゼビア Foundation ウィーター 図説で学ぶ組織学 「18 男性生殖器系」で、学習内容の知識を定着させる
第6回	9/22 2限	宇留島 隼人	腎・泌尿器の組織学 1	1	人体の正常構造と機能 第4版「5. 腎・泌尿器 p.326-409」ならびにエルゼビア e-learning ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ機能組織学 「16. 泌尿器系」で、学習内容の知識を定着させる
第7回	9/22 3限		腎・泌尿器の組織学 2	1	
第8回	9/25 1限	木村 友則	尿細管各部における再吸収・分泌機構	1	下記参照
第9回	9/25 2限		尿細管上皮細胞の機能	1	下記参照
第10回	9/27 1限	宇留島 隼人 池田 一雄 松原 勤 湯浅 秀人	組織学実習 1・2 (腎・泌尿器)	1	人体の正常構造と機能 第4版「5. 腎・泌尿器 p.326-409」ならびにエルゼビア e-learning ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ機能組織学 「16. 泌尿器系」で、学習内容の知識を定着させる
第11回	9/27 2限				
第12回	9/27 3限				
第13回	9/28 1限	松原 雄	酸塩基平衡の調節機構	1	下記参照
第14回	9/28 2限		水・電解質の調節機構	1	下記参照
第15回	9/29 2限	大谷 直子	尿の濃縮機序・蓄排尿のメカニズム	1	下記参照
第16回	10/3 1限	湯浅 秀人 池田 一雄 松原 勤 宇留島 隼人	組織実習 3・4 (男性生殖器)	1	エルゼビア Foundation ウィーター 図説で学ぶ組織学 「18 男性生殖器系」で、学習内容の知識を定着させる
第17回	10/3 2限				
第18回	10/3 3限				
第19回	10/6 1限	仲谷和記 池田 一雄 松原 勤 宇留島 隼人 湯浅 秀人	組織実習 3・4 (女性生殖器)	1	エルゼビア Foundation ウィーター 図説で学ぶ組織学 「19 女性生殖器系」で、学習内容の知識を定着させる
第20回	10/6 2限				
第21回	10/6 3限				
第22回	10/23 1, 2, 3 限		試験		

事前・事後学習の内容	全般 事前学習:「細胞と組織の基本構造と機能コース」で学んだ組織の成り立ち、「生体物質代謝・生化学コース」で学んだ糖質・脂質・タンパク質・酵素に関して復習しておくこと。生理学分野では、アクティブラーニングとして、事前に Moodle 上で配布された課題を使って事前学習を行う。 事後学習:配布された資料と推奨テキストをもとに講義内容の復習をすること。また、消化器系は腹部の循環器系と関係しているので「循環器系コース」との統合的な理解をすること。
------------	--

成績評価方法	学修態度、小テスト、レポートおよび試験 尚、評価方法の詳細については、学習開始時に提示する。 (配点:腎・泌尿器系分野は生理学80%・解剖学20%で評価し、100点満点中60点以上が合格とする。生殖器系分野は別に評価し、100点満点中60点以上が合格とする。)
履修上の注意	講義・実習中に携帯電話を使用する者や態度の悪い者には退席を命ずる。 必ず教材の関連する箇所を必ず読んで事前学習してから講義・実習に出席すること。

教科書	必携 Ross 組織学（南江堂）、標準組織学（総論・各論）（医学書院）、標準生理学（医学書院）、エルゼビア Foundation : ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学、組織学カラーアトラス（ガートナー／ハイアット）第3版（メディカルインターナショナル） 参考書 Review of Medical Physiology (Ganong, 25th ed., McGraw-Hill)、ギャノン生理学 第24版（丸善）、Textbook of Medical Physiology (Guyton & Hall, 13th ed., W.B. Saunders)、ガイトン生理学 第11版（エルゼビア・ジャパン）
参考文献	特になし
オフィスアワー	会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	● コアカリキュラムへの対応 D-8-1)、D-8-3)-(1), (2), (3)、D-9-1 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level 1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level 1 8. 科学的探究（智） level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM2116-J4
授業科目名	医学研究推進コース 2（基礎コース、蛋白質・酵素コース、遺伝子コース）			
担当教員氏名	◎金子 幸弘（細菌学）、松原 勤（細胞機能制御学）、広常 真治、松本 早紀子、王 晟明（細胞機能制御学）、徳永 文穂、及川 大輔、清水 康平、翁 良徳（医化学）、塩田 正之（分子制御生物学）、小島 裕正、國本 浩之（免疫制御学）、吉田 佳世（実験動物学） 坂井 建雄（順天堂大学）、田中 祐尾（田中医院）			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	その他
授業形態	混合			
科目分類				
配当年次	2 年	単位数	1.3	

【シラバス情報】

授業概要	基礎コース 大学院医学研究科の講義を聴講し、研究の基本的な考え方ならびに分子生物学の解析に汎用されている実験系を学習し、レポートを作成することにより理解を深める。 分子系実習（蛋白質・酵素コースと遺伝子コース）は第1週と第2週はローテーションで行う。 （第1週）遺伝子コース あるいは蛋白質・酵素コース （第2週）蛋白質・酵素コース あるいは遺伝子コース 蛋白質・酵素コース 酵素の物性と触媒機能を生化学的に解析することにより、生体代謝の原理を理解する。疑問を解決する科学的方法を学習し、身につけることを目標とする。また、これらの解析法を面白く理解させ、将来の研究に意欲をもたせる。 ラット組織を用いて酵素の精製、タンパク質の定量、ウェスタンブロッティング法によるタンパク質の特異的検出、酵素反応特性の解析の3つの項目について乳酸脱水素酵素に着目し、3日間通しの実習で取得する。 遺伝子コース 現在の医学研究には分子生物学的な研究手法は不可欠なものとなっている。本実習では4日間の限られた時間ではあるが、細胞からのゲノムDNAの抽出、PCRによる標的遺伝子の増幅、大腸菌を用いた遺伝子組換え、プラスミド調整及び制限酵素消化などの実験を行い、基本的な遺伝子解析手技を習得する。また、二本鎖DNAの特性を確認し、ヒト遺伝子研究を目指した基礎となることを目標とする。
到達目標	基礎コース ・分子生物学の解析に汎用されている実験系を列挙することができる。 ・論文形式にそったレポートを作成することができる。 蛋白質・酵素コース □ アフィニティークロマトグラフィーによる乳酸脱水素酵素の精製と定量解析 □ 乳酸脱水素酵素（LDH）およびアルカリフォスファターゼの酵素反応速度論 □ ウェスタンブロッティング法による乳酸脱水素酵素の検出同定 遺伝子コース ・ゲノムDNAの抽出法を理解し、実際に抽出できる ・PCR法の原理を理解し、遺伝子断片を増幅できる ・遺伝子組換え法の基本を理解し、簡単な遺伝子組換えができる ・制限酵素の塩基認識原理を理解し、遺伝子上の配置を決定できる

基礎コース

授業回	各回の授業内容	アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	4/4・3限 松原 勤	分子生物学解析概論	0
第2回	5/8-5/11 1-3限 松原 勤	大学院講義の聴講	1
第3回	7/19・4-6限 坂井 建雄	医学史	0
第4回	7/21・4-6限 田中 祐尾	医学史	0
第5回	11/16, 11/17 1-6限 金子 幸弘 松原 勤 塩田 正之	ワークショップ・まとめ	3

別紙

蛋白質・酵素コース

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	7/10, 7/24 1-6 限	広常 真治 松本 早紀子 王 晟明	酵素タンパクの精製	3	事前に実習書を精読し、操作手順を把握すること、また事後には当日の実習内容をレポート作成のため、まとめることで、学習内容の知識を定着させる。
第2回	7/11, 7/25 1-6 限	広常 真治 松本 早紀子 王 晟明	酵素反応速度論	3	
第3回	7/12, 7/26 1-6 限	広常 真治 松本 早紀子 王 晟明	ウェスタンブロッティング法	3	

遺伝子コース

授業回		各回の授業内容		アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	7/11, 7/25 1-6 限	徳永 文穂 及川 大輔 清水 康平 翁 良徳 塩田 正之	培養細胞からゲノム DNA 抽出・濃度測定及び PCR 反応	3	事前に実習書を精読し、操作手順を把握すること、また事後には当日の実習内容をレポート作成のため、まとめることで、学習内容の知識を定着させる。
第2回	7/12, 7/26 1-6 限	小島 裕正 國本 浩之 及川 大輔 清水 康平 翁 良徳 塩田 正之	PCR 産物のクローニング	3	
第3回	7/13, 7/27 1-3 限	徳永 文穂 及川 大輔 清水 康平 翁 良徳	PCR 産物のクローニング	3	
第4回	7/14, 7/28 1-6 限	徳永 文穂 及川 大輔 清水 康平 翁 良徳 塩田 正之 吉田 佳世	DNA 抽出及び制限酵素消化・電気泳動	3	

成績評価方法	成績は基礎コース（10%）、蛋白質・酵素コース（45%）、遺伝子コース（45%）で付けられる。ただし、すべてのコースで 60%を越えなければ合格できない。 基礎コース レポート・プレゼンテーションで評価を行う。 蛋白質・酵素コース 学修態度、レポートおよび試験 講義は 2/3 以上、実習は 4/5 以上出席しなければ、受験資格はない。到達目標の達成度について評価を行う。 遺伝子コース 実習中の理解度・議論の内容、及びレポートによって学修達成度を測り、原則として実習態度（10%）、成果（10%）、およびレポート（80%）で評価する。合格には、総合して 60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	基礎コース 大学院講義の聴講が確認されない場合、合格できない。 蛋白質・酵素コース 授業の細胞生物学の中における位置づけを理解するため細胞生物学の教科書を通読すること。個別の事前学習・事後学習については講義毎に指示する。 遺伝子コース 実習中の態度も評価対象であり、必要に応じて加点・減点する。

教科書	蛋白質・酵素コース ヴォート 生化学（東京化学同人） 遺伝子コース 実習書を配布する。
参考文献	蛋白質・酵素コース □ ハーパー・生化学（丸善）講義．第一版． □ ヒトの分子遺伝学（MEDSi） □ Essential 細胞生物学（南江堂） 遺伝子コース Essential 細胞生物学（南江堂）
オフィスアワー	10:00-16:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）。
教員への連絡方法	蛋白質・酵素コース：shinjih@omu.ac.jp 遺伝子コース Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
その他	● コアカリキュラムへの対応 C-1-1) 生命の最小単位－細胞 C-2 個体の構成と機能 C-2-3) 個体の調節機構とホメオスタシス C-2-3-(1) 情報伝達の基本 C-2-5) 生体物質の代謝 C-4 病因と病態 C-4-1) 遺伝的多様性と疾患、C-4-2) 細胞障害・変性と細胞死、C-4-3) 代謝障害 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題解決能力（智・仁・勇）level1 8. 科学的探究（智）level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2125-J4
授業科目名	機能系実習		
担当教員氏名	◎水関 健司、宮脇 寛行、松本 英之、瀬戸川 将、黒木 暁（神経生理学）、大谷 直子、山岸 良多、神谷 知憲、高杉 征樹（病態生理学）、富山 貴美、梅田 知宙（認知症病態学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.6

【シラバス情報】

授業概要	生理学の講義で学習した内容のなかで研究・臨床で有用なものを実習して理論と実際を学ぶ。得られたデータの解析法を学び、結果を考察する訓練を行う。それぞれの測定に関する問題点を考察する。
到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、機能系実習テキストに記載する。 1. 脳の学習機能に関する実験を行い、データについて討論できる。 2. 筋電図を測定し、データについて討論できる。 3. 血液検査を行い、データについて討論できる。 4. 常在細菌叢検査のデータを解析し、討論できる。 5. 内分泌系検査を行い、データについて討論できる。

授業回		各回の授業内容	アクティブラーニング	事前・事後学習の内容
第 1 回	11/20・3 限	水関健司、宮脇寛行、松本英之、瀬戸川将、黒木暁（神経生理学）、大谷直子、山岸良多、神谷知憲、高杉征樹（病態生理学）、富山貴美、梅田知宙（認知症病態学） 実習講義（概要説明）	2	詳細については実習講義（概要説明）の際に指示する。大阪公立大学大学院医学研究科 機能系実習テキスト（2023 年度版）を熟読して事前学習を十分に行うこと。
第 2 ～ 4 回	11/20・4, 5, 6 限	水関健司、宮脇寛行、松本英之、瀬戸川将、黒木暁（神経生理学）、大谷直子、山岸良多、神谷知憲、高杉征樹（病態生理学）、富山貴美、梅田知宙（認知症病態学） ①脳の学習機能 ②筋電図 ③血液検査 ④常在細菌叢 ⑤血糖の調節	2	

第 5 ～ 7 回	11/21・ 4, 5, 6 限	水関健司、 宮脇寛行、 松本英之、 瀬戸川将、 黒木暁 (神経生理学)、 大谷直子、 山岸良多、 神谷知憲、 高杉征樹 (病態生理学)、 富山貴美、 梅田知宙 (認知症病態学)	①脳の学習機能 ②筋電図 ③血液検査 ④常在細菌叢 ⑤血糖の調節	2	詳細については実習講義（概要説明）の際に指示する。大阪公立大学大学院医学研究科 機能系実習テキスト（2023 年度版）を熟読して事前学習を十分に行うこと。
第 8 ～ 10 回	11/22・ 4, 5, 6 限	水関健司、 宮脇寛行、 松本英之、 瀬戸川将、 黒木暁 (神経生理学)、 大谷直子、 山岸良多、 神谷知憲、 高杉征樹 (病態生理学)、 富山貴美、 梅田知宙 (認知症病態学)	①脳の学習機能 ②筋電図 ③血液検査 ④常在細菌叢 ⑤血糖の調節	2	
第 11 ～ 13 回	11/27・ 4, 5, 6 限	水関健司、 宮脇寛行、 松本英之、 瀬戸川将、 黒木暁 (神経生理学)、 大谷直子、 山岸良多、 神谷知憲、 高杉征樹 (病態生理学)、 富山貴美、 梅田知宙 (認知症病態学)	①脳の学習機能 ②筋電図 ③血液検査 ④常在細菌叢 ⑤血糖の調節	2	
第 14 ～ 16 回	11/28・ 4, 5, 6 限	水関健司、 宮脇寛行、 松本英之、 瀬戸川将、 黒木暁 (神経生理学)、 大谷直子、 山岸良多、 神谷知憲、 高杉征樹 (病態生理学)、 富山貴美、 梅田知宙 (認知症病態学)	①脳の学習機能 ②筋電図 ③血液検査 ④常在細菌叢 ⑤血糖の調節	2	

成績評価方法	各実習の評価は、到達目標に達したものが20点満点で12点以上になるようにレポートを採点し、実習への取り組み方や実習中の態度で加点・減点する。5つの実習の合計100点満点で60点以上の者を合格とする。正当な理由がない限り、全ての実習・講義に出席し、かつ全てのレポートを提出期限までに提出しなければ評価資格はなく、不合格となる。																						
履修上の注意	実習に持参する物（ノートパソコン等）や必要な事前準備をMoodleに掲載するので、実習の2週間前に必ず確認すること。実習の各主題の実施場所は以下を予定している。実施場所を変更する場合はMoodleや第1回の実習講義等で連絡する。 <table><tr><td>①</td><td>学習機能（神経生理学）</td><td>学舎6階</td><td>グループ学習室</td></tr><tr><td>②</td><td>筋電図（神経生理学）</td><td>学舎5階</td><td>生理学実習室</td></tr><tr><td>③</td><td>血液検査（病態生理学）</td><td>学舎5階</td><td>生理学実習室</td></tr><tr><td>④</td><td>常在細菌叢（病態生理学）</td><td>学舎6階</td><td>講義室等</td></tr><tr><td>⑤</td><td>血糖の調節（認知症病態学）</td><td>学舎5階</td><td>生理学実習室</td></tr></table> 担当教員の話をよく聞き、怪我をしない・させないように細心の注意を払うこと。実習に使用する器機は高価なので、使用法に関して担当教員の話をよく聞き、取り扱いには十分に気をつけること。			①	学習機能（神経生理学）	学舎6階	グループ学習室	②	筋電図（神経生理学）	学舎5階	生理学実習室	③	血液検査（病態生理学）	学舎5階	生理学実習室	④	常在細菌叢（病態生理学）	学舎6階	講義室等	⑤	血糖の調節（認知症病態学）	学舎5階	生理学実習室
①	学習機能（神経生理学）	学舎6階	グループ学習室																				
②	筋電図（神経生理学）	学舎5階	生理学実習室																				
③	血液検査（病態生理学）	学舎5階	生理学実習室																				
④	常在細菌叢（病態生理学）	学舎6階	講義室等																				
⑤	血糖の調節（認知症病態学）	学舎5階	生理学実習室																				
教科書	大阪公立大学大学院医学研究科 機能系実習 2023年度版 標準生理学 第9版 小澤滯司・福田 康一郎（監修） 2019. 医学書院 ISBN-13: 978-4260017817																						
参考文献	特になし																						
オフィスアワー	12:00～17:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）																						
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること																						
その他	● コアカリキュラムへの対応 全体を通じた対応は以下の通りである。 C 医学一般 C-2 個体の構成と機能 C-2-3)-(4) ホメオスタシス、生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性を説明できる。 D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 D-1 血液・造血器・リンパ系 D-2 神経系 D-4 運動器（筋骨格）系 D-12 内分泌・栄養・代謝系 ● 該当するコンピテンス 2. 医学知識と問題対応能力 （智・仁・勇）level1 8. 科学的探究 （智）level1 ● その他 医学部医学科の学生として恥ずかしくないレポートを作成すること。提出期限までに提出されなかったレポートは、正当な理由がない限り受理しない。全ての実習に出席し全てのレポートを期限内に提出しても、5つの実習の採点結果の合計が60点未満の者は不合格とする。全ての実習・講義に遅刻することなく出席できるように、自己管理を徹底することを求める。																						

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM2124-J4
授業科目名	肉眼解剖（マクロ）実習		
担当教員氏名	◎近藤 誠、甲斐 理武、河合 洋幸（脳神経機能形態学） ◎池田 一雄、松原 勤、宇留島 隼人、湯浅 秀人（機能細胞形態学）		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	3.9

【シラバス情報】

授業概要	肉眼解剖学実習は4～5人が1グループとなり献体された御遺体を解剖し、人体の構造と機能を学習する。実習中に疑問点や問題点を抽出し、討論と自己学習により解決する。また、安全面への配慮や、チームワーク、コミュニケーション、プレゼンテーション能力を向上させる。御遺体に敬意をはらい、解剖体慰霊祭、みおつくし会総会、遺骨返還式に参加し、倫理観の自己形成を養う。必ず予習をしてから臨むこと。
到達目標	1. 人体の構造と機能を形態学観点から局所的、系統的に説明できる。 2. 生命の尊厳についての深い認識を有し、行動できる。 3. チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとることができる。 4. 安全面への配慮や、対処ができる。 5. 情報の守秘義務を理解し、適切な取扱ができる。

授業回		各回の授業内容	アクティビティ・ラーニング	事前・事後学習の内容
第1回	9/4・4-7 限	脳神経機能形態学 機能細胞形態学 開始式 くびと体幹1	2	『解剖学実習の手びき』 § 1-4
第2回	9/5・4-7 限	脳神経機能形態学 くびと体幹2	2	『解剖学実習の手びき』 § 5-7
第3回	9/7・4-7 限	脳神経機能形態学 くびと体幹3	2	『解剖学実習の手びき』 § 8-10
第4回	9/8・4-7 限	脳神経機能形態学 上肢1	2	『解剖学実習の手びき』 § 11-13
第5回	9/11・4-7 限	脳神経機能形態学 上肢2	2	『解剖学実習の手びき』 § 14-16
第6回	9/12・4-7 限	脳神経機能形態学 上肢3	2	『解剖学実習の手びき』 § 17-20
第7回	9/14・4-7 限	脳神経機能形態学 上肢4	2	『解剖学実習の手びき』 § 21-25
第8回	9/15・4-7 限	脳神経機能形態学 下肢1	2	『解剖学実習の手びき』 § 53-55
第9回	9/19・4-7 限	脳神経機能形態学 下肢2	2	『解剖学実習の手びき』 § 56-59
第10回	9/21・4-7 限	脳神経機能形態学 下肢3	2	『解剖学実習の手びき』 § 60-63
第11回	9/22・4-7 限	脳神経機能形態学 体壁1	2	『解剖学実習の手びき』 § 26-29
第12回	9/25・4-7 限	脳神経機能形態学 体壁2	2	『解剖学実習の手びき』 § 30-34
第13回	9/26・4-7 限	脳神経機能形態学 胸腔1	2	『解剖学実習の手びき』 § 35-38
第14回	9/28・4-7 限	脳神経機能形態学 胸腔2	2	『解剖学実習の手びき』 § 39-42

	9/29・4-7 限	機能細胞形態学 脳神経機能形態学	解剖体慰霊祭	2	
第 15 回	10/2・4-7 限	脳神経機能形態学	まとめ	1	Moodle 参照
	10/3・4-7 限	脳神経機能形態学	マクロ試験 1		
第 16 回	10/11 4-7 限	機能細胞形態学	腹膜腔と腹部内臓の神経・血管・リンパ管	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』-14 章 『解剖学実習の手びき』 § 43-45
第 17 回	10/12 4-7 限	機能細胞形態学	腹部内臓	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』-15 章 『解剖学実習の手びき』 § 46-49
第 18 回	10/13 4-7 限	機能細胞形態学	腎・副腎、後腹壁	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』-16 章 『解剖学実習の手びき』 § 50, 51
第 19 回	10/16 4-7 限	機能細胞形態学	横隔膜、腰神経叢、膀胱とその周辺	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』 17, 21-1 章 『解剖学実習の手びき』 § 52, 64
第 20 回	10/17 4-7 限	機能細胞形態学	外陰部、会陰部	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』21 章 『解剖学実習の手びき』 § 65, 66
第 21 回	10/18 4-7 限	機能細胞形態学	骨盤内臓とその支配血管・神経	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』22 章 『解剖学実習の手びき』 § 67-70
第 22 回	10/19 4-7 限	機能細胞形態学	骨盤壁、股関節	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『解剖学実習の手びき』 § 71
第 23 回	10/20 4-7 限	機能細胞形態学	脳出し、頭蓋底	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』19, 20 章
	10 月中旬 - 下旬	機能細胞形態学 脳神経機能形態学	みおつくし総会	3	Moodle 参照
	10/27 1-3 限	機能細胞形態学	マクロ試験 2		
第 24 回	10/30 4-7 限	機能細胞形態学	顔浅層、深頸部、舌骨上筋群、頭部離断	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』25, 27-1 章 『解剖学実習の手びき』 § 72, 73
第 25 回	11/1 4-7 限	機能細胞形態学	甲状腺、咽頭、喉頭、気管	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』27 章 『解剖学実習の手びき』 § 74-76
第 26 回	11/2 4-7 限	機能細胞形態学	咀嚼筋、顎関節	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『要点と指針』26, 28-1 章 『解剖学実習の手びき』 § 81, 82
第 27 回	11/6 4-7 限	機能細胞形態学	口腔、鼻腔、舌、口蓋、翼口蓋神経節	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』28 章 『解剖学実習の手びき』 § 79, 80, 83, 84
第 28 回	11/7 4-7 限	機能細胞形態学	眼窩、眼球、外中耳	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』29 章 『解剖学実習の手びき』 § 85-87
第 29 回	11/8 4-7 限	機能細胞形態学	内耳、舌下神経管、頸静脈孔	2	エルゼビア e-learning 事前問題 『人体解剖学実習：要点と指針』30 章 『解剖学実習の手びき』 § 88-91
第 30 回	11/9 4-7 限	機能細胞形態学	まとめ、清掃	1	Moodle 参照

	11/14 1-3 限	機能細胞形態学	マクロ試験 3		
	11/14 4 限	機能細胞形態学 脳神経機能形態学	修了式		
	2024 年 1/20	機能細胞形態学 脳神経機能形態学	遺骨返還式・感謝状授与式	3	Moodle 参照

成績評価方法	(1) 脳神経機能形態学と機能細胞形態学の成績を総合し評価される。 (2) 脳神経機能形態学:原則として、マクロ試験 1 (口頭試問) 80%、実習達成度 20% で評価する。 (3) 機能細胞形態学:原則として、マクロ試験 5-6 (口頭試問または筆記試験) で評価する。
履修上の注意	(1) 実習は長期にわたるので、健康管理に十分留意すること。 (2) 履修規程により、原則すべての実習に参加しない限り単位認定されない。 (3) 原則、指定日時までにレポートや感想文等を提出しなかった場合、不合格とする。
教科書	実習書 (必携): 解剖学実習の手びき (南山堂)、人体解剖学実習: 要点と指針 (南江堂) 教科書 (選択必携): グレイ解剖学 (エルゼビア)、標準解剖学 (医学書院)、解剖学講義 (南山堂) アトラス (選択必携): プロメテウス解剖学アトラス (医学書院)、ネッター解剖学アトラス (南江堂)
参考文献	分担解剖学 (金原出版)、日本人体解剖 (南山堂)、解剖学カラーアトラス (医学書院)
オフィスアワー	10:00-16:00 (事前にアポイントメントを取る)
教員への連絡方法	脳神経機能形態学: 内線 3706 機能細胞形態学: 内線 3701
その他	●実習に必要なもの ・解剖器具セット (生協で予約販売) ・手術用手袋 ・実習専用白衣 (背中に学籍番号と氏名を大きく記入する) ・安全ゴーグル (眼の事故を防ぐため必ず着用。ホームセンターや生協で入手) ●草履、サンダル等の足先が露出する履物は禁止。 ●コアカリキュラムへの対応 D-1-1)、D-2-1)、D-3-1)、D-4-1)、D-5-1)、D-6-1)、D-7-1)、D-8-1)、D-9-1)、 D-10-1)、D-11-1)、D-12-1)、D-13-1)、D-14-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMACLM2143-J4
授業科目名	早期臨床実習 2			
担当教員氏名	教務委員会、各診療科の指導医の先生方			
開講年度・学期	2023	前期	曜日・時限	
授業形態	実習			
科目分類				
配当年次	2 年		単位数	1

【シラバス情報】

授業概要	将来医師を目指す医学部生に大学病院勤務の医師と行動をさせ、以下のことを考える機会を与える。 1) 「いま、そして、今後、何を学ばねばならないのか」 2) 「医師／社会人として最低限のマナー」
到達目標	医学的知識については問題としない。医療現場で患者や co-medical staff と接する際に、医師／社会人として最低限のマナーが遵守されているかどうかを評価する。 ① 時間厳守：指導医との待ち合わせに遅れない。(5 分前集合) ② みだしなみ：名札、清潔な白衣、清潔な履物着用のこと。 ③ あいさつ：自分からはっきりすること。

授業内容	夏季休暇期間中の 5 日間。(同一診療科・同一医師になっても可) 病院内で可能な限り指導医に 1 日同行し、実際の医療に触れる。
事前・事後学習の内容	クラス代表を中心にマッチングを行う。 行き先が決まったら、学生自身から指導医の先生にメールで連絡を取り、当日の集合場所、時刻を確認すること。学務課から各指導医へ報告は行わない。 ご多忙な先生が多いので、当初受入可能日と設定されていても、急な予定等で対応出来ない場合があります。指定された期日迄にまずはメールにて先生へアポを取ること。

成績評価方法	プログラム終了後、学生、指導医から双方向性の評価表の提出を行い、これをもって出席を確認する。
履修上の注意	1、指導教員の指示に従うこと。 2、病院の規律と秩序を乱さないこと。 3、私語を慎むこと。 4、白衣・名札を持参し着用すること。 5、手荷物は最小限にすること。 6、実習中、携帯電話は持ち歩かないこと。 7、欠席・遅刻・早退は原則として修了とは認めない。 8、ご協力いただける臨床各科の先生方の御厚意に感謝することを忘れず、本プログラムに参加すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課 (gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp)
その他	本臨床実習は、本学医学部附属病院において行う。業務多忙の中、実習協力が得られたものである、とりわけ真摯な態度で実習に臨むこと。 ● コアカリキュラムへの対応 A-4 コミュニケーション能力 A-5 チーム医療の実践 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level2 3. 診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level1 4. コミュニケーション能力 (智・仁・勇) level1 5. チーム医療の実践 (仁) level2 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 (智・仁・勇) level1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM2145-J4
授業科目名	コミュニケーション		
担当教員氏名	◎首藤 太一、栩野 吉弘、福本 一夫、幕内 安弥子、(総合医学教育学) 森村 美奈 (なにわ生野病院 産婦人科)		
開講年度・学期	2023	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	2 年	単位数	0.4

【シラバス情報】

授業概要	医師は疾病そのものを診るのではなく、疾病を持った人間を診る。そして医療は、人と人とは形成する人間関係を中心として展開される。この人間関係の在り方がコミュニケーションであり、その延長が臨床現場における医療面接である。ここではコミュニケーションについての基本的な考えを、グループワークを通じて学習する。
到達目標	《一般目標》 よき医療者となるために、コミュニケーションについての基本的な知識と技能を習得する。 《到達目標》 1. コミュニケーションの基本的知識を列挙できる。 2. コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を述べることができる。 3. グループ討議で基本的な人間関係を築くことができる。 4. グループ討議に積極的に参加できる。 5. 患者の心理社会的背景を推察できる。 6. 効果的な対人コミュニケーションについて理解し、模擬的に実践できる。 7. 健康行動や行動変容を行う動機づけについて概説できる。 8. 臨床に応用されている行動科学的な治療法について概説および模擬的に実践できる。 9. 医療情報の一般市民・患者への伝え方を理解し、模擬的に実践できる。

授業回		各回の授業内容		アクティビティ・ラーニング	事前・事後学習の内容
第1～6回	12/5・1～6限	栩野 吉弘 福本 一夫 幕内安弥子 森村 美奈	コミュニケーションの基本的知識と技能を学習する	3	これまで自分が経験してきたコミュニケーションについて、授業当日までに振り返っておくこと。また、コミュニケーションを学ぶことと、これまでの試験勉強との相違について、思い巡らせておくこと。
第7～12回	12/6・1～6限	首藤 太一	コミュニケーションの基本的知識と技能を学習する	3	

成績評価方法	<第1-6回> グループワーク参加 40%、提出課題 20%、ならびにふりかえりの記述 40% で評価する。 <第7-12回> グループワーク参加 60% ならびに発表 40% で評価する。 ※合格には、総合して 60% 以上の成績が必要である。 ※やむを得ない事情で欠席した者を含め、合格点に達しない場合は補習を行う。
履修上の注意	特になし
教科書	特になし

参考文献	1. 医療コミュニケーション・スキル 著 マーガレット・ロイド・ロバートボア 西村書店 2. メディカル・インタビューマニュアル 監修 福井次矢 インターメディカ 3. 医療コミュニケーション入門 町田いずみ、保坂隆 著 星和書店 4. 真実を伝える ロバート・バックマン 診断と治療社 5. はじめての医療面接-コミュニケーション技法とその学び方-斎藤清二 医学書院 6. 物語としてのケア-ナラティブ・アプローチの世界へ-野口裕二 医学書院 7. 先生はえらい 内田樹 著 ちくまプリマー新書 8. 下流志向〈学ばない子どもたち 働かない若者たち〉内田樹 著 講談社文庫
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課 (gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp)
その他	授業の中で、同級生や模擬患者とのグループワークを行う。どんな小さな気付きでもよいので、必ず発言すること。この場で自分なりに考え発言したことが、下記のアウトカムに繋がる。 ● コアカリキュラムへの対応 A-1：プロフェッショナリズム A-4：コミュニケーション能力 A-5：チーム医療の実践 B-4：医療に関連のある社会科学領域 C-5：人の行動と心理 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level2 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 5. チーム医療の実践 （仁） level2 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 （智・仁・勇） level1

大阪公立大学医学部医学科

学務課

TEL 06-6645-3611(直通)

FAX 06-6646-3590

<https://www.omu.ac.jp/med/>